十二月十三日發行
發行人 鈴木昇
編輯人 橋本喜代治
印刷人 本村武盛
大連市東公園町卅一番地
發行所 株式會社滿洲日報社

滿鐵改組現地案 軍部、滿鐵の意見一致
けふ仕上げ的審議續行

【新京特電】十二日八田副總裁の來京を機とし、滿鐵改組擴充案はいよ〳〵現地案結成の緒に就いた模樣である 即ち最初軍部側において滿鐵提供の資料について研究し、夜に入つてからは軍、滿鐵兩首腦者膝を交へて懇談し各々熱心に誠意を披瀝し隔意なき意見を交換し檢討審議したが、會議は頗る圓滑に進行し計數その他に關する事項に亘り意見の一致を見た譯である、十三日はこれについて仕上げ的の審議をなし、所謂現地案の大團圓を見ることにならう

【新京十三日發國通】十二日午後八時より小磯參謀長邸において、愈々新資料につき軍、滿鐵兩者の最後的協議が開始された、右協議には關東軍より小磯參謀長、沼田中佐、東福一等主計、滿鐵より八田副總裁、河本、十河兩理事、市川經理部長、岡田經調課第一主查及陸軍省の秋永少佐、平井一等主計等出席、會議は深更まで五時間に亘つたが、その結果滿洲產業開發に關する現地の意見は完全に一致を見當事者において最も憂慮されてゐた問題、即ち滿鐵を新なホールディング・カンパニーに改めた際、新會社の經濟的乃至社會的價値が從來の凡ゆる實際的經過よりして日滿兩國經濟國策の目的を達成し得べき確固たる基礎を保持し得るか、滿鐵の八億增資により倍加した株主の利益を改組後と雖も保障し得るかこの點は五時間に亘る協議で滿鐵より提示せる凡ゆる資料及び特務部資料に對する細目的檢討の結果、明瞭な計數立證により、確固たる自信到達しこゝに完全解決に至つた

現地案の骨子

【新京十三日發國通】八田副總裁以下滿鐵關係者を迎へて十二日夜小磯參謀長邸に開かれた軍、滿鐵代表者會議において八田副總裁攜行の計數的資料に基き滿鐵改組後の經濟界に及ぼすデリケートな影響につき兩者間に隔意なき意見の交換を遂げた結果、遂て軍及び滿鐵のエキスパートの手で立案された現地案を斷行するも、我經濟界には微動だも及ぼさずといふ結論に到達し愈々該案は現地の手を離れて中央部に移される事となつた右案は目下嚴秘に附せられて居るが、確聞するに左の如き骨子のものである

一、滿鐵を根本的に改造し、鐵道部、炭礦部、商事部を切り離して持株會社(ホールディング・カンパニー)組織とし、既設並びに新設の子會社に對し金融並びに事業上の統制を加へる從來の地方部は日本の滿洲國に對する治外法權撤廢まで新會社の附帶事業として經營する、治外法權撤廢期は昭和十年八月頃と推定される

二、持株會社は日本特殊法人として日本政府の監督を受けその利益配當に關しては概ね現滿鐵の制度を採用する

三、持株會社の名稱は滿洲產業開發會社說有力なるも未決定である

四、持株會社に依つて資本の供給並びに事業の統制を受くる子會社の種類は大要次の如きものである

鐵道會社
炭礦會社(炭礦部と新設滿洲炭礦會社合併)
石油會社
採金會社
輕金屬會社
化學工業會社
森林開發會社(大同林業公司の規模を全滿に擴大する)
農事開拓會社
電氣會社
兵器會社(自動車製造工業を兼ねる)
航空會社
商事會社

この外國防に密接なる關係ある諸事業並びに國民生活を支配すべき重要產業に向つて適宜投資し事業統制の對象とする

五、以上の諸會社の法人手續は滿洲國の獨立性を尊重し、大部分滿洲國法人としその監督を受けしむるが鐵道會社の如き既存法令に準據するもの及び事業の性質並びに資金誘致の關係上必要と認むるものは日本法人とし日本政府の監督を受く

以上孰れも現地における有力なる一元的監督機關の指導を受け統制事業として發達を期する

六、現地における一元的監督機關は現在の三位一體の關東軍司令官の地位を向上的ならしめ以つてこれに當らしめるが、その名稱は未定である

七、一元的監督機關の智能部として特務部及び滿鐵經濟調查會を打つて一丸とした經濟參謀部を設置する

八、監督機關を一元的ならしむる結果として拓務大臣の監督を離れ陸軍大臣の、又は內閣總理大臣直屬とする

從つて右に必要なる官制勅令の改正を可及的速かに行ふ

なほ滿鐵改組に伴ふ法律の改正は政府として來る六十五議會に提出の豫定で、傳へらるゝ緊急勅令の方法は執らないと

計數的資料を說明 質疑應答した
今曉會議後滿鐵側代表語る

【新京電話】滿鐵が提出した補足的數字を檢討すべき關東軍側と滿鐵側の協議は既報の如く十二日午後八時より小磯參謀長官邸において開かれたが、夜半一時半漸く散會し、軍側は居殘つてなほ夜を徹して協議を重ねたが、會議後ホテルに歸つた八田副總裁及び十河理事は交々語る

今日も前回に引續き計數的資料について說明を行ひ質疑應答をなしたが、十二日提出した資料について更に疑問の點が起るなど相當複雜なので十三日も會議を續行する

なほ會議は十三日で一段落を告げ八田副總裁、十河理事一行は同日午後四時半發列車で新京發歸連の途につくはずである

數日中に中央に移牒

【新京十三日發國通】滿鐵改組現地案は十二日の協議で決定を見、一兩日中に秋永少佐が中央に攜行する事となつた、なほ八田副總裁は現地案における一切の工作完了したので數日中に東上するものと見られる、小磯參謀長も現地案說明のため八田副總裁と相前後して東上する事となり、問題はこゝに中央に移牒されるに至つた

林滿鐵總裁 十五日朝發上京

滿鐵八田副總裁は改組問題現地案について最終的協議を終へて十四日朝歸連する筈であるが、林總裁は副總裁の歸連を待つて打合せの後十五日朝旅客機にて上京總會に出席の筈

滿鐵總會出席の社員會代表決定
二十餘萬株の委任狀を携行

滿鐵社員會では改組問題に關して株主總會に代表を派遣することに決し人選を協議中のところ十三日會社側の諒解を得て阿部、曾田兩常任幹事、江口庶務部長及び本部との連絡、事務處理に當る者として城所協和編輯長の四氏を社員會代表として派遣することに決したなほ一名派遣する筈であるが詮衡未決定である、江口庶務部長は會社用件を以て上京してゐるので三代表は十五日うらる丸で出帆、下關より十時十分列車にて上京、十八日午前十時東京着の豫定であるが、一行は着京後直に東京支社に會合を開催して株主總會對策を協議決定するが、派遣代表は全社員株主一萬九千八百七十四名、所有新舊株數二十萬千七百九十六株の委任代表となり總會に臨むもので、その委任狀は目下事務局において整理中であるが、中トランク一杯となる譯である、社外株主方面からも社員會の趣旨に賛成し委任狀を送附して來る向もあるが、これに對しては社員會より夫々本人に對して委任の趣旨に對して再照會を行つてゐる、而して社員會としては代表を中央に派遣するに當り單に總會對策に止まらず、改組問題に關して中央要路に對して運動を行ふこととなり、經濟は總本人の手によつて、及び滿鐵改組は會社と死生を共にする三萬社員の總意によつて行ふの社員會のスローガンを擁して陸軍、大藏、拓務の關係各省及び滿鐵關係の先輩に陳情することゝなり十三日本部より照會電を打つた、右について曾田常任幹事は語る

社員會が代表を總會に送ることを決したについては改組問題に關して執つてゐる社員會として非總會の進行を知つておく必要があり、沿線社員よりの要望が盛んだつたので、遂に派遣に決した次第で、社員會としては一般株主の如く必ずしも配當金を最も重要視するものでなく經濟國策として滿鐵改組に臨む從來の趣旨から今回總會に出席することゝなつたのです

出迎へませう凱旋の勇士
十四日午前九時半と同十時の二回着驛

停頓の北鐵交涉
年內は現狀の儘推移

【東京十三日發國通】北鐵讓渡交涉に對しソ聯側はこれを打切る意思はないと稱してゐるが、さりとて今直に交涉を進展せしむる意思もない模樣なので、年內には勿論交涉の動きを示す模樣もなく、結局現狀の儘推移するの他ないであらうと觀られてゐる

交涉打切の意無し 蘇聯非公式表明

【東京十三日發國通】北鐵交涉はルーブル換算率に關し滿ソの意見懸絕し停頓したるが公電によると大田大使はソウエート外務當局を訪問する等ソウエートでは種々の浮說行はれるが、ソ側は交涉をこの儘打切る意思なしと非公式に表明した、これにより交涉の前途は絕望ではないが、交涉顧問たるバルシュイコフ氏も最近歸國し何急速の展開豫想されず廣田外相は當分成行靜觀し斡旋に出ずと

パ、ボ兩國の紛爭繼續

【アスンシヨン十二日發國通】パ、ボ兩國の戰鬪なほ熄まず、パ軍將兵八二五〇名を捕虜としアヤラ大統領はこの投降狀態視察のため飛行機で戰線に赴いたとパ政府は發表す、一方ボ國政府は豫備兵を召集しあくまで抵抗を準備中だと

三義兄弟が政權爭ひ
支那特有の奇觀

【上海特電十二日發】財政部長孔祥熙氏は財政的手腕に於て無策のため公債下落し財政難に陷り宋子文氏に援助を求めたが、宋氏はこれを背かず、宋氏は銀行家として蔣氏が下野し自分が行政院長となることの運動を進めてゐる有樣で、義兄弟の三人が自己の政權獲得から勝手の行動を執つてゐることは支那特有の一奇觀だ

日滿親善は婦人から
荒木陸相夫人の午餐會

荒木陸相の錦子夫人は日滿兩國の親善はまづ婦人の手からと在京中の滿洲國執政溥儀氏の令妹で潤氏夫人韞穎さんをはじめ同秘書持永武子さん、北滿交涉員烏氏夫人、俞太吳さん、高尾公子さん、東洋婦人會理事齋藤秋子さんを主賓に、陪賓として滿洲國に關係深い故武藤元帥能婦子未亡人、菱刈關東軍司令官鉦子夫人、眞崎大將信千代子夫人、本庄大將むめ子夫人、阿部大將ミツ子夫人、小磯關東軍參謀長繁子夫人等を招待して午餐會を開き心からの日滿婦人の交驩を行ひ午後二時散會した(寫眞は陸相官邸にて)

制度の確立には大英斷が必要
人事の異動刷新は近く行ふ
けふ歸任の遠藤總務廳長談

滿洲國總務廳長遠藤柳作氏は日本政府當局と種々連絡をとるべく過般來上京中であつたが、十三日入港うらる丸で關口秘書帶同約一ケ月ぶりで歸滿して語る

丁度時期が豫算編成時だつたもので政府要路の人に會ふのに骨が折れた、色々な會合に出席したが非常に快く感じた事は座談會的な如何にも物を聽く會といつた集りが多く、代る〴〵根掘り葉掘り聞かれるのでツイ何もかも打明けてしまふ事も度々あつた、ハッキリ認識したことは日本では殆ど朝野をあげて滿洲國の獨立性の强化といふ事に目覺めてゐる事で、これは日本國民の信義感の强い事を裏書するもので、滿洲國を立派な國に仕上げると云ふ事が恰も日本國民の責務の如く誰もが考へてゐる有樣だつた

◇

自分はかねて人事行政の刷新を行ふ必要を認め夫々調查を命じておいたが、歸任と共に或は發表する事とならう、年內にだつて?さあどこまで調查が進んでゐるかそれによつてだ、何分人間を動かすのが目的でない、制度の確立が目的なのだからこの際英斷の必要があると思ふ、次に附屬地の接收問題、これは例の滿鐵の改組問題の進展如何によつて決定さるべきものだと思ふ、しかしこの問題には色々話も出たし說明を加へておいた

◇

北鐵の買收問題については大橋次長とも度々會つたが、何分相手のある話だけにスラ〳〵運ばぬ、しかもなるべく早く局面の打破が必要だといつておいた、蘇聯全權側に病人があるのでそんな事も長引く原因らしい、經濟關係ではよく國幣の問題を突つ込んで聞かれたが、まあ自分としては現在のまゝの方が好いと思ふ、しかし金本位制も時期の問題だらう、臺灣領有の際だつて却々むづかしかつたのだ、しかも今度は他國なんだからね

◇

滿洲國の警備問題も現在のまゝでは濟まされまい、これは駐滿軍の意思の動きも關係してゐる事で、その方針が變れば自然變つてくると思ふ、次に關稅問題がいろ〳〵云はれてゐるが、これは日滿經濟ブロック基本的觀念によつて片づけられるものと思ふ、最後に痛切に感じた事は將來ます〳〵日滿要人がお互ひに訪問し合ふ事が肝要だと思ふ

上陸と共にヤマトホテルに小憩、午後四時廿分發列車で歸京すると

奉天特別市制 實施許可

【奉天電話】奉天市政公署では愈々大奉天建設のために特別市制を實施することになり中央政府に市制規則及び委員推薦等につき稟申中のところ許可されたので、閻市長が十三日歸奉するを待ち特別市制委員會を開催する運びとなつたが、委員中には粟野地方事務所長、廣谷商議會頭、其他公共團體の代表者あり、從來の都市計畫委員であつた關東廳清水土木技師、村田氏等も參加する由で約四十名の委員をもつて各般に亘り愼重協議を重ねると

はるびん丸船客

【門司特電十三日發】十五日大連入港のはるびん丸船客主なる諸氏 大連昌光硝子專務原田臣直、同社員杉森清治、步兵少尉山崎[illegible]、會社員岸田政治郎、村田鉦太郎、橋詰大阪稅關監督、鐵路總局[illegible]社員一行

人事

▲榮厚氏(中央銀行總裁)十三日入港うらる丸にて夫人同伴歸滿 ▲嚴潮洗氏(同監事)同上 ▲久富治氏(同秘書長)同上 ▲遠藤柳作氏(滿洲國々務院總務廳長)同上 ▲關口保氏(同秘書)同上 ▲直木倫太郎氏(大林組技師工學博士)夫人同伴來連 ▲兒玉國雄氏(大同セメント社員)同來連 ▲栗山貞治氏(陸軍一等軍醫)同上 ▲永沼政久氏(正金銀行員)同上

南中支の動搖に動く北支政局(下)
財政的に觀た情勢

財政的に觀た河北の現狀は一言にして之をいへば全く行詰つてゐる、河北の財政といつても山西、山東兩省は事實上獨立して居り、先づ河北省と察哈爾省だが河北も于學忠が押へて居り僅かに北平軍事分會宛に每月五十萬元を支出するに過ぎぬ、是も最近于學忠は稅收激減等の理由で殆ど送らない、察哈爾も事實上は自給自足で北平軍事分會に三十萬元支出するに過ぎず、最近は地方の疲弊と北平軍事分會の地方軍費不拂のため全然送れない有樣である、結局純粹の河北の財政といへば北平軍事分會の軍事費といふ事になるが、現在の處每月所用軍費は約四百五十萬元で內譯左の通りである

(イ)三百卅九萬元中央より支出
(ロ)五十萬元河北省より支出
(ハ)三十萬元察哈爾省より支出
(ニ)五萬元北平市より支出
(ホ)六萬元天津市より支出
(ヘ)十萬元北寧鐵路局より支出
(ト)十萬元其他
計四百五十萬元

右は學良時代戰前月四百五十萬元で長城戰當時五百七十萬に激增その後五百萬元に縮減されてゐたのを、更に黃郛政權となつて中央と打合せの結果戰前の四百五十萬元に復したものである、而して右軍費は一年を十回に分つて中央より支出されるが、共匪討伐のため窮乏の極にある中央は容易に送附せず、本年六回分の如きも河北各將領の猛烈な催促ではあはや動亂も起りかねまじき狀態となつたので十一月六日漸く送附した位である、然も冬期の被服費等は送附なく各軍長は寒さにふるへてゐる有樣である、北平軍事分會では最近各將領會議を開き來年一月より軍費を月四百萬元に縮減給料將官は四割、佐官は三割五分、尉官は三割、士兵は一割を減額する件について諒解を求め、結局實施に決定したが、王以哲の如きは軍費會議の席上かくの如き有樣では結局河北は河北で切り盛りするより仕方ないといひ放つて軍事分會から睨まれ、王樹常、王樹翰等の斡旋、于學忠の保證で漸く監禁を免れた位で軍費問題に對する各將領の不滿が如何に堪へ切れないものになつて來てゐるかゞ窺はれる政務整理委員會の經費と來ては月六萬七千五百元といふから驚く、力も持たず金も無いとあつては如何に黃郛に誠意が有つても仕事がしにくいのは當然で、韓復榘が赴平の際これを聞いてびつくりして幾らか融通しやうと申出で、黃郛は何とかゆくからと斷つたとの話もある、一部には黃郛系の殷同が北寧鐵路局長になつたから多少都合つくだらうと皮肉な見方をする者もあるが恐らく左樣なことはあるまい兎に角財政的にみた河北は全く行き詰つてゐる、福建問題が長びいて若し中央が剿匪討伐費の激增に河北軍費の送附が出來なくなつた場合はどうなるであらうか

×

因に河北省の歲入歲出は最近の分の調查は無いが民國二十年度の分は左の如きものである

河北省歲入出概算表 民國二十年度(昭和六年)

(經常歲入)	
田賦	四、八六七、二九〇
契稅	一、一九六、五六九
牙稅	四、〇五一、四六〇
當稅	五、〇六〇
屠宰稅	九二〇、五二〇
營業稅	二、〇〇〇、〇〇〇
財產收入	八四五、六九〇
行政收入	一、一二三、五九三
事業收入	四一二、八九一
司法收入	一八五、八九二
正雜各捐	一二一、一二一
捲烟統稅撥本省教育基金	一、二〇〇、〇〇〇
菸酒稅附加稅	二二八、八三二
其他附加稅	二四二、三九七
合計	一七、四〇一、三一五
(臨時歲入)	
補助金	五、八一三、〇九五
行政收入	九、〇〇〇
合計	五、八二二、〇九五

(經常歲出)	
黨務費	四三二、七一六
行政費	二、三六〇、九九七
司法費	二、八六二、三五九
公安費	七四九、五五一
財務費	八〇五、二二三
教育文化費	三、一九三、八九〇
實業費	四八九、九〇八
建設費	九六九、四九八
交通費	二二三、二三六
債務費	一二、二二〇、〇二五
典禮費	一、〇〇〇
合計	二四、三〇八、四〇三
(臨時歲出)	
黨務費	一七四、二四〇
行政費	—
財務費	五二、九二〇
教育文化費	三四〇、〇七二
實業費	四七、八五〇
建設費	九六、七二五
債務費	七、五八七、一二一
交通費	四一〇、五二一
典禮費	一三〇、〇〇〇
豫備金	四〇〇、〇〇〇
合計	九、二三九、四四九

今や河北は大なる變轉を前にして喘ぎつゝあるが果してどうなるか、それは今のところ何人も豫想出來ない、時のみがすべてを解決するであらう(完)

蛇角

◇ 胡漢民氏、右に蔣を痛罵し、左に福建を冷嘲す、そして合掌して曰く「救國の要は民權解放にあり」

◇ いふことは巧い、問題はその言動に實力が伴ふかどうかだ。

◇ 改組料理の下拵へ、漸く出來あがる、これから皿に盛つて配膳するまでがまた一苦勞。

◇ 黑白を爭ふ法廷で赤白を爭ふ、曝した赤恥雪げればお慰み。

◇ 詐欺團や萬引團の續出、犯罪のインフレ、國際的で景氣がよいともいへず。

◇ 宣傳のビラを捲いて[illegible]

女の部屋(33)
林芙美子作 一木弴書

眼(一七)

——それが何かの權利ですか?

——え?

氷の樣な土方の一言に逢つてギクッとした洋子の瞳いた眼からは靜かに泪が流れ始めた。男の顏を見つめたまゝで……

——あ、あいして、頂戴、あいして……

——さういふ事は賴まれたからつて、氣輕に引き受ける譯にも行きませんよ。

——まあ……

洋子は呆然としてゐたが軈て蒼白になつて石の樣に佇立した。

(何と云ふ言葉!何と云ふ冷酷な侮辱!)だが土方が彼女の背に優しく右腕をまはして緩く歩き出した時洋子は一度氷りついた氣持が見るまに溶けて、力なく歩き出してゐた。

——洋子さん……

だが土方はそのまゝ長い間默つてゐた。

——い、機會だから、誤解を避ける爲めにも云ひ度いのですが、僕が貴女の誘ひを受けて何度か一緒に外出したのは、決して二人の間に戀の成立の可能性を豫想してたからぢやありません。拒む理由もなかつたからです。

恰度其時彼等の方へ一人の老人が帽子も被らず、白髮の頭を秋の陽に輝かし乍ら、緩い散歩步調でやつて來たので、土方は丁寧な挨拶をした。老人は土方等の研究の指導をしてゐる濱[illegible]教授であつた。彼は溫厚さうなやゝ赤味をおびた顏に人の好さゝうな笑を浮べて二つの青春を見較べてゐた。彼が着てゐる洋服などは何十年かを經た時代物らしく、今では綠茶色に褪せて了つて、頸にはよれよれのネクタイがしよんぼりぶらさがつてゐた。だがその目は何となく人の心を暗くする一種の深い悲哀を物語つてゐた。その悲哀も生々しいものでない丈に、何十年かの間じつと胸一つに藏はれてゐて、積り積つて目の底に冬の夜の北斗星の樣に寒々と光り出たものであつた。

老人が行つて了ふと、二人は又ゆつくり步き出した。

——僕は、此の際何も彼も云つて了つた方がいゝと思ふんです。

——え、。

洋子は心細さうに小さな聲で答へた。

——と云ふのは、世の中には計算的な戀愛從つて打算的な——勿論比較的な問題ですが、結婚を餘儀なくされる階級と、さうでない階級とがあると思ふのです。僕の今の事はよく知りませんが、だから貴女がその何れに屬するかは知りませんけど、僕自身は明かに前者に屬してゐる事を、此處數年來はつきり意識してゐます。僕の家は別に今日明日に食ふに困りはしない、だが、一生呑氣ぢや勿論居られない、それに僕が自分の一生の仕事として選んだのは御存知の樣に至つて金錢的には酬いられない、然も一生大變な努力を續けねばならぬ學問なんです。僕が自分の仕事に就て眞劍になればなる丈、僕の私的生活にとつて、だから又僕の仕事にとつても多少とも決定的な役割を演ずる結婚に就ては、其處等の條件にも適はしい、多少打算的なものとならざるを得ないのです。

——だから洋子ぢや駄目だと仰言るのね?

——……よくは判らないけど、貴女の生活の一部を覗き、又貴女が自分で仰言る家庭での生活ぶりなど考へる時……

——御尤もだわ。でも私が貴方に好意を感じるのも結局、自分の今の生活、自分達階級の淺い[illegible]な環境から逃げ度い希望からよ。

兇暴な囚人四名 突如破獄脫走す
ゆうべ新京總領事館刑務所
八時間經過後判る

【新京電話】新京總領事館刑務所では十二日午後九時頃より十時の間に強力犯四名が破獄逃走した、この大膽極まる破獄犯人は元四平街警察署巡査金成鼎(二八)三原政夫(二五)山崎幸吉(二〇)武藤平八(二三)の四名であるが金は本年二月五日四平街警察署に勤務中

新京 で滿人質屋を襲つた拳銃強盗犯、武藤は八月十日飛行場で作業中同僚と喧嘩してこれを刺殺した傷害致死犯人、三原は詐欺橫領の前科二犯、山崎は新京滿人兩替商を四回に亙つて四名組で襲つた邦人拳銃強盗の一味で(當時新京署にて三名逮捕收監中だが逃走したのは山崎一名)ある

新京總領事館警察署ではこれが犯人逃走後八時間乃至九時間を經過した十三日午前六時四十分頃になつて知つたといふ迂濶振りで、各方面ではその間抜けさには

啞然 としてゐる、なほ破獄現場は東向きの窓で一吋大の鐵棒四本がはめられてあるのを中央二本のボートを兩側に折り曲げそこより同監房の四名が窓下に飛降り逃走したものである、勿論鐵ボートのはめこみが不完全もあるが責任監督者が總領事館警察署内の官舍に居住せず新京署の官舍に居住してゐるためその監督不行屆の點も十分に窺はれ

殊に 逃走後八、九時間後に至り發見したなどは正に重大なる過失であらうとされてゐる

五回目の破獄

【新京電話】新京總領事館刑務所の破獄事件は本年中これが五回目で各方面から頗る非難の聲を浴せられてゐるが、今回の如く犯人逃走後八九時間經過するまで關知しなかつた當局の不注意は言語道斷沙汰の限りであるとされ、十三日午前六時四十分頃この事件を漸く感知した同署では狼狽して犯人捜査に飛出したが時間の經過から見て犯人は相當距離に逃げた模樣である、因に右刑務所は目下大々的に修築工事中である

日支人詐欺團の全貌
黑礁屯の土地を繞つての醜行
利權漁りに大痛棒

(既報)印鑑を僞造して一儲けせんとした事件の中心人物たる元介こと友川一太(五七)は十三日午前九時より柏崎警部補が係りとなつて取調べを行つてゐる、探聞するに

事件 の内容は市外黑礁屯三一番地四の一萬三千圓からの價格を有する土地を繞つての問題である

即ち滿洲事變前張家の權力華やかなりし頃該黑礁屯の土地は曾て張作相の財政部廳長を務めたこともある闞澤博、李太鈞、陳達理の三人名義の所有地となつてゐたものであるが、昭和六年秋滿洲事變勃發して身の危險を感じたゝめ三名は連れ立つて天津に逃亡し今日まで經過してゐたところ、山口縣に生れその後人生の大半を支那または滿洲に過して滿洲浪人となり今は天津日本租界明石街に合資會社弘榮洋行を創立して商賣を營み相當の

地盤 と信用を持つやうになつた本事件の中心人物友川一太と闞澤博の息子闞文華とは最近商賣上のことより相識るやうになつた、然し當時闞文華の父澤博は滿洲を逃亡後天津において杳として姿をくらまし今日至るまでその消息なく、一說には死亡說さへ傳へられてゐるが、行方不明の狀態になつてゐるため闞の一家は日に生活に追はれるやうになつた、その時不圖父と他二名の所有地たる大連の土地に考へついてこれを賣るべく決心しその仲介を友川に依賴したので、兩人は連れ立つて天津より一日來連して遼東ホテルに投宿、早速土地賣買の交渉をなしたが、土地が三名の名義になつてゐるため李、陳兩名の印鑑も必要なところより

遂に 二人共謀の上李、陳兩名の印鑑を僞造し私文書僞造行使を爲し某富豪に折衝中を大連警察署の知るところとなり檢擧を見たものである

友川はこの土地の外種々な土地問題に關係してゐるところより高等においても密かに調査をなしつゝあつたのを司法係では土地が登記されてゐる土地の賣買終つた後前記二名の所有者が現れた時は買つた者が莫大な損害を蒙ることになるので一大英斷を以て檢擧に着手したものであり

利權 を廻る不穩分子に對する一大痛棒として飽くまで追及の決心を有してゐるもの、如く大いに期待されてゐる

優れた健康 美の持主
光榮の乳人

【東京特信】選ばれた光榮の乳人進藤、野口兩女は共に優れた健康美の持主で來る二十日頃から宮城內紅葉山の乳人官舍に皇子樣の御誕生をお待ち申上げて奉仕のはずである、兩女の履歷は左の如し(寫眞上は野口善子女、下は進藤はな女)

乳人

埼玉縣知事推薦 野口善子

大正元年十一月廿五日生れ(二十二歲)平民本籍埼玉縣北葛飾郡幸手町大字幸手六、三八五現住所右同吳服商野口爵妻

茨城縣知事推薦 進藤はな

明治四十三年三月十五日生れ(廿四歲)平民本籍兵庫縣宍粟郡安師村狹戶六〇九現住所茨城縣久慈郡太田町二、一〇九茨城縣立女子師範學校教諭進藤俊男妻

超特急停車驛はたゞ奉天のみ
大連新京間のスピードアップ
九年の時刻改正五案

滿鐵々道部の昭和九年旅客列車時刻改正案はさきに四案の作成を見て鐵道部各課で審議中であつたがその後軍役方面の意向として更に第五案を作成することゝなり輸送課で立案中のところこの程原案の完成を見た

第五案の內容は從來の第四案と大差なく特別な改正點は超特急の停車驛を極度に制限し最大限度のスピードアップに備へてゐる點で即ち大連新京間の停車驛は奉天一驛に止め他は全部通過、滿鐵本線旅客の大半を占める新京奉天、大連乘降旅客の利便に目標を置いてゐる

而して鐵道部ではこゝに改正案全部が出揃つたので來週日曜日に部內全體會議を開催し鐵道部案を決定のうへ更に軍役會の審議にかけることゝなつたが最後に決定を見た第五案は軍部の意向によつたものであるだけに實現の可能性は最も大とされてゐる

歐亞連絡の改正運賃を實施
二十日から滿鐵で

さきにソウエート鐵道ではスエズ經由歐亞連絡旅客吸收策として去る十一月一日以來歐亞連絡蘇聯鐵道の旅客運賃を五割引して對抗をつゞけ日本側としてもソ聯側から正式運賃表が送達されるのを待つて歐亞連絡運賃をそれに伴つて値下げすることゝなつてゐたがこの程正式送達があつたのでいよく改正運賃を決定、滿鐵でも來る二十日から同改正運賃を實施することゝなつた、而してソ聯では寢臺料金の値下げも行つてゐるがこれは區間料金不明のため現狀のまゝとし一般旅客は結局滿洲里から更めて寢臺申込を行ふ手數をかけられることゝなつたがこれまた近く正式改正を見る豫定である、新京驛發歐亞連絡旅客改正運賃のうち主要驛間の料金左の如し(單位金弗)

發驛	經由地	着驛	大人一等料金
新京	ポクラ	ハバロフスク	二〇・七三
同	チタ	滿洲里	三〇・八〇
同	オムスク	同	六〇・六四
同	モスクワ	同	八〇・七七
同	ワルソー	同	八九・二一
同	プラーグ	同	一〇一・三六
同	ウイーン	同	一〇三・九六
同	ベルリン	同	九六・四〇
同	ロンドン	同	一二七・九九
同	ローマ	ワルソー ウイーン	一三三・六八
同	ローマ	ワルソー ベルリン	一三七・四〇

運賃金弗制を協議

現在歐亞連絡運賃は金弗によつて規定されてゐるが現在の如く金弗の變動の甚だしい時は非常な不便不利を伴ふため各國ともこれが改正を協議することゝなり來る十五日からドイツのケーニヒスベルクで各國代表者間の改正協議會が開かれることゝなつたが日本側は時日の關係上代表を派遣せず意見書だけを送附した、而して各國の意向は大體各國別々に自國貨幣を標準にして規定するものとなる模樣であるが實施までにはなほ相當の日子を要する見込である

蘇聯側では寢臺五割引

ソウエート側では明年一月十日から歐亞連絡寢臺の申込金を五割引する豫定である

滿鐵の現狀と吾等の覺悟
林總裁講演要旨(一)

林滿鐵總裁は十三日午前十一時五分から三十五分間に亙り大連放送局で「滿鐵の現狀と吾等の覺悟」の題下で放送を行つたがこの講演は日本全國の各放送局に中繼放送された、左はその講演要旨である

私が只今御紹介に與りました滿鐵總裁の林で御座います、今日の「マイク」を通じまして親しく內地の皆樣に御呼びかけ申すことは私の深く欣快とするところであります

遠く日淸、日露の戰爭この方此の滿洲の地は皆樣御自身、又は父兄、御兄弟、御子息或は知人の方々の血と汗と尊い犧によつて今日の隆昌を齎されたものでありまして日本內地とは全く文字通り血緣の間柄であります、更に突進んで申しますなら滿洲と日本とは同じ血が通つてゐる、同じ神經が通じてゐる、一方が或刺戟を受ければ一方も直ちにこれを感受する、一方が喜び一方が悲しむといふことは出來ない、喜怒哀樂自から一つに斯くあるべきであり、斯くあらしめねばならぬと信ずるのでありまず、固より滿洲國は儼然たる獨立國でありますが、この血緣の關係がかく叫ばしめるのであります

「國防の第一線」と言ひ「日滿經濟ブロック」と言ひそれが吾々にピッタリと來るといふのは畢竟根本においてこの見えざる血の叫びがあり此の叫び聲に合致するからであると思ふのであります

◇……◇

今回の放送を私が特に欣快と致しまする所以も亦茲に存するのでありまして、今日は一つ寬いで皆樣と煖爐を圍みながら語るといふ氣持で御話し申上げることに致します、尙此の機會に、吾々をして今日斯くの境地を惠まれた幾多先人の偉功に對し深い敬意を獻げたいと思ひます、扨て、私の演題は「滿鐵の現狀と吾等の覺悟」となつてをりますが滿鐵の現狀に就て申しまするに先立ち、一言致しますが、成程滿鐵は株式會社ではありますが前に申上げました如く、滿洲は八千萬皆樣の血緣の地である深き日本國民全體の血緣關係に在るところの會社であると言ふことが出來ませう、これ故にこそ彼の滿洲事變以來皆樣の待望せられまする「ニュース」と申せば、華々しき出征將士の武勳に次いでは恐らくその時々の滿鐵の活動——滿鐵の現狀は如何であるかと言ふことでありまして、殊に最近滿鐵改組問題が一度傳へられまするや滿鐵の將來はどうなるかといふ懸念から一大センセーションを捲起し各新聞紙は競つてこれが報道に努めつゝあることは皆樣の滿鐵に對する關心が如何に熾烈であるかを示すものとして、吾々その衝にあるものは深く責任の重且大であることを痛感致してゐる次第であります

◇……◇

この講演に於きましては、演題の如く滿鐵の現狀を申し述べるに止め將來に亙ることを差控へますが、現狀を述べて吾等の覺悟を披瀝致しまするならば、將來の見通しに就きましても、何程かの御參考にならうかと存じます、そこで私は御話を進める便宜上、滿鐵の現狀を人の方面と事業の方面の二つに分けて申上げてみたいと思ひます、元來人と事業とを切離すことは困難でありますが、私が特に人に就いて、即ち滿鐵に働く人々に就いて力說したいと云ふ眞意は由來滿鐵社員は拔け駈けの功名をしない、功績を擧げても名を現はさうとしない、三萬社員は何れも無名の社員たるに甘んじ默々としてその職分に全力を傾注し、それが渾然一體となつて滿鐵の使命遂行に當つて來たのであります、最近社員會の聲明なるものが廣く發表された樣でありますがこれは恐らく會社始まつて以來のことでありませう、滿鐵今日の隆盛を見るに至りましたのは、歷代總裁を始め、重役諸氏の識見、手腕、駐滿軍人各位の御守護、それから皆樣の同情、御支援に依ることは申すまでもありませんが私は茲にその功を語らざる社員のためにも少しく辯じたいのであります、總裁の私がこれを語るのは聊か我田引水の嫌ひはありますが社員を最もよく知るものは私であると信じ、敢て申上げる次第であります(寫眞は放送中の林總裁)

旅順の健康週間報告會

第三回健康週間に對する旅順の報告會は十二日午後五時から敦賀町德興樓で開催、米岡市長を始め關東廳より大場豫防會長代理、吉井部長、瀨下課長代理、旅順醫院各部長、中病院長、各齒科醫院長等三十餘名本社側より社長代理として本村營業局長、高橋事業部長、下茂委員、中井支局長等出席本村社長代理より詳細なる報告及び一場の謝辭を述べこれに對し米岡市長の答辭あり乾盃の後相互次回開催に對する希望意見を開陳八時過ぎ散會した

ダンサーへ桃色訓示
時代の寵兒ダンス淨化に對し曩に舞踏場組合の決議もあつたので大連署保安係では大連で初ての試みたるダンサーを集めて訓示を行ふことになり十三日午後同署講堂にダンサーの招集を行つたダンサー百五十名に各ダンス教師、各經營者一名を集め零時半先づ寺田署長が挨拶を兼ねて訓示をなし次で奉天一燈園主三上知志氏の講演を行ひ終つて岩井保安主任よりダンサー取締要項の指示をなしたが曾て女氣のない講堂に絢爛な渦を卷き一異風景を描いた(寫眞は大連署にて)

凱旋部隊の着發日時

十四日より十九日までの凱旋部隊の着發日時左の如し
▲十四日午前九時半凱旋部隊大連驛着△同十時同上
▲十五日午前六時二十分同上△同七時同上△同九時半同上△午後三時同上乘船發△同四時傷病兵乘船發△同四時四十分凱旋部隊大連驛着
▲十六日午前六時二十分同上△同九時半同上△午後三時同上乘船發
▲十七日午前七時凱旋部隊大連驛着△同九時半同上△午後三時同上乘船發
▲十八日午前七時凱旋部隊大連驛着△同九時半同上△午後三時同上乘船發
▲十九日午前七時戰死遺骨六十餘體大連驛着△同八時半埠頭にて慰靈祭執行△同十時戰死者遺骨△午後三時凱旋部隊同上乘船發

……宿舍に住む大連警察署衛生係勤務の野口五郎藏氏(三七)は豫防に當つてゐたところ發熱したので診斷の結果假痘と確定療病院で手當中である

列車顛覆犯人を逮捕

【ハルビン特電十三日發】去る十日西部線小蒿子驛において怪露人を逮捕したのに端緒を得て同人の所持せる名簿により露人一名、滿人二名を逮捕取調中のところ露人二名は北鐵從業員、滿人二名は靑山好一味で過般の列車顛覆の有力なる犯人なることを自白した

新京の火事
國都建設局文教部廳舍

【新京十三日發國通】十三日午前一時五十分國都建設局文教部廳舍より發火したが機敏な滿洲國消防隊の活動で午前二時廿分鎭火、原因はペチカかららしく損害僅少

白衣の勇士

奧地の衛戍病院に療養中であつた白衣の勇士安藤中尉以下四十八名は二等看護官小館美實氏以下數名の看護兵に守られて十三日午前六時二十分大連驛に凱旋直に自動車に分乘して大江町の衛戍病院に入つたが同午後三時五十分旅順より凱旋した十名と共に十五日午後四時出帆內地へ歸還する豫定である

靑訓の夕べ

十八日午後六時半より協和會館において催される靑年訓練の夕の順序左の如し
▲國歌齊唱▲挨拶(御影池氏政務長)▲奏樂(鐵道ブラスバンド)▲生徒の感想▲講演「最近における蘇聯邦の狀況」(關東軍參謀末藤中佐)▲靑訓歌▲映畫▲閉會の辭(滿鐵學務課長)

凱旋兵歡迎映畫會

十二月十四、十五兩日午後六時より滿鐵會社では協和會館で凱旋兵〇〇〇名を招待し歡迎映畫會を開催、弘報係撮影「守れ熱河」「嫩江越えて」「新興滿洲國」オールトーキー「護れ大空」等を映寫するの外餘興として天才舞踊家尾上房子孃の舞踊を觀覽に供する、尙會場には滿鐵社員公婦人部の人々が出張して茶菓の接待をする

貧困者へ

十三日時間なる匿名の氏より貧困者救濟のため金三十圓小崗子署へ寄附▲十三日五房店深草商店より貧困者救濟のため金三圓小崗子署へ寄附

大連神社月次祭

十五日の大連神社月次祭には氏子代參當番町聖德街區の氏子役員參列の上午前十時より月次祭興執行終つて祓神樂を奉仕する、尙當日は一般參拜者のため早朝より祓神樂を奉仕、神酒、御供物の頒與ありと

またも發かれる國際大萬引團
上海、日本、大連を股にかけた
水上署に凱歌揚る

水上署司法係では過般來奉天丸より一支那人を引致、極秘裡に嚴重取調を續行しつゝあり、事件の內容はなほ嚴秘に附されてゐるが、探聞するところによれば右支那人は上海を根據地とし東京、大阪、京都等日本六大都市並に

大連 に支部を有する國際大萬引團の一員の如くである

即ち同人は上海生れ呉服行商人林聖春(二二)と自稱し同人所持の柳行李、トランクには、結城、西陣織、錦紗等の高級反物がぎつしりつめられてをり、右反物は市內幅星街二七四新吉亭林孝龍(三〇)より「借金の抵當として取つた物だ」と自供してゐるが林孝龍は奉天丸に同人を見送つて來てをり同人が引致さるゝを目擊逃走(現在不明)せし事實あり

且つ家宅捜査の結果、贓品、差出人不明の內地よりの手紙、暗號電報等を發見、同家使用人が日夜十數名の支那人が盛んに出入し反物

衣類 等を懷中より取り出してゐたと供述してゐることこそであり、その後刑事達の現認によつて何等かの有力な確證を摑んだらしく右萬引團捜査方を全國に依賴した模樣である

またも巡査に天然痘の犧牲者
野口大連署衛生係

一時下火になつた如く思はれた天然痘は依然猛威を揮ひつゝあつて日に二、三名の天然痘患者の發生を見つゝあるが曩に警備にあつて豫防に從事中大連署より一名の犧牲者を出し目下治療中のところ遂に豫防の本陣衛生係よりまた一名の犧牲者を出した、譚家屯の警官

天氣予報

十四日 北西の風晴一時曇

各地溫度(十三日午前十一時)
大連零下一　奉天零下九
旅順二　新京零下一一
營口零下七　新義州零度

今日の小洋相場(十一時半)

金百圓につき百 [illegible]

善鬼惡鬼 (287)

平山蘆江作
刈谷深□ 畫

大晦日（五）

「何ですえ」

「大抵、人を馬鹿にさつしやい」

五郎兵衛は、胸先にこみ上げる怒りを押へ切れなかつた。

「馬鹿にしては居りません。魚心あれば水心とやら、お前の方で辛くあたれば……」

「何とでもいふが好い。拙者はもう聞かぬ」

おはまをおしのけて立つた。

併し、例のねつとりした調子でおはまはつきまとつた。

右によけ、左に追はれ、とゞろ喜の座敷をや、しばらくさまよつてゐる。途端に

「車澤、車澤」と、よぶ聲が、相模屋の廊下に響いた。

「拙者、こゝに居る。何ぞ用か」

窓際から顔を出した途端

「車澤」と又一聲。

向ふの窓から二、三人の顔が現れた。

「妙なところに居るの」

松原源八であつた。

「秋岡も一緒か」

松原が又云つた。

「うむ、仔細あつて——」

「拙者一人です」

「秋岡が突然ゐなくなつた」

「秋岡長十郎なら、部屋へ入つた筈だ」

「ところが居らぬ。相方の女も、存ぜぬと申して居る。兎に角戻つてくれ」

「心得た」

五郎は窓枠へ手をかけて、路次一つ、飛び越す氣だつたが、少し離れすぎてゐる。

「はなせ」

お濱は五郎の腰にしつかりつきまとつた。

「はなしませぬ」

「おぬし一人、振りはなすくらゐ何でもない」

「子供の行くへを、聞きたうはないのかえ」

「是非に及ばぬ」

「ほほほ、それも口ばかり。その證據には、それ〳〵、その樣に出しぶつておいでだもの」

「なアに」

一ひねり腰をひねると、おはまは撞とたふれた。

「五郎さん」

うしろもふりむかず、途端に下座敷へ行かうとしたのを追ひかけて

「五郎さん。今こゝで私と別れたら、お前の血を分けた子供はどこを尋ねても見つかりませぬぞえ」

落付きはらつて云はれるほど、五郎兵衛にとつては、辛かつた。

つか〳〵と戻つて、ぴつたり兩手をついて、

「おはまどの、どうぞ敎へて下さい。拙者の一粒種、どこにどうして居ります。恩にきる」

苦しげに賴んだ。

「敎へてあげたいは山々だが」

「どうぞお敎へ下さい」

「敎へてあげますから、私のいふことも聞いて下さいといつてゐるではないか」

「どうあつても云はぬな」

「云ひたくてたまらないのだが、お前がいはしてくれないのでね」

「もう賴まぬ。草を分け、木の根を掘つても、なアに一心の力で探して見せます」

五郎は到頭、あきらめた。

「敎へる、敎へます」

思ひ切りよく行つて了ひさうなので、今度はおはまが慌てはじめた。

併し、五郎はふりむきもしなかつた。つきまとふお濱を、おしのけ、つきのけ、梯子をごん〳〵下りた。

梯子の際で、五郎の袖をつかんだおはまは、ふりはなされたはずみに、足を踏みすべらして下座敷へ、ドドドッところげ落ちた。

「車澤、車澤」

隣のさがみやでは、頻によぶ聲がする。

「おはまどの、氣をたしかに」

五郎は駈けもどつて、一旦、おはまを抱いた。氣を失つたと見えたおはまがさうではなくて、につこり笑ひながら、五郎の手をしつかり取つた。

「エイ、勝手にさつしやい」

云ひ捨てゝ、五郎ははだしの儘隣へ走つた。

滿洲日報

朝夕刊共十二頁

定價　一部賣 金五錢　一ヶ月 金一圓二十錢　郵税 金十五錢
廣告料　普通一行 金一圓三十錢　特別（場所指定）一行 金二圓六十錢　二割以上加算
發行人 鈴木昇　編輯人 橋本喜代治　印刷人 本村武盛
發行所　大連市東公園町卅一番地　株式會社滿洲日報社　振替口座大連六〇番

鐵道益金繰り入れ問題
職を賭しても反對する三土鐵相
荒木陸相の國防論 内政會議で正面衝突

【東京特電十三日發】内政會議において荒木陸相はかねて抱懷せる鐵道特別會計改正意見、卽ちその益金を一般會計に繰入れて所謂鐵道モンロー主義を打破すべしと力說し、進んで鐵道會議に附議さるべき建設計畫及び私鐵買收案には眞ッ向から反對し、鐵道計畫はすべて國防本位に樹て直し從來の黨利黨略線を根柢から打破すべしと論じたため、三土鐵相との間に一大論戰を生じ、鐵相は飽くまで特別會計の本義から益金の繰り入れに反對し、職を賭しても自說を讓らないと斷言したと傳へられ、軍部は鐵道政策に對してその主張を貫現する前提とみられ新たに政治的大問題を生じつゝある

考査部設置案 樞府審査委員會

【東京十三日發國通】外務省考査部設置案の修正代案に關する第四回樞府審査委員會は十三日午後一時半樞府事務所に開會倉富、平沼正副議長、金子委員長以下各委員二上書記官長及び樞府側の要求により特に齋藤首相、廣田外相出席し先づ金子委員長から更に樞府側のみで二回委員會を開き愼重協議を重ねたる經過を述べ、次いで各委員より議案に關聯して政府の抱懷する非常時外交の根本方針を中心に首相、外相に質問しこれに對し主として廣田外相は對歐米並に對ソ對支その他一般外交に關する所信を開陳した、大體本日で審査委員會の態度を決定し政府より一旦原案を撤回改めて成案の御諮詢を待ち二十日若しくは二十七日の定例本會議に上程の筈である

現地を離れ行く 滿鐵改組擴充案
新京會議全く終る

【新京電話】八田滿鐵副總裁、十河、河本兩理事、市川經理部長、岡田經調主査の諸氏は十三日午後一時ヤマトホテルを出發、關東軍司令部を訪問精査委員と共に滿鐵改組擴充に關する最後的審議を行ひ兩者の完全なる意見の一致の下に玆に現地としての終幕を見るに至つた

なほ八田副總裁一行は午後四時半發列車で朗かに歸任の途についた一方中央部より派遣された秋永少佐、平井一等主計は完結された現地案を嚴封して携行新京發歸京の途に就くのも玆一兩日中と見られてゐる

【新京電話】十三日午後一時より軍司令部に於て滿鐵問題に就て協議懇談を遂げたが午後四時兩者の間に完全なる諒解を見たので今後は中央の問題となる譯である特に改組により經濟上何等の不安を伴ふものでない點が明確にされたことに關し軍、滿鐵側共に喜んでゐる

【東京十三日發國通】滿鐵改組に就いては新京に於いて關東軍司令部と滿鐵當事者間に具體案の作成に就いて協議を進めてゐたが大體具體案が決定したので關東軍司令部から陸軍省中央部に宛て決定案を具申して來た、依つて陸軍中央關係當局で研究中だが滿鐵から拓務省に案を具申して來るのは尚數日遲延する模樣であるので拓務省に案が到着し研究の終了するのを俟つて愈々陸軍、拓務其他中央部關係當局の間に最後的決定に關する協議が開始されることになつた

現地案成るまで
四平街にて　和氣特派員

滿鐵改組問題は近く完全に現地を離れて日本當面の重大政治問題として中央に移される事になつたが所謂特務部案が出來たのは本年四月で、それから十月上旬までは滿鐵と軍との折衝時代を第一期とし十月下旬から十二月十三日迄の社員會が蹶起したり、又内地及び地元に紛議續出した中に軍と滿鐵が正面的折衝を開始した頃を第二期とすれば、十二月十三日以後は滿鐵改組問題も愈々第三期に入つたものといふべきである、この特筆すべき轉換期に當つて

世人の注目 は次の三點にかゝつてゐる

第一、關東軍は如何なる現地案を決定するか
第二、現地案と滿鐵とは如何なる關係にあるか
第三、現地案は内地に於て如何なる取扱ひを受けるか

第一の現地案の内容如何については世上色々の推測が行はれてゐるが、所謂軍の原案が今日はそのまゝ採用されてゐない事が明らかであるが、どの程度の修正がなされてゐるか、次は特務部原案は十月上旬の滿鐵の第一次答申案の希望條項をへて確定されたものだと傳へられてゐる、卽ち持株會社が企業を經營せざる根本方針は變らぬが、親會社が子會社に對する統制力をやゝ擴大した事、親會社の總裁が在滿最高機關の經濟顧問格になりその諮問に應ずること、第三は

舊滿鐵株主 の利益を尊重し、また今後の金融能力を大ならしむるために子會社の社外保留金並に親會社に對する配當を統制する事（一）地方行政の滿洲國移管を出來るだけ短期間に實現し親會社の財政的負擔を輕減する事等の變更を見たと稱してゐる、併しこの制度の變更が果して所謂特務部原案の持つ缺點を完全に救濟したか否かについては贊否各々議論あるべく、凡ては數字的研究が必要となつて來る、滿鐵改組に對しては大綱的方針が一致したとは問題が表面化して以來重役以下の關係者が屢々言明した所であるが抽象的な大綱論に於て如何に一致しても、これを具體的に數字的に立案してみて實現不可能とあれば一個の理想論にすぎなくなるそこで關東軍では十一月上旬以來細目的立案をなすべく、これに要する數字的資料の提出方を滿鐵に求め、滿鐵では直に社內のエキスパートを集めて

軍の指示に 基く計數的調査にとりかゝり、約の如く十一月中に完成し、十二月四日より所謂新京會議を行つて來たわけである、この資料は極めて浩瀚なもので、微に入り細を穿つてゐるが、この結論として傳へられるところによれば特務部案を數字的に具體化すれば、子會社中には營利的に面白からざるもの多く、從つて子會社の親會社に對する平均配當率、親會社の株主に對する配當率は非常に惡くなり、滿洲の當面の急務たる資金吸收に支障を來す恐れある事を示すものであつたといふ、軍部ではこの數字を以て自已の原案に適宜に肉附けしたがそれで果して特務部案の持つてゐた缺陷が完全に修正し得られたかどうかは今後多くの論議を經る事であらう、第二の現地案と滿鐵とは如何なる關係にあるかの問題は一層複雜である、大綱的審議必ずしも一致を有せざる事は既に述べた通りだが、軍と滿鐵とはどの程度の一致點の上に立つものであるか、一部では滿鐵が特務部案に對し留保條項を軍に提出して現地案を作成した以上は、現地案は兩者の完全な一致の上に成立したものと見てゐる、併しその當時とは大分事情が違つて居り、且つ十月五日の滿鐵答申案が如何なる效力をなしてゐるかは

秘密の交渉 だつただけに今なほ明らかでない、況んやその後社內の精鋭を選んで數字的に檢討した結果は、親會社は鐵道と炭礦を經營せざるべからずといふ滿鐵社員一般の輿論が自ら反映してきてゐるやうだから、現地案がこれと相隔たる事遠い場合にも具體的に完全一致となるかどうか、中央に於ても恐らくこの點について再檢討が行はれるであらう

第三の現地案が中央に於て如何なる取扱ひを受けるかは、現地案の全貌が明確でなく、今日豫想は許さない、唯現地案に對する現地の「一致」がどの程度の廣さを有するかゞ、この案の中央に於ける實現性を左右するわけだからその意味に於て軍と滿鐵との完全な一致こそ最も望ましいものである、滿鐵幹部が新京驛を發するや、記者（和氣特派員）は直に

特別車中に 於て八田副總裁と會見したが、その談によると左の如くである

今日で現地案に關する審議は一應完了した、もうなすべき事はない、十三日夜現地案が完成して我々が祝盃をあげたといふ報道があるといふのか、祝盃とはよかつたな、昨日も今日も現地案などは會議の席上に出ないよ ただ計數的資料について說明應答しただけだ、現地案は軍が作るので、いづれ中央に提出される事だらう、私も株主總會に出るか何日出帆するかは未定だ

現地に於てはすんだといふ言葉は色々に解釋されるが、とに角既に問題は現地を離れて、中央に移るばかりで、滿鐵改組問題も愈々其全運命を決すべく第三期に入つた

警備戰隊幹部

【東京十三日發國通】海軍では國防力充實の爲め各鎭守府に警備戰隊を新設常備する事となり警備戰隊令を發布、十一日より實施する事になりこれに伴ふ司令官並びに參謀の任命は十一日附左の如く正式發令された

補佐世保警備戰隊司令官　佐世保鎭守府附　海軍少將　鈴木義一
補吳警備戰隊司令官　吳鎭守府附　海軍少將　北川清
補橫須賀警備戰隊司令官　橫須賀鎭守府附　海軍少將　山口長南
補橫須賀警備戰隊參謀　橫須賀鎭守府附　海軍中佐　安場保雄
補吳警備戰隊參謀　吳鎭守府附　海軍中佐　長谷川眞三郎
補吳警備戰隊參謀　佐世保鎭守府附　海軍少佐　松本毅
補佐世保警備戰隊參謀　吳鎭守府附　海軍機關大佐　小西外男
補吳警備戰隊機關長　橫須賀鎭守府附　海軍機關大佐　飯田廿一
補橫須賀警備戰隊機關長　佐世保鎭守府附
補佐世保警備戰隊機關長　海軍機關大佐　竹岡健治

海軍辭令

【東京十三日發國通】
軍令部出仕海軍中將　藤吉晙
軍令部出仕海軍少將子爵河瀨眞、寺本武治、藏田直、角佐七、中尾金房、久原祠松、村上佐、海軍艦政本部出仕海軍少將富川藤太郎、大野俊彦

軍令部出仕　海軍々醫少將　阿部文五郎
橫須賀鎭守府附　同　會田常次
待命被仰付（各通）
吳鎭守府附　海軍々醫少將　柏崎治
待命被仰付（但東京に滯在すべし）
橫須賀鎭守府附　海軍々醫少將　生田善次
軍令部出仕　海軍主計少將　加藤亮一
同　海軍少將　川田小三郎
海軍艦政本部出仕　海軍造船少將　穗積律之助
橫須賀鎭守府附　海軍大佐　難波常三郎
待命被仰付（各通）
吳鎭守府附　海軍大佐　松原雅太
待命被仰付（但し東京に滯在すべし）
佐世保鎭守府附　海軍大佐　大崎義雄
待命被仰付（但し橫須賀に滯在すべし）
海軍艦政本部出仕　海軍大佐　赤堀英吉
待命被仰付

佐世保鎭守府附　海軍大佐　後藤輝造
海軍大佐　古賀七三郎
待命被仰付（各通）（但し東京に滯在すべし）
橫須賀鎭守府附海軍大佐小熊文雄、武田哲郎、吳同荻野仲一郎、境澄信、橫須賀同實吉敏郎
待命被仰付（各通）
佐世保鎭守府附海軍大佐石黑虎雄、稻川典三郎
待命被仰付（各通）（橫須賀滯在）
橫須賀鎭守府附海軍大佐　森口重市
吳　同　岡本絢
待命被仰付（各通）
吳鎭守府附海軍大佐　宮崎平
待命被仰付（東京滯在）
軍令部出仕兼部員　海軍大佐　淺井武雄
補第三艦隊司令部附　海軍大佐　宇垣完爾
歐米各國へ出張を命す
第十一戰隊司令部附　海軍大佐　原忠一
橫須賀鎭守府附被仰付
軍令部出仕兼海軍省出仕

海軍大佐　丸茂邦則
免兼職　歐米各國へ出張を命す
吳鎭守府附海軍大佐　中野郡次
待命被仰付
吳鎭守府附海軍機關大佐　工藤重次郎
佐世保鎭守府附同　府錄東作
海軍艦政本部出仕
海軍機關大佐　草川浩
橫須賀鎭守府附
海軍大佐山崎軍藏、石川謙、齋藤一治、出口俊雄
待命被仰付（各通）
佐世保鎭守府附　海軍大佐　鈴木禮三
海軍航空本部出仕
同　松井龍
佐世保鎭守府附
海軍大佐　井手術太
橫須賀鎭守府附
同　富井宗治
同上　小出捷
吳鎭守府附同　宮野尾光司
橫須賀鎭守府附
同　廣部增次郎
待命被仰付（各通）

松岡氏演說會

【東京十三日發國通】政黨解消の爆彈を政界に投じ目下歸鄕中の松岡洋右氏は十七日午後一時日本青年館にて一國一體の確立、卽時政黨解消のスローガンを揭げ非常時局に際し國民に愬ふの演題下に大いに氣勢を揚げる事になつた

アメリカ財務省
首腦部の動搖
續々ル氏傘下を去る

【ワシントン十二日發國通】米國財務省首腦部の動搖は尙ほ熄まず財務次官補ヒューズ氏はモーゲンタウ財務長官代理が內國歲入局の監督權を取上げ自ら之を兼任したゝめその主要權限を失ふに至つたのを不滿とし ル大統領の手許に辭表を提出、ル大統領も遺憾ながら之を受理する旨を聲明し更に長期休暇中のウデイン財務長官も病尙癒えざることを理由に來年元旦を待たずして愈々最後的に辭職しルーズヴエルト政權と決定的に訣別するものと見られるに至つた又聯邦預金保險會社々長カンニンガム氏も來月一日以後其職を去るに決したと傳へられ財務省首腦部關係の陣容變動が期待される

東洋移民禁止 緩和を要求
米外國宣敎師團

【ワシントン十二日發國通】外國宣敎師聯合會議代表は十二日ル大統領を訪問し國際聯盟並に移民問題に關し左の如く聯合會議の主張を傳達した

一、國際聯盟がヴエルサイユ條約より分離し改組された場合これに贊同されたし
二、東洋諸國に對する移民禁止の解除に贊成されたし

外務辭令

【東京十三日發國通】
オデッサ領事　田中文一郎
滿洲里領事館在勤命す
奉天副領事　寺岡信人
哈爾濱總領事館在勤命す

出迎へませう 凱旋の勇士

十四日午前九時半と
同　十時の二回着驛

北支の反蔣團 體鎭壓に着手

【天津十三日發國通】最近北支反蔣團體が福建派と呼應し民衆團體敎育界の買收運動を始めて居る事を知つた蔣介石氏は今月より爆動分子鎭壓のため案反費として毎月五萬元を北平軍事分會に送附する事となつた右割當は北平市一萬元天津市一萬六千元津浦路二千元北寧路一千元其他であるが各地高級黨部をして地方情況各界團體の情況を調査報告せしめるものである

南京側の交渉を 胡漢民氏拒絶す
福建問題の調停をも否定

【香港十二日發國通】南京特派使節張繼氏等の一行は十一日午後三時胡漢民氏をその私邸に訪問し約二時間に亘つて中央の意向を傳達すると共に現下の國難に際し胡漢民氏自から南京に來り蔣汪兩氏と合作せんことを慫慂した、之に對し胡漢民氏は平然之をあしらひ自已の意見が中央に容れられるならば合作も亦敢て辭せないが、現在は健康が勝れないから南京行きは不可能であると簡單に拒絕の意を表明したと確聞する、胡漢民氏は張繼氏との會見後、その秘書をして胡漢民氏が中央對福建の問題調停を引受けやうと申出たことは絕對にないと發表せしめた

順調に進む移民（下）
＝滿洲移民に就いて＝
遠藤生

試驗移民だといはれてゐる佳木斯移民の成敗を外に、眞實なる滿洲移民計畫が歩一歩と進み出して來ました。關東軍の移民部では兎に角滿鐵から數百萬圓の金を融通して貰うてハルビンの郊外を始めとし、拉賓線及び京圖沿線に適當なる移住用地を買收してゐます。これ等の土地は皆交通關係においても最良のものです、移住地の一番遠い所からでも四五里で停車場に達し、そのあるものゝ如きは一移住地中に四つも停車場があるといふ至便なものです

× ×

さうしてその移住計畫がすてきなものです、土地買收でも移住地の設計でもその部落の組立て方でも、その入植者一農家の營農基準でも頗る念の入つたものだといふ話です、先日日本から來たある苦勞人はその計畫を見て「之ならばキット成功が出來る」と歎稱したといふことです

學校、病院は勿論產業組合等の施設も出來るし、移住地內には各府縣又は公益團體の募集にかゝる三十戶の部落が土壁によつて圍繞され、その土壁內には一戶分三百坪の屋敷があり、之れに三間房子の支那式を日本人向きに改良した住宅から畜舍や支那人常傭の建物まで整備し、外務省からは警察官の派出所を建て、警備に當らうといふことであり、先住の滿洲人も出來るだけは退去せしめず、日滿共存共榮の實を擧げて行く事の出來るやうな組織になつてゐるといふ話です

それから新しく日本からつれて來た新移民ばかりでは駄目だらうといふので、滿鐵の熊岳城、公主嶺の兩實習所を總動員して各五十名宛合計百名の生徒を入れ、一ケ年死訓練をし、これを移住地の基幹として入地せしめようといふことですから佳木斯のやり方とはかなり違つて整備した組織になつて來ました

つまり佳木斯をやつた時には、日本內地でも滿洲の方でも苦勞人を排擊したのでありますが、今度の計畫は日本でも滿洲でも移民問題に苦勞をした人々の合作でありますから、うまく行かずに居る譯はありませぬ

此頃では日本內地の資本家中にも私利を離れ邦家民族に御奉公する意味から滿洲移民の爲めに必要な資金を投じやうといふ篤志家もあり、そのあるものは代表者を送つて滿洲移民問題の調査に手を染め出したものもあるとの事でありますから、急には行かなくとも滿洲移民が相當の働きをなすであらうと豫測することが出來ます

× ×

此苦勞人達は移住地から滿洲人を退去せしめやうなどとは夢にも考へてゐませんのみならず、出來るだけの滿洲國民と同居し、日本の病院だとか、學校だとか、乃至は產業組合やその他日本人の持つてゐる文化的進歩的の機關を滿洲人に提供することを考へてゐますから、日本の農民の滿洲移住が、眞實に滿洲三千萬大衆の福利となつて行かうと考へらるゝのですから、滿洲國の官民も將又日系の滿洲國官吏も此點について心配する必要は少しもありません

とに角、かくの如くしていよいよ滿洲國內における日本移民の仕事が順調に進み、レールに乘つて來たことは實に喜ばしい事で、滿洲內にある一部の日本人も農業的に進出しやうと考へる者も增加して來た樣であります、日本農民が移住すれば治安が維持され、附近の滿洲人が非常に幸福になるのは火を見るより明かです

移民と軍事工作
佳木斯から眞劍の叫び

前記の如き立派な計畫が關東軍移民部の手で着々進捗してゐるのであるが、玆に困つた事は、此事業の遂行に必要な豫算を拓務省で取りきらぬ事です、四百萬圓の豫算が二年も續いて三十何萬圓かに節減されるやうではどうする事も出來ませぬ、又、今日滿洲に移民の仕事を拓務省でやらうといふことが無理ではないでせうか

× ×

例へば、土地を買收することでも、移住適地を見つけることでも、移住者の輸送でも、その荷物の世話でも、早い話がギヤスリンの配給でも井戶の試掘でも何一つとして軍の御世話にならずに出來ることはありません、だから賢明な拓務省ならば將來、自分等の手で仕末が出來るやうになれば別ですが、今日の所は軍のお世話にならねば何事も滿洲では出來ないのですから、移民工作も軍の方で何分宜しくお願申上げます

と申出るべき筈であります、拓務省でも拓務局の者は南米移民をやつて多少の體驗があるが管理局の方では移民は全く素人ばかりである從つて佳木斯などでもあの始末である（佳木斯の移住者は涙ぐましい活動をしてゐるが、遺憾の點がある）さうして豫算も取りきらないやうではどうすることも出來ませぬ

× ×

又、軍の方からいふと、治安が維持されれば軍事工作は一段落である、軍事工作について尤も困難にしてしかも大切なものは移民工作である、一體今日までに炭礦會社や、電信會社や採金會社や、林木會社等日本の農民にも滿洲三千萬の民衆にも殆ど關係ない會社を組織させ、日滿、日露、滿洲事變に滿洲國の治安維持等にその生命を失つた日本農村の父兄に對し、その生活と直接の交渉のある農民移住問題に冷淡ではなからうか、移民工作は準軍事工作で、當然軍が陣頭に立つてハキハキやられねばならぬ事業であるといはればならぬ、軍の豫算を澤山取る上に移民事業費までも計上しては國民に對して具合が惡いなどといふ事は小人物のいふことである、滿洲移民工作は當分は當然軍でやられば出來ぬ仕事であるから、軍でやる、その經費は當然支出して貰はればならぬと軍が主張するのが當然である

南米ブラジル移民に對しては一ケ年に七八百萬圓も出して、國策の滿洲移民に對しては僅かに三十萬圓しか取れないといふ實況は一體どうした事か、又、ブラジル移民には一戶に對し補助金と低利資金を合せて三千圓も出してゐるのに滿洲移民の補助は澤山出させることは出來ないなどゝ尻込む必要が何所にあるか

× ×

佳木斯移民の叫びを聞いて見ると、拓務省ではトテモ駄目だから何とかして軍の方で世話を見面倒を見て貰ひたいといふてゐます。

北海道の屯田兵村が失敗だの、官營移民が駄目だのといふ者は、眞實に北海道の開拓史を知らない者のいふことである、日本の移民問題中滿洲移民問題は一番困難な問題であるから、それを世話する者には、滿洲において一番力を持つてゐる者卽ち軍部が進んでこれに當るべきは當然で、寧ろ今日なほ躊躇して居るのは遠慮がすぎるといふものである、滿洲移民を軍事工作の一部とせよ、これ我輩の叫びである（完）

社説

我統制經濟の指す所

統制經濟の語は一般的に用ひられるに至り、實際にも既に統制經濟の觀點から着手された經濟政策がある。今後は統制經濟による政策が益々多く行はれんとする。併しながら均しく統制經濟と稱せられても、各政策の持つ統制の意義が必ずしも同一ならざる場合ありて、時に不明瞭の事もある。此際吾々は此の語の意義を明かにしておいて、此の場合の統制は此の意義に當るといふことを理解する必要があると考へる。凡そ經濟なるものはいつの時代でも政治によりて統制されぬとはない。時の權力者の氣分乃至主義、思想によりて統制さるゝを免れ得ない。

◇

經濟は主義によりて統制されるが、資本主義、社會主義、共産主義によりて統制さるゝを想ひ得る。又統制の客體により別がある。卽ち生産の統制、分配の統制、消費の統制がこれである。更に地域によりても別がある。卽ち一町村市府縣内の統制、一國内の統制、數ケ國內の統制、世界を通じての統制である。今日各國で普通に行はれてゐるのは資本主義的統制で、産業助長に關する法制でも、民法、商法でも經濟に關するものには資本主義が多分に包含されてゐる。此の結果は刑法や一般行政法にも資本主義の影響を受くる所が多い。然るに資本主義の弊害が漸次多くなつて來たので、各國均しくこれを匡救せんが爲めに社會主義が多く加味さるゝことになつた。その程度は各國によりて差異はあるが、此の加味程度が漸次多くなる傾向を辿つてゐる。但し勞農政府は異色ありて、共産主義によりて全經濟が統制されてゐる。然るに漸次年月を經ると共に、社會主義乃至資本主義が漸次加味されつゝある。

◇

それから、現在の各國では生産の統制が可なり行はれてゐるのもあり、又分配の統制が行はれてゐるのもある。生産分配を通じて統制されてゐるのもある。而して最も目立つのは某種の産業、某品種の生産につきて統制さるゝことである。此の場合多くは資本主義的統制である。但し勞農政治下に於いては、いふまでもなく、資本主義を否定して、所謂勞農主義によりて、生産、分配、消費の全國民經濟に渉り、又全地域に渉りて統制さるゝのであるが、資本主義の弊を除いても別に勞農主義の弊が簇生して現在圓滑には行はれてゐないやうだ。地域による統制も、現在各國にて夫々試みられてゐる。

◇

我邦の現狀を見るに、矢張り主義は資本主義を主として社會主義が加味されてゐる。又某事業、其品の生産に關して、國營又は法規的制限によりて統制されてゐる。或は分配統制もあり生産分配を通する統制もある。併しながら今後益々聲を大きくして統制經濟が行はれんとするが、それは如何なる統制に行かんとするのか。察するに、更に資本主義を社會主義によりて制抑せんとするにある。而して生産、分配、消費の全國民經濟に渉りて統制せんとする傾向にあるやうである。其の上更に目立つのは統制地域を日滿兩國に渉るものとして、所謂日滿經濟ブロックを形成せんとするにある。

◇

日滿經濟ブロックは世界のブロック傾向に對應するものであり、生産、分配、消費の全經濟を統制せんとするのは、從來生産主義が重視されて、しかも各種の生産間に統制なく、又分配と、消費との統制が等閑視された爲めに發生した各種の弊害を除かんがためである。資本主義を修正せんとするのはいふまでもなくその弊害が多くなつて、我國體の基礎をも危ふくせんとするに至つたからだ。以上の方針によりて統制經濟が進められるものと思ふが、その實行に當りて緩急と精神とを誤まると角を矯めて牛を殺す虞れがある。精神は物質主義に偏すると勞農政治の轍を履まぬとは限らぬ。他國の模倣に陷ると國體を壞ることになる。要するに日本主義と、倫理思想とを忘れてはならぬ。而してその緩急には最も注意が拂はれねばならぬ。

舊紙幣の回收順調
既濟分七割二五
中央銀行に集る信用

【新京電話】滿洲中央銀行はその開行當初舊行號より繼承した舊紙幣は幣種十五驗種百三十六でこれを國幣に換算すれば一億四千二百二十四萬圓となるがその中本年十一月末までに舊紙幣回收額は一億三百五十二萬餘圓に上りその回收割合は繼承額に對し七割二分八厘と云ふ好成績を示してゐるがこれは同行全員の努力によるは勿論全國民の中銀に對する信用を裏書するものともいふべくこの分で行けば未回收現在高三千八百七十萬圓の回收も通用期限である大同三年六月末までには十分回收し得べく期待されてゐる

童子團聯盟
指導員會議

【奉天電話】奉天省童子團聯盟が成立してから各縣に支部も設けられたが既に十六縣に及び童子團員は三千餘名に達したので本月童子目下各規程の審議中である團指導員會議を招集し來年度よりは社會工作を行ふことを申合せた

護照法實施
十八日迄延期

【奉天電話】行運護照に對する法條の樣式が非常に複雜であり印刷をするのにも短期間で出來なかつたゝめ市商會では實施期日延期を稅捐局に要請したところ十八日の月曜まで延期する旨を示達して來た併し邦人側は貿易商組合では滿洲側市商會とは別個にこの種の複雜化した改惡につき稅捐局に其の改廢方を要請するか中央政府に申請するか、近く具體的方法を講じてできるだけ完全に取扱はれるやう請願する意向である

總局陣容
人員配置準備

【奉天電話】鐵路總局が內地において新に採用した六百數十名の職員に對し何れも人事科においては總局及び各路線に配置するため既にそのスケジュールを決定してゐるがこれは總局の改組案とは何等直接の關係なく單に各國線における現業員への指導的立場において開始されるもので現在の如く六十パーセントからの文字を知らない現業員が交通機關の主要點に從事してゐるとは一般機能を發揮する上から言ふも非常に無理が生じ危險性を有するので滿人現業員の文盲退治と彼等を從業員としての立派な人格者に指導するため新採用の局員は配置さるゝもので總局の改組問題は現に起案を終へた旅客貨物運轉通信人事に關する規定を區々に分れてゐる各國線に統一施行するとゝもに新設鐵道たる各線と母體である滿鐵線との聯絡機能を十二分に確立し鐵道本來の使命による業務上の改組を行ふ方針で

綿絲布類の
海外進出再吟味
商工省統制に起たん

【東京十三日發國通】海外各市場に於て日本品のダンピングの聲益々高まらんとする情勢に鑑み商工省は本邦重要輸出品に對し全面的に統制を行ふ計畫の下に今回その準備として先づ大阪人絹織物輸出組合及日本輸出綿糸布同業會に對し大阪府廳を通じ昭和七年六月より最近に至る對印輸出情況を左の如く報告方を命令した

一、對印輸出綿糸布並に人絹糸布の情況
一、輸出業者の氏名及商號
一、その他對印輸出に關係の事項

對滿資本投下
平靜を恢復
【ドイツ誌の積缺公債批判】

去る九月七日滿洲國財政部當局は舊東北政權に對するドイツ債權の賦拂濟として三分利附積缺假公債百五十五萬五千六百十元を發行しこれをドイツ債權者團體の代表者に交附した。假公債は既に賣買せられ滿洲中央銀行はその公定相場を額面價格の六〇％と定めた

こゝにおいてか最近二ケ年間ドイツ實業家の對滿投下資本は極めて不安なる狀態にあつたが遂にその平靜さを回復した、成程ドイツ債權は上は富豪より下は個人商店の僅少なる債權に至るまで未だその全額の支拂を受けざるも、これらの破産企業(鐵道會社等々)に對する債權は整理の上最も近き將來において完濟されるものと豫測される。

×

既に一九三一年九月十八日の滿洲事變勃發直後、舊東北政權の債權者は各國別に債權者團體を結成し、その貸金債權を申告した、一九三二年三月下旬に至り、各國領事館より各々その定式による請求額が提出されたるも、滿洲國政府はその年の九月上旬に至つて漸く債權者に支拂ひをなす旨の返答を與へた、一九三二年十二月十四日積缺善後辦法の正式決定を見るに至りその後整理は着々進捗した。各國の積缺はこれを分つて二種となす。

一、一九三〇年一月一日乃至一九三一年九月十八日に至るまでに物品引渡を完了したるもの
一、(イ)一九三〇年一月一日以前に物品引渡を了したるもの(ロ)その他の未交貨品積缺

第一種積缺は大同元年度において三割五分、大同二年度において二割の割合を以て各國債權者に對し等しく現金附をなすことゝし、現金支拂を受けざる殘額に對しては、第二種積缺と同じく之に相當する二十箇年償還三分利附公債にて辨濟される延滯利子請求權は明確なる協定の存する場合にのみ之を認め、又一九三一年九月十八日に至るまでの爲替相場の…

第一種積缺の整理は比較的簡單であるが、第二種積缺のそれは種々の困難を伴ふ、交附未濟の貨物には雜多なる種類があるが、これを嚴密に分類すれば次の如くなる

1 滿洲國、支那及び日本に發送されず其儘放置せられたるもの
2 獨逸に於て發送準備完了の儘停滯せしもの
3 全部又は一部仕上げられたるもの
4 遂に製作せられざりしもの

これである、積缺善後委員會はこれらの未交貨物の間に種々の割合を設定し、これに從つて整理を進捗せしめた、この割合は契約價格の一割乃至六割迄の種々の段階があるのであるが、原價にても全然轉賣し得ざるものについては契約價格の九割迄支拂を認めた、從つてこの種の商品にして舊東北政權に賣却後未だ交付せざりしものは賣却者をして多大の利益を收得せしめた。

現金支拂は一九三二年一月上旬三割五分同じく七月上旬二割の二回に亘つて爲され、九月七日には上述の如く積缺假公債の交付を見たのであるが、各國の取扱は極めて公平である、今各國別に現金交付額、公債交付額を表示すれば左の如くである。

國別	現金交付額	公債交付額
滿洲國(中國を含む)	[illegible]	[illegible]
日本	[illegible]	[illegible]
獨逸	[illegible]	[illegible]
英國	[illegible]	[illegible]
米國	[illegible]	[illegible]
佛國	[illegible]	[illegible]
丁抹	[illegible]	[illegible]
其の他	[illegible]	[illegible]
合計	[illegible]	[illegible]

×

各國の債權者は整理の完了と共に全額の辨濟を受けるのであるが各商會は爲替相場及び利子の變動による損失並に積缺公債の低價により少なからざる損失を蒙るであらう、滿洲國政府は着々既定のプログラムを──未だ滿洲國財政の健全なる發達については確然たる豫測を許さゞるものあるも或る時期まで──進捗せしむるに當つて原價にても轉賣し得ざるものについては特にその緩和を圖るべく、常に特別の配慮をなして來たことは一般に認められてゐる、ドイツ債權者團體の代表者たる奉天カロウイッツ商會支配人ドイツ債權者の爲に與へられた献身的なる努力に對しては特別の感謝を表明して然るべきである(ドイツ、オスシアトアチイッシュルンドシャウ誌十月號所載)

國民政府
借欵米棉處分難
賣値ます〳〵下廻る

【大阪十三日發國通】…

滿博穴塡めと
市場獎勵金
大連市參事會議

十三日の大連市參事會において審議未了の議案中、重要なるものによれば赤字補塡は展報の如く十五萬五千七百五十圓中、十萬圓は基本財産より繰入流用年利六分を附して五ケ年間に積戻し、五萬四千圓は一般會計の剩餘金を充當し、殘る一千七百五十圓は滿博特別會計繰入金に對する利子を繰入れることになつてゐる、次に市場獎勵金は仲買人に對する出荷獎勵金一萬五千五百五十五圓諸出荷組合に對する上場奬勵一萬二千八百二十圓合計二萬八千三百七十五圓にして內地物並に山東物の上場高及び出荷組合の上場高が可なり尨大に見積つて市場の前途を樂觀してゐる跡が窺はれる

大連市參事會

大連市參事會は志村、西田、戀田各議員並に小川市長、岡野助役等出席して十三日午後二時半開會
一、昭和八年度市稅戶別割等級更訂の件
一、不動産の管理に關する件
一、寄附收受の件(滿博協贊會より八千圓)
一、寄附金收受並に之が管理に關する件(兒玉誠氏より五百圓)を原案通り可決したるもその他重要案件に入らず午後五時閉會、次回は十六日續開の筈

旅順市會
可決二件

旅順市會は十三日午後二時卅分より市會議事堂にて開會、各議員及び市理事者出席(山口、竹中、中…

詮衡發表された
陸上競技の五傑
(4)──八年度の滿洲陸上競技記録

以上の如く、滿洲新記錄六種目(四百米、四百米繼走、走高跳、棒高跳、砲丸投、槍投)の記錄的躍進を以て八年度シーズンを終了したが、これ等の記錄は從來の滿洲記錄を更進したとはいへ更進し得ざりし他種目と同樣、日本陸上競技界のレベルに達せざるものが少くない、谷、仲田、小數賀時代を謳歌するものではないが昔日を考へるとき轉た感慨無量である。

◇

而し前記五傑表を詳細に見るとき、第一位の記錄に比し第二位以下の記錄が甚だしく低下して居ることである、これは何を語るか、或競技會では二位までの記錄をとり、又或競技會では一位のみの記錄をとつたゝめ、假令後者の二位が前者の一位よりも優秀なる記錄であつても、記錄なきため選外となつて居るものもありといへど、これは現在の滿洲陸上競技界が往昔のそれに比して甚だしく衰微せる事を如實に物語つて居るものではなからうか、卽ち滿洲陸上競技界の中心地ともいふべき大連運動場の本シーズンにおける練習狀態を見よ、往昔岡部平太氏叱咤の下に千軍萬馬の士が雲集して練習せる殷盛時代に比し如何にその人數の少かりしかを、而もその練習せる選手は武內、志水、權、光田、濱田、井上、大戰諸君と五傑表の第一位に位するの選手のみ、かゝる狀態にあるとき、何をか後援續くの記錄を求むべきや、新人多數出でよ、而して賊等を待つゴールに向つて殺到せよ!と絕叫したい

◇

同時に滿洲學生陸上競技界の飜然な、心から求むるものである、全滿高專大會開催の旅順運動場が公認競技場でなかつたがために、五傑詮衡外となつて前記五傑に加へられなかつたとはいへ、その記錄は甚だ見劣りするものである、各學校に競技部設置されて居るものゝ、これまた部員少數にて二、三名をのぞく他の選手は對抗競技前選び出されたる所謂一夜漬選手と評するも可なりといふべき貧弱さである、衰微せる現在の滿洲陸上競技界を救ふものは滿洲學生陸上競技界であるといつても過言でないほど學徒の雙肩には重大なる使命が荷なはされて居るのである、これまた惰眠を貪らず、奮起發憤を祈つて止まない。

◇

仄聞するに大連アスレチック倶樂部では、同倶樂部のメンバーをその勤務先或は住所別によつて區別して多數の小倶樂部を組織し、これ等倶樂部の對抗競技を度々擧行して斯道の獎勵と向上とを計らんとしつゝあると、この處置たるや甚だ當を得たることであつて、多人數の選手を養成すると同時に多數の小競技會、練習會を開催して斯道の向上を計ることが目下の急務であらう。

◇

大連驛員に感謝
一代表者

八相　五十行以內　投書歡迎

◇此の頃各地の軍隊更替期に當つて驛構頭の多忙は皆人の知るところであります、殊に驛に於いては朝早い時と夜遲くまでの軍隊輸送には驛員及び他の係員にも多大のお骨折りとお手數に掛かり我れ〳〵代表者並に一般市民の謝するところであります。

◇驛案內係の方には只單に見送り出迎への方々の整理のみでなく勇士にお茶のサービスから並に送迎人等に對しては玄關からホームまで氣持良く案內もして頂き非常に愉快に盛大に送迎する事が出來ます。

◇又凱旋兵、傷病兵、遺骨の着連の場合にも各出迎への場所まで指定して頂き何より好都合と存じます、われ〳〵代表者並に一般市民も常に此の樣な機會に御努力される驛員の方々には感謝して居ります。

稅の亂舞
奉天 H・M・N生

◇年の瀨が迫つて來るので各家庭では何れも郷里から小包郵便で特別必要なものを取寄せるが安東、大連の兩稅關ではその品物が何であらうとも殆ど稅金を課してゐる。

◇甚だしいのになると奉天署の警部が慰問につける…

家庭

年賀郵便はなるべく早く出せ
遲くも二十七日頃までに……
特別取扱の御注意

恒例の年賀郵便特別取扱は本年も來る二十日から二十九日まで實施されることになりました。この期間にちやんとまとめにして大きい封筒に入れるなり紐で十文字に結はへるなりして表に年賀郵便と明記してお出しになれば、昭和九年一月一日のスタンプを押して

「元旦」の最先便で先方へ配達されることになつてゐます。この特別取扱は第一種(封書と無封書狀)と第二種(官製及私製はがき)と第四種(年賀の名刺など)の郵便物に限られ、しかも料金完納のものだけといふことになつてゐて若し郵税が不足したり切手が貼つてなかつたりすると差出人に返送されますから、多數の年賀狀をお出しになるやうな場合には切手の貼り落しや不足がないやうによく氣をつけて頂きたいのです。

「特別」の取扱を受けることが出來ますが、遠い所ではいくら期間内に出したとて必ず元日の朝に配達されるといふわけには行きません。大連から出すとして南洋(マーシャル、カロリン)方面ですとどうしても二週間位はかゝりますし、臺灣、北海道方面は六七日は要しますし、内地でも東京以北や邊鄙な田舍などになると四日も五日もかゝりますから相當の餘裕を見て内地方面行でもなるべく二十五日頃まで、おそくも二十七日までには出して頂きたいものです。若しこの二十九日の期限をその日外してしまひますとあとはその日の

「消印」を押すことになり年賀郵便が變なものになりますし年があらたまつてから差出すとすれば遠い所など松の内もすぎてお正月氣分の失せたころに屆くことゝなり折角の賀狀も値打をおとしてしまひませう(大連中央郵便局通常郵便課長小西輝雄氏談)

樺太から南は臺灣からマーシャル、カロリン群島方面まで、およそ外國郵便でない所は何處でもこの

「毎年」よくあることですが、一見して年賀狀とわかるからと考へてかくゝりもしないでバラバラにして投函する方がありますが、これでは普通の郵便物と混同して折角の年賀郵便に十二月のスタンプが押され、轉てこ舞の師走氣分の中へ配達されたりしますから必ず一通でも二通でもくゝるか何かして年賀郵便と明記する必要があります。かうして頂きますと局の方でも直ぐ普通の郵便物と區別が出來て大變助かるわけです。私製はがきや封筒の表面には支那式の

「濃厚」な彩色を施したものも宛名を讀むのに苦勞で眼もひどく疲れますからなるべく避けて頂きたいものです。宛所や宛名は必ずはつきり書くこと、殊に受取人の所番地などはなるべく詳しく記して頂くと配達に手間どるやうなことがなくお互に好都合です。かういふ諸點に御注意の上なるべく期限の迫らぬうちに出して頂きたいのです。この年賀郵便は内地滿鮮方面は勿論、北は北海道、樺太

饑餓線上に 溫い人の情け!
―けふから歳末同情週間―

ボーナス、師走來の聲にサラリーマンの家庭も商店街もすつかり浮立つてゐるこのごろ、近づくお正月の樂しみも持たずこの寒空にあたゝかい煖爐はもちろん身を包む着物や日々のパンにさへ飢ゑてゐる氣の毒なわが同胞が大連市内だけでも千數百人もゐるのです。この不幸な邦人貧困者のためによしんば十錢、二十錢の小さな金額でも全市民が擧つて同情金を寄附したら相當なお金が集まり、これらの人等にせめてお正月だけでも幾分人間らしく祝はせたいといふので、既報の通り滿洲社會事業協會の主催でこれに大連市役所、滿鐵地方部、大連新聞社、泰東日報社、滿洲報社、關東報社、滿洲日報社、大連婦人團體聯合會、愛國婦人會大連支部、滿日婦人團が後援して本十四日から二十日まで歳末同情週間を擧行することになりました。この寄附金は一應方面委員中央事務所に集まり、歳末救助金として悲慘な境遇にある人達に分配されるのです。寄附金額には制限ありませんがこの期間内にお宅の近くにいらつしやる方面委員のお宅或は前記の主催若くは後援の各所へお屆け頂きたいのです。

村全體が 入獄を歎願

カルメンの國スペインはセヴイリヤの近くにオリヴアレスといふ村があります。不景氣風はこのロマンチツクな響きを持つスペインの平和な村にも訪れ、二百人ばかりしかない男といふ男は悉く失業してその日の糧にも事を缺くといふ有樣なので到頭セヴイリヤに出掛けて市長を訪問し

「私達を監獄へ入れて欲しい、その方がいくらかでも飯にありつける」

と歎願しました。しかし市長はこれを拒絶しました。その代り四十人分ばかりの救濟費を私財から投じましたが、それでもオリヴアレス村の人達が市長の許を去らないので終ひには警官が退去を命じたといふことです。

Xマスツリーとスマートな門松
相場は昨年と大差ない

「以」前は全く宗教的なお祝ひであつたクリスマスも、この頃では全く一般化されて商店やカフエーは勿論、基督教徒でない一般の家庭にも年々美しいクリスマスツリーを見るやうになりました。金や銀の星やモールや數々の玩具をさげて、可愛い豆ろうそくをつけて、枝々に綿の雪を積らせたあのきれいなクリスマスツリーは正式にすれば樅の木ですが、樅は滿洲にはあまりなく從つて高價なので松を代用する向も多いやうです。ツリーとしては幹が眞直で幹の中ほどから

「傘」のやうに枝が擴がりその枝や葉が平均に樹に從つて上の方に圓錐形に成長してゐるのが最も上等です。家庭用としては樅で四尺位(二圓五十錢前後)から一間位(五、六圓)のが一番多く迎へられ教會や大商店などで使ふのは大抵一丈以上(十圓前後)のものです。樅は大抵内地方面から來るのですが松は大連附近の山のものが多く値段もぐつと下つて一間位ので一圓五十錢から一丈以上のものでも四圓どまりです。

「ク」リスマス頃からポツポツ門松立てもはじまるでせう。そぎ竹に若松と梅をあしらひ注連をめぐらしたあのスマートな門松は七寸位の竹を三本つかつた中型で八圓、大邸宅向の九寸竹を五本使つた大型が十三圓他に小型で六圓と四圓のがありますが郊外の小住宅などこの位のでもよろしいでせう。會社、銀行などの門前に飾るに周一尺以上の大竹をつかつた特別型で三十圓、二十圓といふところで昨年と大差ありません。(高谷園藝商會調べ)

テンピの選び方
高い銅製より鐵製が家庭向

家庭で美味しい洋食やお菓子を作るには是非共テンピが必要です。テンピに色々の種類があるのは御承知のことですが熱の傳導の早いこと錆びないことでは銅製のものが優るのですが高價ですから使用後の手入さへ充分にすれば比較的長く使用出來る鐵板製のものが御家庭向きでせう

新にテンピを求める場合には必ず增熱板といつて穴の幾つも開いた鐵板に石綿を浴かして一面にかけた板の有無を確め有るものを選ばねばなりません、これは肉類や骨つきの鳥などを燒くとき大變早く燒くに役立つのです

それからテンピは中が見える樣に扉に硝子の嵌つてゐるのがよく更に中に入れる天板のなしの丸く打ち拔いたものがよいのです、角形の天板では目から汁が洩れますし又洗ひにも隅が充分洗へないのでせん、以上の點に注意されてテンピをお選びになると……來ます

耳の痛みから鼻汁が淡紅い

【問】十九歳の娘、二、三日前より右の耳が大變痛くてよく聞えなくなりました、今では痛みは大抵されましたがものを云ふと右の耳にガンガンひびいて大變不愉快です、人の話も大分きこえるやうになりました、しかし鼻まで惡くなつて鼻汁をかむとインキをうすめたやうな淡紅いのが出ます、どうしたのでせうか? ほうつておいてよいでせうか(沙河口惱む少女)

鼻の慢性疾患を早く治しなさい

【答】輕い中耳炎にかゝつて自然になほりかけてゐるのでせう鼻が惡いと中耳炎にかゝり易いのです、鼻から血が出たり鼻に異常があつたりするのでは何か慢性の鼻の疾患があるのでせう耳の方はそのまゝおいてよいかも知れませんが早く鼻の病氣をなほさないと又度々中耳炎を繰り返すでせう(森本耕之助)

肉と野菜の溫い料理
美味しい鍋物 (一)

寒さがきびしくなつて來ると身體中あたゝめますにはどうしても溫かいお料理を召上るのがよろしうございます、御家族が鍋をつゝき合ひますのは大變樂しいものですが今日の時に現れてゐます、今日のお料理は肉と野菜の味をよく出した美味しい汁を召上るので御家庭でも出來ますしお客樣に差上げても……

材料(三人前)牛肉三十匁、人參二個、玉葱二個、馬鈴薯二個、青豆大匙二三杯、粉一杯、鹽茶匙一杯半、胡椒少量、水コツプ三杯(以上スチユウ)、粉コツプ一杯、スクランブル二杯、卵一個、鹽茶匙半杯、の素少量、胡椒少量、水、乳大匙三杯程(以上團子)

作り方=先づお湯を沸かしまして野菜類の皮をむき切つて用意しておきます、親指大に切りまして脂肪めその後で玉葱の切つたのをいためておきます、肉を入れまして熱湯をコツプ……加へ、人參を入れ牛分煮た頃馬鈴薯と玉葱を入れてら分量の調味料で味をつけす、その間に粉とベーキングパウダー、鹽、味の素、胡椒をよく混ぜ合せて……

日本棋院秋季大手合戰譜

對局者のことば (制限時間各七時間)

百九十五を怠つて白にこゝをツヒツケられてはたまりません次に白二百十二が大きくなるからです、この點、百七十五と自らダメをツメた不當がはつきり分明らかでせう、併しこゝだけ打たなかつた理由は後にも一部あらはれてゐます

戰の跡

新棋戰

營口・遼河工程局 滿洲國に委讓
外國商工代表・決議案を提出 十二日の會議で可決

【營口】遼河工程局委讓問題は國際的關係を有するデリケートなる問題と國內的環視の的となつた內外關係を有する頗る難問題でこれも圓滑に解決を與ふるには

相當の手腕を要するはいふ迄もなく、この會議を開催するまで相當苦心を拂ひたるものゝ如く十二日午前十時より遼河工程局委讓會議も營口稅關樓上において開催された

出席者太田營口領事、ノールエー領事、外國商工代表バネス、日本商工代表朝比奈正金、馬監督滿洲國商工代表高遼河上游下流技師長、營口稅關長、外滿語通譯、稅關長秘書等十一名にして會議に入り先づ遼河工程局の財政狀態に就ても技師長の事業の現狀を報告し更に財政狀態を調査するに負債三百萬圓以上あり、現金七萬圓を有するばかりで其の他總て工事に注入し更に計畫通り

作業するには差當り一千九百二十九年迄の狀態に返る程度にても下流百萬圓上流百萬圓を消費せざるべからず、この費用根據たる附加稅が一ケ年二十萬圓乃至二十五萬圓の收入にては到底持ち切れず、然らば他に金融の途に付て研究したるも擔保なしには融通つかず唯この儘に捨置かば最初より注ぎ込みたる一千萬圓は水泡に歸す、而巳ならず營口港灣潰滅に近づく依つて更に適切なる方法を考慮する旨に松原稅關長はこの問題に就て其筋より依囑され居る旨を發表し、次いで營口貿易は數年此方減收により財政上の困難に逢着した併しこの儘打捨て置くときは營口港灣の潰滅を座して待つのみ、近來滿洲國は產業の開發特に水運港灣に非常に注意を拂ひ

特に國家事業として更に根本的方策を樹立し必要あらば資金を投じて事業繼續に熱心と誠實あらば敢て否かならず總會の上宣言して差支へなしとの意味を言明す

茲において外國商工代表は決議案を出した、政府が斯かる用意を以て居るなればこれを滿洲國に引渡す、この爲めに稅關長を必要なる手段に一任する、若し淸算人として稅關で爲すなれば希望を附す卽ち附加稅半減希望を取次がれたい尙提案として營口港の盛衰は稅關長が關心を持つて居るからこの事業の一員に稅關長を加へて貰ひたいとし、この案に日本商工代表贊成の意を

表し再決議全會一致通過した、而して缺席は英米獨佛でこれ等も外國商工代表の提議に異議なきものゝ如く結局滿洲國接收して國家一大事業のエキジステンスとなる譯である

初年兵出發

【鞍山】當地〇〇〇新部隊三廻部中佐以下〇〇〇名は市中分宿十日間初年兵の訓練もそこ〳〵にして十一日午後零時五十五分臨時列車にて〇〇駐劄地に向つて出發した、前の行德部隊出發當日同樣出發に當つて驛前廣場で鞍山〇隊を初め在鞍官民の送別挨拶が行はれ萬歲聲裡に一同乘車渡滿後最初の宿營地鞍山に別れを惜みつゝもホームを埋めて見送る盛んなる市民の萬歲に日の丸の小旗を打ち振りつゝ勇躍出動した

開原縣に童子團入團宣誓式
十二日教育局で擧行

【開原】開原縣教育局並に教育會では久しき以前より童子團組織に盡力してゐたが、いよ〳〵開原縣城內において師範中學校より一班二十四名、各小學校より二班四十八名、小孫家臺小學校より一班二十六名の入團者を得たのでこの四班九十六名を訓練し十二日午前十一時開原縣教育局前廣庭において左の順序により嚴肅なる入團式並びに宣誓式を擧行した、當日は常縣長遠井守備隊長代理秋山特務、縣參事官、江口領事館派出所主任、協和會開原主事、各局科長並に各學校職員、官紳數百名の參會者あり、潑剌たる健兒は朱團長、霍副團長指揮の下に監督人、證誓人の前に起立し熱誠ある宣誓を行つた

健兒着席、議員着席、團長着席、來賓着席、主席報告、揭揚國旗(一同唱國歌)、捧讀執政教書(團長)、健兒向本團長官及來賓に敬禮、縣長訓辭、宣誓、默想、監察人訓辭縣長、證察人訓辭總務科長、來賓祝辭、健兒答辭、國旗降納、彌榮三唱、閉會、紀念撮影

協和會昌圖縣に分會

【開原】新興滿洲國の王道宣布と民族協和の徹底の爲め眞摯力行せる滿洲國協和會開原辦事處は昌圖縣官民の熱意に依り十二月三日正午縣立中學校講堂において康縣長大河內上野兩指導官各局科長森領事館派出所主任及官紳並會員二百餘名參列し昌圖縣分會發會式を擧行し康縣長を分會長に佐藤參事官劉教育局長を常務員に指導官各局長並市中有力者を評議員に推薦し午後三時盛大裡に閉會した【寫眞は發會式後の記念撮影】

東邊道縱貫鐵道促成運動前進
期成委員會の常務委員決定し 安東・死物狂ひの對策

【安東】將に行詰らんとする安東の更生繁榮策として東邊道縱貫鐵道の促成を叫んで起つた安東全市民的運動機關である東邊道縱貫鐵道期成委員會は具體的運動に着手するため常務委員を詮衡中であつたが左の如く決定した

▲總務委員　大津峻、瀨之口勝太郎
▲顧問　岡本一策、關屋悌藏
▲涉外部委員　近藤松五郎、藤平泰一、伊藤勘三、金井佐次、川俣篤
▲計畫部委員　中島三代彥、飯野伯重郎、阿部卓爾
▲庶務部委員　原田市松、山縣寅吉、中川憲義、望月福太郎、史貫堂、金虎贊

なほ目的達成には相當の時日を要する見込みなので相當の運動資金を調達すべく目下その方法について研究中の模樣である

四平街地委協議會

【四平街】十一日午後一時より當地方事務所會議室に地方委員並に區長を招集、左記議題につき討議せり

一、新規來住者戶數割賦課査定の件
二、町名改正の件可決
三、新年互禮は宮中喪のため本年取離めの件可決
四、新駐在軍隊の歡迎會開催の件可決
五、地方委員聯合會臨時總會決議に依る報告
六、警察署長更迭に關する意見書に對し議長の說明

歲末同情週間
各婦人團體が主に 安東で同情袋募る

【安東】安東地方事務所社會係は十二日午後一時から會議室に各婦人團體代表者と警察署係官等の參集を求めて歲末同情週間の打合せ協議を行つたが年末救濟を要する氣の毒な人は內地人十家族、鮮人三十七家族百七十名に上るので各婦人團體が主となつて同情袋を一般家庭に配布し同情金の寄附を仰ぎこれによつて貧しき人々に年越しの金や品物を寄贈する筈である

石田侍從武官

【安東】石田侍從武官は二十一日午後三時十分着列車で來安、直に守備隊、衛戍病院において聖旨、令旨を傳達される筈である

一足お先に錦州に水產市場
丸玉組で設置を出願

【錦州】錦州市場會社は既に株の割當を濟まし順調にスタートを切つて着々進捗中であつたが滿鐵會社に割當た八百株が會社創立委員と滿鐵會社との間に得べき諒解が完全に徹底して居なかつた爲め曖昧模糊となりその間株主の中には會社の創立に疑惑を抱き

折角拂込んだ拂込金の拂戾を請求する向きなど出て今なほ實現せず生みの惱みを續けてゐるがこの矢先朝鮮の漁業家丸玉組ではお先きに失敬とばかり葫蘆島に水產市場を設置すべく當地領事館に願書を提出した、既に渤海を中心とした海流、水深、魚群の游動狀態・販路まで調査を濟まし朝鮮の漁業者達を糾合して發動機船なども續々集中しつゝあり、錦州大馬路に假事務所を設置し來春三月ころまでには實現さすべく目下準備を進めてゐるが、之れに對し領事館にも或る程度までの援助を惜まざる模樣である、當地魚業市場が緊散か更生か生死の

岐路に曝されてゐる時この朝鮮漁業家の進出は暗夜の警鐘として一大ショックを與へてゐる

右に關し後藤副領事は語る「當地市場會社が設立に關しまだ領事館に正式出願して來た譯でないから僕として何等容喙は出來ないが各方面の意向を斟酌するに現在の所謂創立委員なるものゝ顏振れを更へた方が組織に喘いでゐるよりは案外早く纏まりはしないかと思ふ朝鮮の丸玉組から葫蘆島に水產市場を設けたいからと出願して來たのは事實だ、僕は今のところ許可する心算でゐるが、それにしても當地市場會社が纏まるものなら早く纏めて然る後許可してやりたいと思つてゐる、だから創立委員長とも會つて

更生の途を開かしめ設立促進方を注意したいと思つてゐるが若し出來なければ一方も急いでゐる事だからこの際錦州市場會社が設立された曉にはこれと合併するといふ條件を附して許可する心算である」

溫い太陽の情け
安全農村の人々へ 營口婦人團の同情

【營口】營口安全農村に收容された鮮農達の大部分は匪賊の災害に遭ひ着のみ着のまゝにて避難せし人々を收容されたので農村と雖も本年は植付けをするまでに到らず漸く土工の手傳して賃金を得て口を糊して來たが衣類の蓄へがないのでこの寒空に單衣一枚でふるへてゐる氣の毒な人が澤山あるので營口婦人團聯合會は十一日午後一時より滿鐵社員俱樂部に會合して役員會を開き、これ等の人々の境遇に同情して差迫つた年末に擔らず篤志家から古着の一枚づゝでも貰つて施與することに決定し來る十四、十五日の兩日各家庭を訪問して事情を告げ寄贈を仰ぎ之れを氣の毒な人達に贈ることにした

營口署の年末警戒

【營口】營口警察署にては十一日より三十一日まで不眠不休を以て年末警戒を行ふ事となつた、警戒に遊動班、潛伏警戒班と分ち尙刑事係、高等係は協力し臨時別動隊として密行警邏に當る筈而して銀行郵便局、驛其他金錢を多く扱ふ箇所には特に聯絡をとり警戒を嚴重にすることゝなり河面は一層取締を嚴になし河北より潛入を防ぎて探照により發見に努むべしとした

"不可能"は抹殺だ鼻高々の鞍山
製鋼所設置・公費收入激增し 施設はお望み次第

【鞍山】當地の公費は昭和製鋼所の設置以來同所に對する賦課額二萬圓其他戶口增加による自然增收約一萬圓、合計本年度において約三萬圓の公費收入增を見ることゝなりこゝもと地方事務所もホクホクの體である、而して製鋼所の分二萬圓は既に道路舖裝其他に支出してしまつたが、殘る約一萬圓は明春早々開校の豫定である大宮小學校の備品購入に充當することゝし目下考案中である、かくて從來公費收入七萬圓が一躍十萬圓となりこれで世帶元も餘程緩和され種々の社會施設も漸次實現し得ることゝなつた

原料大豆の運賃減率
安東油業公會から請願

【安東】安東油業公會は滿鐵本社に對し原料大豆の安奉線運賃を本線同樣に減率改正方を請願したがその理由は

安東における豆粕原料大豆の需要は每年五萬噸以上であるが滿海線の開通以來奉天省內產大豆の大部分は他地に供給され昨年度の如きは安東に移入されたもの僅かに二萬七千九百噸に過ぎず殊に冬季結氷中は着荷皆無で十分のストックなき時は油房の生死問題となる、今後安東、沙河鎭兩驛で每年二十萬噸を必要とするを以て最小範圍にても本溪湖以北、撫順線各驛よりの到着大豆の一車扱ひに對して本線同樣の率で針を採用し換算の上施行され度い

といふに在る、なほ本年は北滿大豆豐作で安東の豆粕の單價も下落し一枚の平均値一圓二十四、五錢で近年破安に押され勝ちの對鮮輸出が最近頗る有利となつたがこれは一時的の原料安の場合における現象であつて平常は運賃關係上大連に對抗出來ないので斯く安東日滿油房業者が共同して安奉線の運賃引下げを要望するに至つたものである

鐵道小荷物增加
稅關嚴重の關係からか 奉天驛扱所を擴大

【奉天】事變後奉天驛の貨物、小荷物の取扱數が著るしく增加し、本年四月頃からは今まで比較的ルーズであつた郵便小包に對する滿洲國の稅關が嚴重となつた關係から鐵道扱ひの小荷物數が特に增加したる爲に現在の小荷物扱所では手狹であり、又受付と引渡所が分れてゐる不便もあるので取扱所を右側の一箇所とし場所も擴大して三等待合室を左側にし現在よりも狹くするべく具體的決定を見、愈々來る一月六日より着工することゝなつた、又三等待合室は現在の棟にては暗く待合室には不適當であり、又不潔な感じもするから明年一杯位にて三等待合室は本屋の方に移轉しては附屬增築をなし現在の棟は全部荷物取扱所とせんとする意向であるといふ

日語熱熾烈

【開原】開原西豐昌圖共に青少年の間に日本語習得の希望熾烈なるに鑑み協和會開原辦事處は十一月一日開原に十二月十日西豐に協和會語學院を開設したが入學者多數にして開學後は何れも熱心に通學し西豐の如きは公務員に對する教授をも開始する筈である、なほ昌圖縣にも近く同語學院を開設すべく準備中であると

吉林小學校學藝大會

【吉林】吉林日本小學校の增築落成記念學藝大會は兒童や父兄達の待望久しきものであつたが愈々八日九日の兩日に亙つて盛大に催された兩日共午後五時半から一般人の觀覽を希望したが何れも押すな〳〵の大入滿員で愛し我が子の妙技にすべてを忘れて見入る父兄達の兩手には熱い汗さへ擄られて童心をときめかす音樂學藝大會はこれの講堂に歡樂の如き豪華版を呈した

繁忙の郵便局臨時雇を募集

【奉天】歲末年始非常な繁忙を極める郵便局では事務の敏活と完璧を期するため臨時事務員を一般から十五、六名と中等學校、公學堂春日小學校の生徒三十名を各學校の手を經て募集し、このほか通信夫を二十五、六名募集中でこれも略決定を見、生徒は本月二十六日より一月五日まで、一般の者は本月二十日から七日までそれ〴〵の仕事にかゝることゝなつてゐる

釣錢詐欺漢の裏に女

【奉天】既報每日の如く市內のカフエー飲食店等を利用して釣錢を詐取してゐた稀代の詐欺漢、長崎市生れ奉天稻葉町十四番地住竹林貞二(三〇)に關しては奉天署に於て嚴重取調中であるが、彼が十間房朝鮮料理店に初めて足を入れたのが萬成館で同館の酌婦京子(一九)の一身上に同情してスッカリ共鳴し末は夫婦と約束までしたが竹林は無一文であるため落籍も出來ず金が出來るまでは共に働かうと決心し竹林はハルビンへ向ふことゝなつた、そこで京子は竹林の旅費のためにと自分の金指環、銘仙の丹前の外現金三十圓を與へて分れたもので二人はからだこそ別れるが心はどんなことがあつても別れるやうなことはしないと堅い契をかはしてゐた仲であると

日支茶の進出競爭

【奉天】浙江、江蘇、福建各省より產出する支那茶の滿洲輸入は營口を通じ治安の回復と共に活況を呈しつゝあり、本年は例年より多く現に五萬箱に上つてゐるが營口過爐銀の整理により四兩、國幣一元といふ公定換算率の制定により支那茶輸入高は非常な損害を蒙つてゐる、この隙に乘じ三井、三菱の日本茶が目覺しく進出し滿洲市場を目差し日支茶貿易は今後ます〳〵熾烈とならう

吉林教導隊長期討匪

【吉林】吉林全省に亘り大討匪行に廣瀨部隊の麾下に合流し全軍の士氣益々旺盛に各所に於て赫々の武勳を樹てたる吉林第二教導隊石黑教官長以下〇〇名は今回引續いて各所に殘存する匪賊の再擧を防止し徹底的根據破壞を計畫實施する事となり冬期より明春解氷期迄永續長期間討匪工作を開始した

ボーナスでうなる鞍山

【鞍山】ボーナスの走りは地方事務所だ同所では十一日夕雇員傭員日滿人各五十名に對し夫々ボーナスを交附した總額四千三百圓一人當り四十三圓といふところだが勿論日本人はそれより大分率がいゝわけ社員は少し遲れて十五、六日頃にでもなるだらう、昭和製鋼所もその頃には一齊に支給さるべく滿鐵並といふから例年通りのボーナス景氣が出るわけだ、商店側では早くも十一日から加盟店四十九軒一齊に店頭を飾り立てゝ歲末大賣出しを開始し顧客を呼んでゐる

各地片々

◇鞍山　鞍山署では十一日巡査部長筆記試驗を施行したが受驗者十一名であつた

◇鞍山　當市の衛生掃除は年額二千四百圓で張萬祥氏が引受けこれに當つてゐるが、昨今は苦力賃が日當五十錢で今春の落札當時よりは十五、六錢方の上昂を見てゐるためこれでは到底年末まで請負へぬといふので請負者張はこの程地方事務所に增額方を歎願した

◇鞍山　鐵嶺會では二十一日社員會において第二回例會を兼ね忘年宴會を開催、郡郵、巴、千手、花儀、山姥を謠ひ仕舞熊野等がある

◇鞍山　附屬地內の天然痘はその後發患者もなく小康を保つてゐるが、今度は管外大孤山部落に蔓延患者十六名中既に六名死亡といふ猖獗振りで村長其他目下鞍山署へ援助を求めてゐるが何しろ同地は昭和製鋼所の大孤山採鑛所々在地とて油斷ならず同所では十一日日滿全從業員に對し種痘を施し防疫につとめた

◇營口　營口地方事務所勤務社會主事岩淵藤一郎氏は社命により鐵嶺地方事務所社會主事に轉任することになつた氏は社會主事として相當事績を擧げ一般の氣受け良く今回の轉任を非常に惜しまれてゐる

◇營口　營口滿鐵醫院內科醫長青木外嗣氏は今回四平街醫院醫長に轉任することとなつた

◇錦州　錦縣電氣股份有限公司では財政確立の前提として全社員の總動員を行ひ十三日から市中各戶を歷訪せしめ家屋內に裝置せる內線模樣につき詳密調査を行ひ一面盜電を防止する事になつた

滿人側から種々の希望が聞きたい
鐵路總局の貨物運送につき滿人との協力を切望

【奉天】鐵路總局貨物科では鐵道營業の最大の意義を持つ貨物運送については鋭意完全を期して居るが其の規定も既に成案を得監督官廳へ回附して居り來年四月一日より實施の運びに至る豫定である、然し鐵道機能のよりよき發展のために從來の滿鐵線と事情を幾分異にする國線にあつては其の經營上及沿線開發上滿洲人の多大の協力を必要とする事に鑑み滿人との間に於ける貨物運送に關する特約の大いに結ばれる事を豫想して居る、それについてはどしく滿人側より總局に對する種々な希望申出あるべしと期待して居るにかゝはらず今に至るも何等希望建議もなく總局としては却て意外として居る

これについて總局側觀測としては特に沿線開發上滿人の力によらねば出來ない事も多々ある事と思ふのであるがそれについて特殊な事業會社を起すとか貨物運送の特約を持つとかその他今迄採算のされないものを採算のされる樣に特約するとか開發上總局の魔力を要する樣なものについてはどしく建議してほしいものだ、かうしたものについていろく希望計畫などあるのだらうがそれを出せばすぐ日本人に獨占される樣な事になるのではないかといふ危惧を持つて默つて居るのではなからうか、滿人より總局に對する希望を大いに聞きたいものだ

といふのである、蓋し國線の發展には滿人の絶大な協力を期待されて居る

拾つた通帳で温い愛の巣
流轉女給の淡い夢

【奉天】カフエーの女給として流轉の旅をつゞけてゐた住所不定杉本みき子（二三）が拾つた消費組合の通帳によつて青葉町消費組合から鏡臺等を購入せんとして露見、奉天署に留置され嚴重取調べを受けてゐたが、取調べの進むに從つて彼女は恐るべき犯罪を行つてゐることが判明した

彼女が市内某カフエーで女給として働いてゐるうち青木茂といふ青年が訪れ色々話しをしてゐるうちに彼女は身の上の事を一切物語りその時姙娠してゐることも話したので青木もこれを聞いて大いに同情しそれでは自分は現在ルンペンしてゐるが職を見つけて養つてあげるからといひ出したので頼る處もない彼女はスッカリ青木に信頼し市内彌生町の安達某方に間借りしてゐた

その時には彼女は滿鐵の安達の名前入り消費組合の通帳を拾得してゐたがこの通帳の名前通りの別の安達の家に間借りしたのも彼等の計畫的と云はれ間借りした彼女はその通帳を以て立派な座蒲團、トランク、鏡臺等世帶道具數十點價格五百圓を買ひ出し安達方では人の羨む愛の巣を營んでゐたもので通帳一册を全部使用し更に第二回目の通帳を求めてゐたといふ圖々しさには何れも呆れてゐる、倘みさ子は目下姙娠八ケ月である

材木を喰ふ

【新京】新京城内西四馬路居住大工職曾根崎末吉（四〇）は附屬地祝町東亞土木合資會社の下請として吉敦線黄松甸驛ほか二ケ所の驛ホーム新設工事中吉林で材木購入の際知合となつた吉林東門外材木商北海公司佐々木榮吉と共謀價格二千百圓の材木を三千百圓の價格に誤魔化しその差額一千圓を右兩名で分配詐取したこと判明、新京署では曾根崎の所在につき搜査中のところ五日吉林より歸來したのを岩田、成松兩刑事に逮捕され取調べの結果犯罪全部を自白したので十日一件書類と共に身柄を總領事館に送つた

棉花指導員講習開始

【奉天】滿洲棉花協會では將來各縣に派遣すべく棉花指導員高農卒業者日滿人十五名を採用したが十二月より來春三月まで實業廳内において滿洲語の外滿洲一般事情農業事情一般棉花紡織に關し講習をすることになつた

いつもながら不良品の山
奉天の飲食物臨檢

【奉天】奉天署衞生係では年末に際し管内飲食物製造販賣店の不良品を一掃するため去る九、十の兩日飲食物製造販賣店の一齊臨檢を行つたがその結果意外にも不良品多數を發見沒收した

即ち臨檢戸數五百十八戸、そのうち不良品所持者百二十四戸、不良品總數八百六十九個、衞生試驗所分析試驗に附したるもの（硫酸銅含有の疑ひで）十個、始末書處分にされたもの四戸、返還八十五個でそのうち日本人商店が四分の三を占めてゐるのには驚かされる

不良品の主なるものはビール、罐詰、コーヒーメドック、洋酒（ウイスキー、ペパーミント）正宗等で甚だしいのは不良品にレッテルだけ新しいものを貼りかへ新品の如く見せかけてゐたものがあつた奉天署では今後臨時臨檢を行ひ不良品所持者は取締規則により嚴重處分する方針である

巧妙を極める密輸

【瓦房店】國境の密輸團は嚴重なる取締官憲の眼を巧に晦まし手を替へ品を替へ方法に腐心してゐるが、最近の新戰術は夜になるのを待つて普蘭店驛貨物列車停車中驛の西側から停車中の無蓋貨車に密輸品を投げ込み己れも無蓋車に乘つて北行、拉子山附近の上り急勾配で速度の遲い處で豫て示し合した懷中電氣を照らして合圖するさ密輸品を投げ降ろす、是れを聞き込んだ國境警察隊では宇野隊長甦生副隊長黒田警佐自ら出馬し拉子

家族を搜出して徵發費用を支拂
皇軍を信頼する住民

【錦州】熱河聖戰に際し錦縣公署では現在承徳の第〇〇團に對し運搬用荷馬車四百五十六臺を斡旋したがこの費用二十五萬三千圓の中十七萬二千七百餘圓は當時支拂ひを受けしも逃走、死亡その他の事故により殘額八萬百十一圓は未拂のまゝ昨今まで殘つてゐた、そこで鶸縣長、上杉參事官は過般承徳に赴き軍部と折衝の結果殘額八萬百十一圓も全部受領したので早速家族の者を呼び出し十三日まで全額の支拂を終つた、他縣では當時軍部と出動の馬夫直接の取引とした爲め其の都度戰地現場に於いて馬夫は滯りなく支拂ひを受けしもその支拂金を雇主に支拂はず或ひは荷車の持主等に分與せず獨り猫婆をキメ込んで逃走した者などあつた結果軍部よりは完全な支拂ひを受けて居ながら馬夫の雇主や馬車の持主或ひは馬の持主などに少しも潤はず家族は路頭に迷ふなど隨分錯誤を來してゐるが獨り錦縣のみは縣公署に於て支拂金の一部は馬夫、一部は雇主、持主又は家族と云ふ風に悉く公署の手を通じて支拂つた爲め落ちなく全部に行き渡り日本軍隊に對する信頼の意を深め王道工作に絶大の感謝を捧げてゐると

鞍山乘馬會て守備隊馬保管

【鞍山】鞍山乘馬會では今度守備隊の馬匹九頭を保管することゝなつたので南滿機械製氷會社工場裏に假厩舍を設け乘馬同好者の乘用に供することゝしたが會員は月額一圓會員外三圓の會費を要する

旅順放送

▲旅順民政署では來る二十一日より二日間警察署講堂で管内會長會議を開催する事となつた、協議事項は一應取事項として
（イ）會内現況に鑑み施設を要すると認むる事あらばこれが具體的方策
（ロ）既設の事業にして廢止縮小又は改善を要する事項あらばこれが具體的方策
（ハ）現在の施設にして民度に適せずと認むる事項
の他諸問事項として專任會計員の設置、天足會に對する會名改稱名に關する事が議案とされてゐる
▲衞戍病院入院中の傷病兵十名は十三日午後二時二十分發列車で内地へ歸還
▲伏見町六山本良雄氏方では三日二女信子孃が出生
▲陸軍省より派遣の軍隊慰問一龍齋貞丈、蝶花樓馬樂の二君は到る處舌一枚で將士を歡ばし十二日來旅滿日支社を訪問の後各戰跡を見學した上五時から衞戍病院で傷病兵一同に對し慰問講演を行つた
▲又在滿第十五驛遞隊では二十日出雲町戰利品陳列館附近において發火演習を行ふ
▲千歳町二三後藤有一氏方では三日長女倫子孃が出生
▲大迫町一八ノ三淵江龜平氏方では三十日三男順三郎君同上
▲乃木町二ノ二九太田穰氏方では二十七日長女瓊子さんが同上

遼陽片々

▼警務局石井監察官は十三日午前九時着列車で寺尾警部帶同來遼した
▼時局委員會から公務の爲め負傷入院中の孫巡捕に金三十圓を見舞として贈與した
▼遼陽縣治安維持委員會は十三日午前十時から驛樓上で開催された
▼警察署員に對するボーナスは十一日牧田署長から辭令交付十二日現金を交付したが總金額二萬五千餘圓と云ふ事である
▼大連商工會議所に於て十五日商工會議所令施行に關し全滿商議聯合會が開催されるので遼陽實業會では本問題に付猿渡副會長が關東廳訪問の豫定を繰上げ當日同事務協議會にも列席すと

歳末らしい怪事件
銀行から銀行への間に金百圓也が紛失

【奉天】正隆銀行から引出した三千圓の金を滿洲銀行に預金する迄に百圓紛失し銀行と預金者とが責任のなすり合ひと云ふ奇怪な事件が市内富士町六番地渡速自動車商會主の妻花滿しづ子さんが十一日午前十一時頃取引先銀行である正隆銀行に赴き預金から現金四千圓を受取りその中三千圓を滿洲銀行に預金のため預金係に三千圓の束を渡し自分は忙しいから一寸歸つて來ると言つたまゝ出て行つた、そこで預金係ではその三千圓を點定して見ると百圓不足すると言ふ事で電話を受けたしづ子さんは早速滿洲銀行に行つて點定して見ると矢張り百圓不足してゐる、しづ子さんは正隆銀行を出る時四千圓の束を點定もしないで持ち行きそのまゝ三千圓だけ滿銀に預けたのであるが正隆銀行側では全額渡したと云ひ滿銀では二千九百圓しか受取らぬといふのでこゝに責任のなすり合ひのゴタゴタとなつた、結果としてどこで百圓紛失したか奇怪な事件として色々取沙汰されて居る

小使の惡事
大金を誤魔化す

【奉天】ヤマトホテル内理髮業者笹野太一氏方では金票二百六圓、大洋百二十七元を何ものにか竊取されたとの屆出でにより奉天署から係官が現場に赴き取調べた處、窓硝子が破壞され犯人は外部より侵入したやうに裝うてあつたが内部のものと睨み同店の小使西塔居住陳貴臣（二七）につき取調べの結果彼の仕業であることが判明した、即ち陳は十二日朝六時頃理髮店に來たが錠が卸されてしまつてあるので笹野氏の住宅まで鍵をとりに行き引返して同店をあけ金庫にあつた前記三百餘圓の現金を盜み出しこれを天井の裡と廊下のビール罐の中に隱匿してゐたもので彼は同店のボーイ李慶豐（二九）も現金を持ち去つた事を自白してゐたが係官の詰問に包みきれず陳一人の所爲と判り引續き取調中である

ガソリンを詐取
元雇はれ先の名を用ひ
これも歳末らしい風景

【奉天】去る九日自分は滿洲國通信社の運轉手であるが、ガソリン四罐を後拂で願ひたいと註文したものあり此の註文を受けた大隆公司ではその本人を知つてゐるので彼の言を信じ四罐を渡した處十一日となつて又同日午後五時頃ガソリン六罐を千代田タクシーまで屆けて貰ひたいと電話で註文して來たので同公司でも前回の代金がそのまゝとなつてゐるため早速その本人と共に滿洲國通信社に赴き代金の支拂方を賴んだ

しかる處彼は以前新京滿洲國通信社の運轉手として働いてゐたことはあるが、現在は解雇されて何等同社と關係のないことが判り化の皮がはがれ奉天署に突き出された彼は勝木正雄事朴勝嘉

三人組竊盜團

【奉天】十一日午後十一時頃警宮近刑事が北市場を巡行中不審の三人連れの滿人あるを發し直に引致取調べの結果右は（二〇）と稱する鮮人で新京で他に雇はれてゐる際寫眞機その他を賣り飛ばしその金で遊び入し藝妓と奉天まで驅落ちした程のしたゝかものである

省生れ住所不定高學文（二一）李長林（二九）の三名にて満鐵附屬地の邦人宅を荒してゐた竊盜團なる事判明して取調べ中である

妻子を殘して藝妓と驅落

【奉天】工業區一馬路日本旅館の出館事石井作太郎方同居の鹿兒島縣生れ瀧井キク（二〇）と共に同居中の大阪生れ洋酒商木村寅之助（三五）は新京方面に逃走したが木村には妻子がありキクを誘拐の目的で伴れ出したものと領警に搜査を願出

大連汽船出帆

●青島上海行 午前十一時 大連丸 十二月十六日 / 青島丸 十二月十九日 / 奉天丸 十二月廿三日
●天津行(天津瀕航) 長平丸 十二月十二日 / 天津丸 十二月十六日 / 長平丸 十二月廿二日
●龍口行 龍平丸 十二月十四日
●長崎・基隆・高雄行(船客搭載) 山東丸 十二月十八日後四時
●敦賀・伏木・新潟行(船客搭載) 山西丸 十二月廿六日後四時
●芝罘・淸津・雄基行(船客搭載) 河北丸 十二月七日後五時
●大連・門司・阪神行 遼河丸 十二月十五日 / 煙臺丸 十二月十八日

大連汽船株式會社 電話代表番號七一三一番
裏關荷客取扱店(大連敷島町) 永和公司 電話七二七五・七八六八
阪神航路扱店(大連須磨町) 澤山兄弟商會 電話四五二六五・四六八一
臺灣航路荷客取扱店(大連敷島町) 丸二商會 電話五八八八・四二六四
乘船切符發賣所(大連伊勢町) ジャパンツーリストビューロー 大連案内所電話五五五五四番

日本郵船出帆

●歐洲行 たあばん丸 一月八日李浦行 / 但馬丸 十二月廿五日漢堡行
●鹿兒島・横濱行 摩耶丸 十二月十二日 午後四時

近海郵船大連出帆

●横濱行 支武丸 十二月十五日 / 宮浦丸 十二月十九日 / 勝浦丸 十二月廿三日
●天津行 宮浦丸 十二月十六日 / 竹島丸 十二月十九日
●基隆高雄行 岐阜丸 十二月十九日 / 岩手丸 一月三日

朝鮮郵船大連出帆

●青島仁川行 會寧丸 十二月廿四日
●仁川、博多、長崎、鹿兒島、三角行 京畿丸 十二月廿一日
朝鮮鐵道各主要驛及本會社寄港地は貨物受證發行滿鐵との連絡貨物取扱致候
右汽船出帆日時は天候其他の關係により變更することも有之候
水路圖誌海圖販賣所 キューナード汽船會社 船客業務代理店
近海郵船株式會社大連代理店
朝鮮郵船株式會社大連代理店
日本郵船株式會社大連出張所 大連市山縣通電話(三七三九番・七八四六番・六七一二番)
大連市監部通吾妻橋 專屬客荷取扱所 丸二商會 電話四二六四・五八八八
乘船切符發賣所 ジャパンツーリストビューロー 大連市伊勢町案内所 電五五五四・四七一三

阿波共同汽船

●芝罘、威海衛、青島行 第十六共同丸 十二月十八日午後七時 / 第廿六共同丸 月 日午後七時
●芝罘、威海衛、仁川行 第卅六共同丸 十二月廿日午後七時
●芝罘行 第十八共同丸 十二月十五日午後七時
●仁川鎭南浦行 長山丸 十二月廿三日午前九時
●天津行 長山丸 十二月七日午前十時
滿鐵とは貨物連絡取扱致候
大連市山縣通二〇〇番地 阿波國共同汽船會社大連支店 電目六八九一・五〇〇一番
切符發賣所(大連市伊勢町) ジャパンツーリスト・ビューロー 電五五五四・四七一三番

島谷汽船大連出帆

●朝鮮、北陸、北海道行 日本海丸 十二月廿一日 / 天海丸 一月二日 / 朝海丸 一月十五日
寄港地 鎭南浦、仁川、群山、木浦、釜山、浦項、境、宮津、舞鶴、新舞鶴、敦賀、伏木、函館、小樽
國際運輸と貨物の連絡輸送取扱致候
島谷汽船株式會社大連出張所 大連市山縣通一五三
代理店 大三商會 電話四七一一・三四八二
乘船切符發賣所 ジャパンツーリスト・ビューロー 伊勢町案内所 電五五五四・四七一三

大阪商船出帆

門司、神戸(大阪)行 午前十時出帆
亞米利加丸 十二月十四日 / うらる丸 十二月十五日 / はるびん丸 十二月十七日 / たこま丸 十二月十八日 / 香港丸 十二月十九日 / ばいかる丸 十二月廿一日 / うすりい丸 十二月廿三日 / あさま丸 十二月廿四日
上海、福州行 福建丸 十二月廿九日 / 基隆高雄行 盛京丸 一月二日 / 後三時出帆 長沙丸 一月十八日

日清汽船大連出帆

●青島上海行 芦山丸 十二月 日 / 廬山丸 十二月十六日 / 華山丸 十二月廿六日
●青島香港廣東行 嵩山丸 十二月 日
代理店 大阪商船株式會社大連支店 電話四一三七番
●專屬荷役所(大連山縣通) 國際運輸株式會社 電話三一五一番

松浦汽船大連出帆

●芝罘行 福壽丸 十二月十四日 時
●西口行 泰康丸 十二月十四日 時
●芝罘、威海衛、仁川行 利通號 十二月十七日 後六時
廣島縣愛媛縣岡山縣 命令定期大連瀨戸内海線
●門司廣島尾道宇野今治行 照國丸 十二月十五日 午後四時
門司着 十二月十八日前六時 / 廣島着 十二月十九日前六時 / 今治尾道着 十二月廿日後三時 / 宇野着 十二月廿日後四時
廣島より今治、高濱方面へ接續いたします
廣島愛媛岡山 三縣人に限り三割引致します
滿鐵とは貨物連絡致します
大連市加賀町三〇 松浦汽船株式會社 電話六一一七・六二一八番

川崎汽船大連出帆

船客及貨物
各船(重量噸數五、〇五〇 速力十二節半)
運賃 横濱行 上等三十圓 並等十七圓
清水、横濱行
●高雄丸 大連着 十二月十四日 / 大連發 十二月廿一日 / 清水着 十二月廿六日 / 横濱着 十二月廿七日
●吳淞丸 大連着 十二月廿四日 / 同發 十二月卅一日
●神戸、名古屋、横濱、羅府、紐育行 ほるどう丸 大連着 一月四日 / 同發 一月六日
詳細は左記へ御照會被下度候
川崎汽船大連代理店 大連市山縣通一九九
山下汽船株式會社大連支店 電話代六一一番表八四

大阪商船

●天津行 江龍丸 十二月十四日 / 日東丸 十二月廿三日 / 志摩丸 一月七日
★印客御斷り
●横濱行 志摩丸 十二月十八日 / 日東丸 十二月廿三日 / 江龍丸 一月四日
●紐育行(神戸、四日市、横濱經由船客設備なし) 關西丸 十二月廿六日
大阪商船株式會社大連支店 電話四一三七番
奉天出張所(電四〇八七) 新京出張所(電二二一六)
御乘船切符發賣所 ツーリスト・ビューロー 大連伊勢町
大連案内所(電五五五四・四七一三) 同沙河口代理店(電九五〇六) 營口案内所(電八八〇) 撫順案内所(電二五四〇) 奉天案内所(電三九一四) 新京案内所(電三三九) 哈爾濱案内所(電四七八八) 吉林案内所(電) 安東案内所(電一〇〇六)

御乘船切符取次所 滿洲旅館協會
專屬荷扱所 大連市紀伊町(電三六八二番)
大連市山縣通 國際運輸株式會社

吾妻橋荷扱所 電話三一五一番 / 電話四八〇二番
當社左記の場所にて荷物發送引受地各港と連絡引換證發行致します
奉天・營口・公主嶺・鐵嶺・開原・四平街・新京・吉林・哈爾濱其他

耳鼻咽喉科 澤田醫院

大連市西廣場三河町角
電話五四一〇番

山形洋行

並に開宮式共他手提金庫雙富
大連浪速町電三〇一五・八六八八

BLUTOSE BLUTOSE BLUTOSE

各帝國大學病院指定常備藥

補血強壯新藥 ブルトーゼ

酵素の種類には數百種もあつて一つの酵素で種々の反應を皆促進するものと考へる事は出來ぬ　萬一かゝる事があれば生活機能を營む上に困る　即ち一つの酵素での反應をも促進すると合成も分解も同時に行はれて目的を達し得ない譯である　現在では酵素の組成は判明してゐない純粹に取り出そうとしても酵素の作用を全然失ふから之が酵素であるか　どうかは判らない　要するに化學的構造は全く不明のものである

ブルトーゼは蛋白の酵素化第二階梯に屬するプロテオーゼの生成物プロタルビンの有機鐵化合物で人體肝臟重要成分と同一形態の消化蛋白榮養素である　故に新鮮なる血液の供給と體内諸組織の發育促進は勿論　細胞の新生とホルモンの原料の供給　免疫體の補充等頗る重要なる役目を演ずる補血强壯劑で發賣以來十有餘年　滋養强壯劑の氾濫せる現在に於ても尚且つ儼然として治療界に貢獻しつゝある功績は其治療的効果を如實に立證するものであると信ずる

		小	大
補血强壯 滋養增進劑	單味ブルトーゼ	二・〇〇	三・二〇
結核 虛弱 慢性病	アルゼンブルトーゼ	二・三〇	三・七〇
腺病質 神經衰弱 補血强壯劑	ヨードノルトーゼ	二・三〇	三・七〇
健胃 補血 强壯劑	キナブルトーゼ	二・三〇	三・七〇
呼吸器系 疾患特効劑	コアグヤールブルトーゼ	二・六〇	四・三〇

活動の源泉(小册子)申込次第無代進呈

B—151

株式會社 藤澤友吉商店 大阪道修町

チタニウムを主劑に特殊の成分を配合せる

サーワ白粉

冬!　氣品と魅力のお化粧!
サーワ美が一段と冴える頃です

特長

A　絕對に無鉛無害で、何處の溫泉へ行つても平氣で用へます。
B　美粧效果は實に三倍、極少量で素晴しく魅力的な化粧上り。
C　濃淡のお化粧が自由に出來て、共に水刷毛がよく效きます。
D　白粉を付けて居ることを忘れる程にスマートな明朗美です。
E　汗にも崩れず粉が浮かず、襟を汚さず、お化粧保ちは無類。
F　白粉焦せず目焦を防ぎ、また寫眞うつりが極めて鮮かです。
G　若し內容が乾いた時は淸水で溶けば直ぐに新しくなります。

皆様の贈物にはゼヒ サーワ白粉を

サーワ白粉と化粧品

品名	價格
固煉(白・肌色)	各(三十五錢・六十錢)
煉(白・肌色)	各三十五錢
固形(白・肌色)	各十錢
水(白・肌・濃肌・新肌色)	各(三十錢・五十錢)
粉(白・肌・濃肌・新肌色)	各(二十錢・四十錢)
クリーム白粉	五十錢
化粧水	四十錢
白粉下	三十錢
ヴアニシング・クリーム	(三十錢・五十錢)
コールド・クリーム	(三十五錢・七十錢)
頬紅	三十五錢
口紅(差入と携帶用)	各三十五錢
眉墨	三十五錢
打粉(仮出し用中皿付)	三十錢

(內地以外に關税運賃を加ふ)

固煉色味二種、水と粉白粉色味各四種、ほか他にヴアニシング・クリームとクリーム白粉、以上十二種何れも携帶用小型入一揃ひ、郵券五十錢封入の上新聞名を記して御申越次第早速郵送。

東京・兩國(日本橋區米澤町)
◎ミツワ石鹼本舖 丸見屋商店

虐げられ悩める人へ 乞ふ!人の情を
激増したカード階級のため けふから……歳末同情週間

歳末同情週間 寒い年末 温い同情 12月14日→20日

今十四日より二十日までいよ〳〵「聖なる歳末同情週間」が始まる——近年大連市內の飢餓線上を彷徨ふ邦人は增加する一方で今や約三百戶、千數百名のカード階級を抱へてゐるが、これら氣の毒な人々がドン底生活に落ちこんだのは決して本人が不眞面目であつたり意氣地が足りなかつたりしたゝめではない、或は死物狂ひに探せど職にありつけず、たま〳〵職場を見出しても與へられるもの薄くて働けど働けど貧乏に追越される爲である、或は兎かく榮養不良に陷り治療費に事缺くため、さなきだに毀れ易い唯一の資本たる健康を失ふのみか、死期や老衰を早めてゐる、或はまた火災、保證かぶれなど思ひかけぬ災難や不幸に因る場合もあらう、いづれにせよカード階級の大部分は社會的事情が最も抵抗力の弱い人々を追込むのである、從つてこれら悲慘な人々を救ふことは社會の連帶責任であらねばならぬ、今日滿洲社會事業協會が大連市役所、滿鐵地方部、大連新聞、滿日、泰東日報、滿洲報、關東報、婦人團體聯合會、愛國婦人會大連支部、滿日婦人團後援のもとに同情週間を催すのもこれがためである

よし十錢、二十錢の零碎な金でも全市民の溫かい同情を集積して、分配方法は方面委員中央事務所の手により漏救なく而も濫救に注意し、餘つた分は方面委員が必要に應じて永く救護費に活用すべく、社會事業協會の特別會計中に保管しやうといふのであつて、主催者並に後援者では「受くるよりは與ふるが幸ひなり」といふ理解ある同情により市民の汎き喜捨を期待してゐる、因に同情週間の寄附は主催者、後援者並に方面委員のうち最寄のところに成るだけ同情袋に封入して屆ければよい、また近くの方面委員宅に電話すれば集金に行くことになつてゐる【寫眞は同情週間のポスター】

稅關吏の無能が旅客小荷物を增す
四ケ月後に查定不足額を通告し 小包郵便は五分の一に激減す

【奉天電話】大連安東の兩稅關が小包便の課稅に餘り非常識な發揮したので、一般邦人は早くも小包便による品物の遞送を見合はすに至つた、お蔭で年末には小包便の洪水を見るものと準備してゐた郵便局は、昨年一日に約一萬餘個の到着を見てゐたものが殆ど五分の一に激減し閑散で弱つてゐる 併し小包便に代つて今度は旅客小荷物扱ひを以つて安東を通過する品物が激增し、平常安東を通過する旅客小荷物扱品は千六百個を限度としてゐたものが最近約數千個に達するといふ奇現象を呈してゐる、これには安東稅關も啞然としてゐるらしいが奉天驛ではこの旅客小荷物扱ひのためてんてこ舞をしてゐる なほ大連稅關では八月末に通關せしめた貨物の稅金徵收查定を誤つたから、金十六圓餘を追徵すると四ケ月餘を經過して追徵の通告をして來るといふ始末で各方面に稅關吏の無能ぶりに痛憤せぬ者はない、又荷物の如きも日本を發送し約二ケ月を經過せねば奉天に到着せぬといふものもあり、官公署に納入する商店としては非常に迷惑を感じてゐるといふ有樣で、延いては日滿通商を阻害するものは稅關なりとさへいはれてゐるがこれらの稅關忌避が旅客貨物の激增となつて現れたといふ譯である

凍つた凍つた——彌生ケ池で

傷病勇士に笑ひの贈物
滿日婦人團が

滿日婦人團では十三日來連した傷病兵を迎へて同日午後五時より衛戍病院に於いて貞丈、馬樂の兩落語家を招いて慰問したが、北滿、東邊道の各地で活躍負傷した白衣の勇士等は兩落語家の輕口に笑ひを爆發し大喜びであつた

"赤""白"の鑑定を檢察局へお願ひ
稚氣滿々の露人の爭

赤系だ、いや白系だとの爭ひから遂に名譽毀損の告訴を提起したと云ふ亡命露人ならでは見られぬ訴訟沙汰がある、市內老虎灘居住白系露人セミヨン・ミヘビッチ・トルフアーノフ(五七)は去る十月中旬大連白系露人協會々長に宛て書面を以て、市內星ケ浦黑礁屯居住ヤールタ・ホテル主人イワン・ダシツキー(三八)は白系露人と稱して協會に加入し大連に居住してゐるが實は曾て浦鹽に於て赤軍に投じカミンサルダの職についてゐたもので明らかに赤系分子であるとの報告を送つたので俄然協會の問題となりイワンを詰問した處、イワンは確に一度は赤軍に投じたが今はソ聯に愛想をつかして元の白系露人として大連に亡命して來たもので、現在の自分は明らかに白系であると主張した結果、遂にイワンは白系である自分を赤系と稱するは自分の名譽を傷けるも甚だしいものであると憤慨して大連檢察局に名譽毀損の告訴を提起、高井檢察官はセミヨンを起訴して十二日午後一時より第一回公判が開かれたが、川畑裁判長は異鄉に亡命した同胞が今更相爭ふこともあるまいから示談したなればとすゝめた處、イワンはセミヨンが裁判長の前で自分を白系であると明言するなれば告訴を取下げやうと言ひ、又セミヨンは赤系は飽く迄赤系だと原告被告共に自說を守つて讓らず、遂に證人を呼び出すことゝなつて第一回公判を閉ぢることゝなつた

出迎へませう 遺骨と傷病兵

滿洲事變に熱河聖戰に或は戰後の北滿治安維持、沿線守備に武勳を輝かせた駐滿部隊の滿期除隊兵交替兵は過般來新入營の勇士達を迎へて續々故鄉へ凱旋を續けてゐるが、その後續部隊は昨夕刊所報通りの豫定で十四日より十九日まで毎日大連を通過して內地へ歸還することになつたが、尙同じ戰ひに參加して負傷した白衣の勇士及不幸敵彈に殪れた英靈の遺骨も十五日と十九日大連通過歸還の豫定である、最近市民の凱旋兵送迎熱が云々されてゐるが事實寒さの增すに連れて見送りの人が減つて行く傾向がある、併し誰でも日本國民であることを誇りとし、感謝するものは一人殘らず吾等の勇士を見送りませう

軍國風景を彩る至純の紅三點
朝な夕なの非常時埠頭に咲く 弱くて强いミス愛國

凱旋兵、入營兵、そして傷病兵と滿洲事變以來埠頭にカーキ色の軍國模樣が咲き亂れ、歡呼萬歲の嵐が爆發し續けミリタリズムが謳歌されてゐるがさうした雰圍氣に包まれまるで軍國日本のマスコットのやうに雨の日も風の日も兵隊さんの送迎には必ず姿を現はし、或時は歡喜の微笑みを投げかけ或時は惜別の哀愁に瞳を濕ませてゐる若い美しい三人のお孃さんが人々の噂にのぼつてゐるが、このミス愛國さん達は去年神明高女を卒業し現在播磨町家庭研究所に通學してゐる蜂須賀喜美子さん、太田晴子さん、樋口英子さんで、いづれも芳紀正に十九歲

私達のことを決して書いて下さいますな、心ない人に賣名行爲だとか若いくせに生意氣だなんて色々非難されますの、殘念でたまらないのです……

とさういつて三人共云ひ合せた樣に潸んでゐたでも私達御國の爲に一生懸命働いて下さる兵隊さんのことを思へば、何とかして出來るだけのことをしてあげたいと思つてゐますの……

聞けば此お孃さん達は必ず何時も衛戍病院を訪れて殺風景な病院を美しい草花で飾つたり、手紙の代筆をしたり、其他何くれとなく傷いた兵隊さん達を慰めてゐるとのことで、大連を通る兵隊さん達はいづれもその都度このお孃さん達の親切に感激の淚を浮べて居ると(寫眞は三人のお孃さん達)

軍警慰問に 伊藤幹事長出發

十三日の常任幹事會では年末に際し曩に決定した軍警慰問の實行をする事になり伊藤幹事長は十五日頃沿線に赴き獨立守備隊に感謝狀慰問金を贈呈する筈で一方旅順に大場警務局長を訪問同樣感謝狀慰問金を贈呈謝意を表する事となつた、更に伊藤幹事長は十八日頃新京に菱刈軍司令官を訪問餅代の一部に代る謝金を贈呈する筈

大學リーグ 醜聞續發

【東京十三日發國通】六大學リーグ會計紊亂の新事實として當局者は指定席券の一部を六大學の知らぬ間に賣捌いて私腹を肥やし、早慶戰には同じ番號の切符を多數賣出した事判明、責任者池田書記は辭表提出、愛想をつかした長與博士は顧問を辭した、憤慨した六大學は十六日の理事會に先立ち十五日マネーヂヤ會議を開き改革の烽火をあげる氣配である

一中の偉人祭
吉田松陰記念會を 命日の十四日開く

大連第一中學校では教育勅語渙發四十年記念として毎年偉人記念會を開催し、生徒の愛國思想の涵養に資してゐるが本年は特に時局に鑑み殉國の志士吉田松陰記念會を開くことになり、その命日に當る十二月十四日(舊曆十月廿七日)午前九時より祭典を行ひ續いて職員生徒の講演がある、なほ當日は記念展覽會をも開いて一般の縱覽を歡迎すると 該展覽會には萩の松陰神社並に松陰の研究家として有名な長崎縣女子師範學校長後藤三郎氏から多數の貴重なる資料を送つて來てゐるから非常に參考となるであらう、因みに記念誌を發行して生徒に配布し永遠の記念物たらしめることになつてゐる

石田侍從武官 大連で閲兵
中等校以上生徒と青訓生を 十七日大連運動場で

十七日石田侍從武官が來連するので同日午後二時半大連運動場において在大連中等學校以上の男子生徒並に青訓生徒は合同して同武官の閲兵を受くることになつた、なほ翌十八日は午後六時半より協和會館において「青訓の夕」を開催し青訓生徒の精神作興のため講演並に映畫を行ふ筈である

ノーストッキング ノーズロース等はいかぬ 心配事は警察へ
粹に碎けて親切な 大連署の踊子訓示

夕刊既報の如く大連のダンサー及びダンス教師、舞踏場經營者を集めての講演、訓示は十三日午後零時三十分より大連署講堂において行はれたが 寺田署長の挨拶、三上一燈園主の講演に次いで岩井保安主任は一場の訓示をなし、經營者及びダンサーに對してそれ〴〵指示事項を謄寫版刷にして配布したが これを今後遵奉するわけでその內容なるものを擧げると

經營者の方には

ダンサーは比較的收入多きと身心を勞することが甚だしきため、他に出でゝ自己の好む飲食物を攝らんとする者相當數に達するものゝ如し、よつてホールの食事は組合等において各ホールと連絡を保ち概れ同等のものを以てし、且つ相當のものたらしむることに留意せられたし 歌舞音曲は十二時限りとすることが在來の風習なり、よつて可成音樂は十二時限りとするを理想とし、閉場は遲くとも午前零時半を超えざること 等ダンサーの待遇することや時間の問題に對しては比較的寬大な態度を以て臨み、その外種々ホールの注意があり

ダンサーに對しては

先づ第一に許可證を常に携帶することとし、それは常に舞踏手だといふことを明示するものだと教へ、服裝については外出の際は質素を旨とし、人に奇異な感を抱かしめざるやう注意しホールにあつてはノーストッキング、ノーズロース等は避け殊に夏期は薄物にしてライトに照された場合內部を見透されぬやう服裝については嚴重に戒めて居り、ホールで非禮をするもの或は過去の行狀を知つてゐて脅迫するやうな者は警官に申告しなさい、また對男性問題、對經營者問題、對教師問題等で相談する相手のない時は何時でも警察が相談相手になつてやる、秘密も固く守つてやるなど、兎角桃色な眼鏡で見られ勝ちなダンサーに對して充分な信賴を與へ、最もよく理解をした指示事項のみである

荒れ廻る空巢狙ひ
今度は五百圓 御注意肝要

最近師走を迎へて急がしい家庭の日中の留守を狙つては空巢狙ひが橫行しつゝある折柄、また〳〵市內土佐町四三番地福昌公司社員平田十郎氏方の妻女が一寸買物に出かけた留守を狙はれて、十三日午後一時より同二時までの間に夫妻の衣類取まぜ二十三點、約五百圓の品物が盗まれてゐるを妻女が歸宅して發見、直に大連署に屆出たので、司法係員が檢證を行ひ嚴重な警戒網を張つたが犯人は同一人らしく本日中に逮捕されるものと見られてゐる

モヒ中の泥棒 入院中に拐帶

市內但馬町六番地吳服商大久保彌一郞方元外交員中尾治兵衛(三〇)は去る十月猛烈なる阿片中毒のため關東廳救療所へ入つてゐたが、九日同所の衣類その他金品約五十圓程度を拐帶し逃亡中を十二日夜小崗子署刑事に逮捕されに取調べたところ原籍奈良縣吉野郡大淀生れ前科一犯で、前記外交員當時市內敷島町六六番地大塚虎之助方の洋服類その他各所で衣類靴門に窃盜を働いてゐたものと判明、餘罪取調中

涙の搜查願 亡父の遺骨を盗まれて

十三日午後水上署司法係を訪れた市內聖德街四丁目一四四番地忠宗延夫氏が淚ながら訴へたところによると、同氏は十二日午後入港の照國丸で亡父の遺骨を携へ歸連したが、大事な〳〵遺骨の入つてゐる柳行李を下船のごたくさに紛れ何者かのため竊取され、一夜をまんぢりともせず 今頃は父の靈も浮ばれず嘆いてゐることであらうと考へるとじつとして居られず、遂に水上署に搜查方を依賴に來たものであり 品物は決してほしいとは思はないが、遺骨だけは何とかして手許に歸るやうにとくれ〴〵も賴んで行つたが、水上署でも氣の毒がり目下右柳行李を搜查中

巡廻映畫會

滿鐵モーター研究會にては、十四日より大連、旅順、金州、普蘭店の各地の小學校講堂において、國防思想普及のため巡廻映畫會を催すことになつたが、上映すべきフキルムは左記の通りである 因みに各地とも整理料として大人金十錢、小學生金五錢を徵收することになつてゐるが、收益金が出來れば歲末同情週間に寄附することになつてゐる

・・・プログラム・・・

▲漫畫▲ロシアの觀兵式▲佳木斯移民團▲大連を守れ▲護れ大空▲新戰場

尙ほ十四日は大連下藤小學校、十五日は常盤小學校、十六日は朝日小學校、十七日は霞小學校に於て何れも午後六時より公開

海事審判

去る十月十八日瀨戶內海において坐礁した海龍丸船長馬場周七氏、同當直船員二運正田定人氏に關する海事審判は、さきに木村理事より兩者とも職務執行一ケ月の停止を求刑されたが十三日午前十時岡本委員長より左の如く裁決の言渡しがあつた

馬場船長免狀執行一ケ月半停止
正田二運同一ケ月停止

同情週間寄附

愈々十四日より始まる同情週間に對し大連地方法院は金五十圓を寄附し、濱速洋行は十七日の賣上高の五十分の一を寄附する旨主催者に申出た

忌明寄附

滿洲銀行松野新一氏は令弟故實氏追善供養の爲市內常盤小學校兒童文庫圖書費として金一封を寄贈した

安樂椅子

先月本社主催の下に行はれた第三回全滿健康週間は本年初めての試みとして血淸檢査を行つたが檢査人員二百九十三名のうち病毒のある陽性反應者は六十六名で二二・五パーセントであつた。

……◇……

ところが旅順ではどうしたことか檢査人員三十四名中二十八名が陽性反應を示し八十二パーセント强といふ恐ろしい結果を現した、これを豐田旅順醫院長の說明に聽くと

……◇……

元來狹い旅順では醫師看護婦が市中各人の病氣を知り盡してこの爲めに家庭の內情まで知ることになる、是が爲め恥しい病氣を診て貰ふことは誰も躊躇するのだが、今回は健康診斷に來た者のうち醫師の怪しいとみた者は皆血淸檢査をしたので八十二パーセントの陽性反應をみたので、他と事情が異り敢て旅順人の血が斯くの如く穢れてゐるわけではないから御安心、とある

青空ホテル (67)

近江帆三
吉邨二郎 畫

新舊二面相(一)

「おい、旅島君。君のところへ何か情報でも入らなかつたかい」
と、小泉が訊れた。
「ボーナスのか」
「うむ」
「情報なんか入る處がないよ」
「だつて、逸見氏の妹婿なら、何んとかありさうなものだ」
「聞かんれ」
と旅島にはボーナスなどは問題ぢやない。明けても暮ても信子孃のことゝ、新居の段取りばかりで頭が飽和してゐるのである。この間、信子孃と二人で郊外を一日歩いて、大體、場所だけは決めて來た。またこんどの日曜には出かける筈である。
「一度、それとなく訊れてみてくれよ」
「いやだなあ、そんなこと訊れるの……」
と旅島は顏をしかめた。
那賀が、
「僕は駄目だと思つてる」

「どうして」
「逸見さんに睨まれてゐる。縁談を斷つてからどうもぴつたりしない。第一、斷り方が惡かつたよ。へんなダンサーと婚約中だといつたりして、たしかに心證を害したよ。あれから、相當、精勵恪勤ぶりを見せてゐるが、一向認めてくれさうもない」
三輪も、
「僕も何だか變だよ。昨日も課長が僕の顏をじろ〳〵眺めながら、どうだ、近頃勉强してゐるかねといつたよ。いつか語學の勉强をしてゐると噓をついたのをまだおぼえてゐるらしい」
「ぢや、君もせい〳〵二ケ月組だな」
「さうかも知れん」
誰でもいろ〳〵な理窟をつけて最低線を吹聽しておく。萬一、その額しか貰へなかつた場合の豫防線である。しかし、腹の中ではそれよりも三四割方の高値をふんでゐる。少くとも三ケ月、ひよつとしたら、四ケ月くらゐは貰へるかも知れぬといふ腹である。
すると、ある日逸見さんが、
「旅島君、今日は忙しいかね」
と、歸り際に聲をかけた。
「別に用事はありませんが」
「ぢや、ちよつと附合つてくれないかね」
「はあ」
「大して手間は取らせないが―」
さういふと逸見さんは、あたふたと机の上を片づけて出て來た。襟に毛皮のついた外套を着て、もう手袋をはめてゐる。
圓タクを拾つて、どこともなく走り出した。
「大分、ボーナスの話が出てゐるやうだね」
「はあ」
「去年よりは幾らかいゝよ」
「さうですか」
「勿論、中には去年なみのものもあるがね」
「はあ」
「君には特に奮發した」
「困りますな、それぢや―」
「ちつとも困る必要はない。努力の結晶だよ。それに昇給もする筈になつてゐる」
「僕だけですか」
「いや、君だけぢやないが―」
「那賀君や三輪君はどうです?」
「昇給はしないが、ボーナスは高率だ」
「はあ、それア結構です」
「高率にしておかないと、僕が痛くもない腹をさぐられる」
と逸見さんはやはり苦勞人だけある。
「喜ぶでせう」
と、旅島も何だかホッと肩の荷がおりたやうな氣がした。
自動車は飛島山の下を廻つてぐん〳〵走つていつた。
「どこへゆくんですか」
と旅島は少し不安になつた。

新刊紹介

國際知識(十二月號)特殊國と國際法規及國際條約の適用(立作太郎)米國のソウエートロシア承認(茂森唯士)米ソ經濟關係の分析(小島精一)海洋の自由と日米關係(松下正樹)等(四〇錢、東京丸ノ內日本國際協會)

音樂世界(十二月號)現今樂壇の趨勢を觀る(伊庭孝)樂曲卑俗化の現勢(中井駿二)伯林提琴界に現はれた新らしき奏法(松田三郎)等(四〇錢、東京銀座日吉ビル其社)

電氣之友(十二月號)現在に於ける無線研究の諸問題(楠瀨雄次郎)火花間隙の衝擊放電特性に就て(山下英男)最近の舞臺照明の動向(遠山靜雄)等(三五錢、東京銀座八丁目其社)

（明治卅八年十二月二十五日第三種郵便物認可）
滿洲日報
十二月十三日發行
發行人 鈴木昇　編輯人 橘本喜代治　印刷人 本村武盛
大連市東公園町三十一番地　發行所 株式會社滿洲日報社

滿鐵改組現地案 軍部、滿鐵の意見一致 けふ仕上げ的審議續行

【新京特電】十二日八田副總裁の來京を機とし、滿鐵改組擴充案はいよ〳〵現地案結成の緒に就いた模樣である。即ち最初軍部側において滿鐵提供の資料について研究し、夜に入つてからは軍、滿鐵兩首腦者膝を交へて懇談し各々熱心に誠意を披瀝し隔意なき意見を交換し檢討審議したが、會議は頗る圓滑に進行し計數その他に關する事項に亙り意見の一致を見た譯である、十三日はこれについて仕上げ的の審議をなし、所謂現地案の大團圓を見ることにならう

【新京十三日發國通】十二日午後八時より小磯參謀長邸において、愈々新資料につき軍、滿鐵兩者の最後的協議が開始された、右協議には關東軍より小磯參謀長、沼田中佐、東福一等主計、滿鐵より八田副總裁、河本、十河兩理事、市川經理部長、岡田經調課第一主査及陸軍省の秋永少佐、平井一等主計等出席、會議は深更まで五時間に亙つたが、その結果滿洲產業開發に關する現地の意見は完全に一致を見た。當事者において最も憂慮されてゐた問題、即ち滿鐵を新なホールディング・カンパニーに改めた際、新會社の經濟的乃至社會的價値が從來の凡ゆる實際的經過よりして日滿兩國經濟國策の目的を達成し得べき確固たる基礎を保持し得るか、滿鐵の八億增資により倍加した株主の利益を改組後と雖も保障し得るかとの點は五時間に亙る協議で滿鐵より提示せる凡ゆる資料及び特務部資料に對する細目的檢討の結果、明瞭な計數立證により、確固たる自信到達しこゝに完全解決に至つた

現地案の骨子

【新京十三日發國通】八田副總裁以下滿鐵關係者を迎へて十二日夜小磯參謀長邸に開かれた軍、滿鐵代表者會議において八田副總裁携行の計數的資料に基き滿鐵改組後の經濟界に及ぼすデリケートな影響につき兩者間に隔意なき意見の交換を遂げた結果、從て軍及び滿鐵のエキスパートの手で立案された現地案を斷行するも、我經濟界には微動だも及ぼさずといふ結論に到達し愈々該案は現地の手を離れて中央部に移される事となつた右案は目下嚴秘に附せられて居るが、確聞するに左の如き骨子のものである

一、滿鐵を根本的に改造し、鐵道部、炭礦部、商事部を切り離して持株會社（ホールディング・カンパニー）組織とし、既設並びに新設の子會社に對し金融並びに事業上の統制を加へる
從來の地方部は日本の滿洲國に對する治外法權撤廢まで新會社の附帶事業として經營する、治外法權撤廢期は昭和十年八月頃と推定される
二、持株會社は日本特殊法人とし日本政府の監督を受けその利益配當に關しては概ね現滿鐵の制度を援用する
三、持株會社の名稱は滿洲產業開發會社說有力なるも未決定である
四、持株會社に依つて資本の供給並びに事業の統制を受くる子會社の種類は大要次の如きものである
鐵道會社
炭礦會社（炭礦部と新設滿洲炭礦會社合併）
石油會社
採金會社
輕金屬會社
化學工業會社
森林開發會社（大同林業公司の規模を全滿に擴大する）
農事開拓會社
電氣會社
兵器會社（自動車製造工業も兼ねる）
航空會社
商事會社
この外國防に密接なる關係ある諸事業並びに國民生活を支配すべき重要產業に向つて適宜投資し事業統制の對象とする
五、以上の諸會社の法人手續は滿洲國の獨立性を尊重し、大部分滿洲國法人としその監督を受けしむるが鐵道會社の如き既存法令に準據するもの及び事業の性質並びに資金誘致の關係上必要と認むるものは日本法人とし日本政府の監督を受く
以上孰れも現地における有力なる一元的監督機關の指導を受け統制事業として發達を期する
六、現地における一元的監督機關は現在の三位一體の關東軍司令官の地位を向上的ならしめ以てこれに當らしめるが、その名稱は未定である
七、一元的監督機關の智能部として特務部及び滿鐵經濟調査會を打つて一丸とした經濟參謀部を設置する
八、監督機關を一元的ならしむる結果として拓務大臣の監督を離れ陸軍大臣の、又は內閣總理大臣直屬とする
從つて中に必要なる官制勅令の改正は可及的速かに行ふなど、滿鐵改組に伴ふ法律の改正は政府として來る六十五議會に提出の豫定で、傳へらるゝ緊急勅令の方法は執らないと

計數的資料を說明 質疑應答した 今曉會議後滿鐵側代表語る

【新京電話】滿鐵が提出した補足的數字を檢討すべき關東軍側と滿鐵側の協議は既報の如く十二日午後八時より小磯參謀長官邸において開かれたが、夜半一時半漸く散會し、軍側は居殘つてなほ夜を徹して協議を重ねたが、會議後ホテルに歸つた八田副總裁及び十河理事は交々語る

今日も前回に引續き計數的資料について說明を行ひ質疑應答をなしたが、十二日提出した資料について更に疑問の點が起るなど相當複雜なので十三日も會議を續行する

なほ會議は十三日で一段落を告げ八田副總裁、十河理事一行は同日午後四時半發列車で新京發歸連の途につくはずである

滿鐵總會出席の社員會代表決定 二十餘萬株の委任狀を携行

滿鐵社員會では改組問題に關して株主總會に代表を派遣することに決し人選を協議中のところ十三日會社側の諒解を得て阿部、曾田兩常任幹事、江口庶務部長及び本部との連絡、事務處理に當る者として城所協和編輯長の四氏を社員會代表として派遣することに決したなほ一名派遣する筈であるが詮衡未決定である、江口庶務部長は會社用件を以て上京してゐるので三代表は十五日うらる丸で出帆、下關より十時十分列車にて上京、十八日午前十時東京着の豫定であるが、一行は着京後直に東京聯合會を開催して株主總會對策を協議決定するが、派遣代表は全社員株主代表となり總會に臨むもので、その委任狀は目下事務局において整理中であるが、中トランク一杯となる量である、社外株主方面からも社員會の趣旨に贊成し委任狀を送附して來る向もあるが、これに對しては社員會より夫々本人に對して委任の趣旨に對して再照會を行つてゐる、而して社員會としては代表を中央に派遣するに當り單に總會對策に止まらず、改組問題に關して中央要路に對して運動を行ふこととなり、經濟は經濟人の手によつて、及び滿鐵改組は會社と死生を共にする三萬社員の總意によつて行ふの社員會のスローガンを掲げて陸軍、大藏、拓務の關係各省及び滿鐵關係の先輩に陳情することゝなり十三日本部より照會電を打つた、右について曾田常任幹事は語る

社員會が代表を總會に派遣することを決したについては、豫て改組問題に關しては監視主義を執つてゐる社員會として今回の總會は重大なものであるから是非總會の慣行を知つておく必要があり、沿線社員よりの要望が盛んだつたので、遂に派遣に決した次第で、社員會としては一般株主の如く必ずしも配當金を最も重要視するものでなく經濟國策として滿鐵改組に臨む從來の趣旨から今回總會に出席することゝなつたのです

數日中に中央に移牒

【新京十三日發國通】滿鐵改組現地案は十二日の協議で決定を見、一兩日中に秋永少佐が中央に攜行する事となつた、なほ八田副總裁は現地案における一切の工作完了したので數日中に東上するものと見られる、小磯參謀長も現地案說明のため八田副總裁と相前後して東上する事となり、問題はこゝに中央に移牒されるに至つた

林滿鐵總裁 十五日朝發上京

滿鐵八田副總裁は改組問題現地案について最終的協議を終へて十四日朝歸連する筈であるが、林總裁は副總裁の歸連を待つて打合せの後十五日朝旅客機にて上京總會に出席の筈

出迎へませう 凱旋の勇士 十四日午前九時半と同十時の二回着驛

日滿親善は婦人から 荒木陸相夫人の午餐會

兩國の親善はまづ婦人の手からと在京中の滿洲國執政溥儀氏の令妹で潤氏夫人韞穎さんをはじめ同秘書持永武子さん、北鐵交涉員烏氏夫人、俞夫人さん、高尾公子さん、東洋婦人會理事淸蕪秋子さんを主賓に、陪賓として滿洲國に關係深い故武藤元帥能婦子未亡人、菱刈關東軍司令官鮭子夫人、眞崎大將信千代子夫人、本庄大將むめ子夫人、阿部大將ミツ子夫人、小磯關東軍參謀長繁子夫人等を招待して午餐會を開き心からの日滿婦人の交驩を行ひ午後二時散會した（寫眞は陸相官邸にて）

荒木陸相の錦子夫人は日滿

制度の確立には大英斷が必要 人事の異動刷新は近く行ふ けふ歸任の遠藤總務廳長談

滿洲國總務廳長遠藤柳作氏は日本政府當局と種々連絡をとるべく過般來上京中であつたが、十三日入港うらる丸で關口秘書帶同約一ヶ月ぶりで歸滿して語る

丁度時期が豫算編成時だつたので政府要路の人に會ふのに骨が折れた、色々な會合に出席したが非常に快く感じた事は座談會的な如何にも物を聽く會といつた集りが多く、代る〴〵根掘り葉掘り聞かれるのでツイ何もかも打明けてしまふ事も度々あつた、ハッキリ認識したことは日本では殆ど朝野をあげて滿洲國の獨立性の强化といふ事に目覺めてゐる事で、これは日本國民の信義感の强い事を裏書するもので、滿洲國を立派な國に仕上げると云ふ事が恰も日本國民の責務の如く誰もが考へてゐる有樣だつた

◇

自分はかねて人事行政の刷新を行ふ必要を認め夫々調査を命じておいたが、歸任と共に或は發表する事とならう、年內にだつて？さあどこまで調査が進んでゐるかそれによつてだ、何分人間を動かすのが目的でない、制度の確立が目的なのだからこの際英斷の必要があると思ふ、次に附屬地の接收問題、これは例の滿鐵の改組問題の進展如何によつて決定さるべきものだと思ふ、しかしこの問題には色々話も出たし說明を加へておいた

◇

北鐵の買收問題については大橋次長とも度々會つたが、何分相手のある話だけにスラ〳〵運ばぬ、しかしなるべく早く局面の打破が必要だといつておいた、蘇聯全權側に病人があるのでそんな事も長引く原因らしい、經濟關係ではよく國幣の問題を突つ込んで聞かれたが、まあ自分としては財界人の常識としては現在のまゝの方が好いと思ふ、しかし金本位制も時期の問題だらう、臺灣領有の際だつて却々むづかしかつたのだ、しかも今度は他國なんだからね

◇

滿洲國の警備問題も現在のまゝでは濟まされまい、これは駐滿軍の意見の動きも關係してゐる事とて、その方針が變れば自然變つてくると思ふ、次に關稅問題がいろ〳〵云はれてゐるが、これは日滿經濟ブロック基本的觀念によつて片づけられるものと思ふ、最後に痛切に感じた事は將來ます〳〵日滿要人がお互ひに訪問し合ふ事が肝要だと思ふ

上陸と共にヤマトホテルに小憩、午後四時廿分發列車で歸京すると

南中支の動搖に動く北支政局（下） 財政的に觀た情勢

財政的に觀た河北の現狀は一言にして之をいへば全く行詰つてゐる、河北の財政といつても山西、山東兩省は事實上獨立して居り、先づ河北省と察哈爾省だが河北も于學忠が押へて居り僅かに北平軍事分會宛に每月五十萬元を支出するに過ぎぬ、是も最近于學忠は稅收激減等の理由で殆ど送らない、察哈爾も事實上は自給自足で北平軍事分會に三十萬元支出するに過ぎず、最近は地方の疲弊と北平軍事分會の地方軍費負擔のため全然送れない有樣である、綜局純粹の河北の財政といへば北平軍事分會の軍事費といふ事になるが、現在の處每月所用軍費は約四百五十萬元で內譯左の通りである

（イ）三百卅九萬元中央より支出
（ロ）五十萬元河北省より支出
（ハ）三十萬元察哈爾省より支出
（ニ）五萬元北平市より支出
（ホ）六萬元天津市より支出
（ヘ）十萬元北寧鐵路局より支出
（ト）十萬元其他
計四百五十萬元

右は學良時代戰前月四百五十萬元で長城戰當時五百七十萬に激增したのを、その後五百萬元に縮減されてゐたのを、更に黃郛政權となつて中央と打合せの結果戰前の四百五十萬元に復したものである、而して右軍費は一年を十回に分つて中央より支出されるが、共匪討伐のため窮乏の極にある中央は容易に送附せず、本年六回分の如きも河北各將領の猛烈な催促ではあはや動亂も起りかねまじき狀態となつたので十一月六日漸く送附した位である、勿論冬期の被服費等は送附なく各軍嚴寒を前に寒さにふるへてゐる有樣である、北平軍事分會では最近各將領會議を開き來年一月より軍費を月四百萬元に縮減給料將官は四割、佐官は三割五分、尉官は三割、士兵は一割を減額する件について諒解を求め、結局實施に決定したが、王以哲の如きは軍費會議の席上かくの如き有樣では結局河北は河北で切り盛りするより仕方ないといひ放つて軍事分會から睨まれ、王樹常、王樹翰等の斡旋、于學忠の保證で漸く監禁を免れた位で軍費問題に對する各將領の不滿が如何に堪へ切れないものになつて來てゐるかゞ窺はれる黃郛の政務整理委員會の經費と來ては月六萬七千五百元といふから驚く、力も持たず金も無いとあつては如何に黃郛に誠意が有つても仕事がしにくいのは當然で、韓復榘が赴平の際これを聞いてびつくりして幾らか融通しやうと申出て、黃郛は何とかゆくからと斷つたとの話もある、一部には黃郛系の殷同が北寧鐵路局長になつたから多少都合つくだらうと皮肉な見方をする者もあるが恐らく左樣なことはあるまい現在財政的にみた河北は全く行き詰つてゐる、福建問題が長びいて若し中央が剿匪討伐費の激增に河北軍費の送附が出來なくなつた場合はどうなるであらうか

×

因に河北省の歲入歲出は最近の分の調査は無いが民國二十年度の分は左の如きものである

民國二十年度（昭和六年）河北省歲入出概算表

（經常歲入）

科目	金額
田賦	四、八六七、二九〇
契稅	一、一九六、五六九
牙稅	四、〇五一、四六〇
當稅	五、〇六〇
屠宰稅	九二〇、五二〇
營業稅	二、〇〇〇、〇〇〇
財產收入	八四五、六九〇
行政收入	一、一二三、五九三
事業收入	四一二、八九一
司法收入	一八五、八九二
正雜各捐	一二一、一二一
捲烟統稅撥本省教育基金	一、二〇〇、〇〇〇
菸酒稅附加稅	二二八、八三二
其他附加稅	二四二、三九七
合計	一七、四〇一、三一五

（臨時歲入）

科目	金額
抵補金	五、八一三、〇九五
行政收入	九、〇〇〇
合計	五、八二二、〇九五

（經常歲出）

科目	金額
黨務費	四三二、七一六
行政費	二、三六〇、九九七
司法費	二、八六二、三五九
公安費	七四九、五五一
財務費	八〇五、二二三
教育文化費	三、一九三、八九〇
實業費	四八九、九〇八
建設費	九六九、四九八
交通費	二二三、二三六
農礦費	二二〇、〇二五
典禮費	一、〇〇〇
合計	一二、三〇八、四〇三

（臨時歲出）

科目	金額
黨務費	一七四、二四〇
行政費	
財務費	五二一、九二〇
教育文化費	三四〇、〇七二
實業費	四七、八五〇
建設費	九六、七二五
債務費	七、五八七、一一一
交通費	四一〇、五二一
典禮費	一三〇、〇〇〇
豫備金	四〇〇、〇〇〇
合計	九、二三九、四四九

今や河北は大なる嵐の前にしてきつゝあるが果してどうなるか、それは今のところ何人も豫想出來ない唯時のみがすべてを解決するであらう（完）

奉天特別市制 實施許可

【奉天電話】奉天市政公署では愈々大奉天建設のために特別市制を實施することになり中央政府に市制規則及び委員推薦等につき稟申中のところ許可されたので、閻市長が十三日歸奉するを待ち特別市制委員會を開催する運びとなつた

交涉打切の意無し 蘇聯非公式表明

【東京十三日發國通】北鐵交涉はルーブル換算率に關し滿ソの意見懸絕し停頓しをるが公電によると大田大使はソウエート外務當局を訪問する等ソウエートでは種々の浮說行はれるが、ソ側は交涉をこの儘打切る意思なしと非公式に表明した、これにより交涉の前途は絕望ではないが、交涉顧問たるバルシユイコフ氏も最近歸國し何急速の展開豫想されず廣田外相は當分成行靜觀し斡旋に出ずと

停頓の北鐵交涉 年內は現狀の儘推移

【東京十三日發國通】北鐵讓渡交涉に對しソ聯側はこれを打切る意思はないと稱してゐるが、さりとて今直に交涉を進展せしむる意思もない模樣なので、年內には勿論交涉の動きを示す模樣もなく、結局現狀の儘推移するの他ないであらうと觀られてゐる

が、委員中には栗野地方事務所長、庵谷商議會頭、其他公共團體の代表者あり、從來の都市計畫委員であつた關東廳淸水土木技師、村田氏等も參加する由で約四十名の委員をもつて各般に亙り愼重協議を重ねるとと

パ、ボ兩國の紛爭繼續

【アスンシヨン十二日發國通】パ、ボ兩國の戰鬪はなほ熄まず、パ軍は兵八二五〇名を捕虜としアヤラ大統領はこの投降狀態視察のため飛行機で戰線に赴いたとパ政府は發表す、一方ボ國政府は豫備兵を招集飽くまで抵抗を準備中だと

はるびん丸船客

【門司特電十三日發】十五日大連入港のはるびん丸船客主なる諸氏 大連昌光硝子專務藤田臣直、同社員杉森清治、步兵少尉山崎元、會社員岸田政治郎、村田金太郎、橋詰大阪稅關監督、鐵路總局新社員一行

人事

▲榮厚氏（中央銀行總裁）十三日入港うらる丸にて夫人同伴歸滿
▲關潮洗氏（同監事）同上
▲久富治氏（同秘書長）同上
▲遠藤柳作氏（滿洲國々務院總務廳長）同上
▲關口保氏（同秘書）同上
▲直木倫太郎氏（大林組技師工學博士）夫人同伴來連
▲兒玉國雄氏（大同セメント社員）同來連
▲栗山貞治氏（陸軍一等軍醫）同上
▲永沼政久氏（正金銀行員）同上

蛇角

◇胡漢民氏、右に蔣を痛罵し、左に福建を冷嘲す、そして合掌して曰く「救國の要は民權解放にあり」
◇いふことは巧い、問題はその動きに實力が伴ふかどうかだ。
◇改組料理の下拵へ、漸く出來あがる、これから皿に盛つて配膳するまでがまた一苦勞。
◇黑白を爭ふ法廷で赤白を爭ふ騷した赤恥曝げればお慰み。
◇詐欺團や萬引團の續出、犯罪のインフレ、國際的に景氣がよいといへず。
◇賣出のビラを捨てたり警路の電

三義兄弟が政權爭ひ 支那特有の奇觀

【上海特電十二日發】財政部長孔祥熙氏は財政的手腕に於て無策のため公債下落し財政難に陷り宋子文氏に援助を求めたが、宋氏はこれを背かず、宋氏は銀行筋に對し蔣氏が下野し自分が行政院長となることの運動を進めてゐる有樣で義兄弟の三人が自己の政權慾から勝手の行動を執つてゐることは支那特有の一奇觀だ

女の部屋（38） 林芙美子作 一木弴畫

眼（一七）

—それが何かの權利ですか？
—えゝ？
氷の樣な土方の一言に逢つてギクッとした洋子の瞳いた眼からは靜かに泪が流れ始めた。男の顏を見つめたまゝで……
—あ、あいして、あい、あいして……
—さういふ事は賴まれたからつて、氣輕に引き受ける譯にも行きませんよ。
—まあ………
洋子は呆然としてゐたが軈て蒼白になつて石の樣に佇立した。（何と云ふ言葉！何と云ふ冷酷な侮辱！）だが土方が彼女の背に優しく右腕をまはして緩く步き出した時洋子は一度氷りついた氣持が見るまに溶けて、力なく步き出してゐた。
—洋子さん……
だが土方はそのまゝ長い間默つてゐた。
—いゝ機會だから、誤解を避ける爲めにも云ひ度いのですが、僕が貴女の誘ひを受けて何度か一緒に外出したのは、決して二人の間に戀の成立の可能性を豫想してたからぢやありません。拒む理由もなかつたからです。
恰度其時彼等の方へ一人の老人がやつて來たので、土方は丁寧な挨拶をした。老人は土方等の研究の指導をしてゐる眞澤教授であつた。彼は溫厚さうなやゝ赤味をおびた顏に人の好ささうな笑を浮べて二つの青春を見較べてゐた。彼が着てゐる洋服などは何十年かを經た時代物らしく、今では綠茶色に褪せて了つて、襟にはよれよれのネクタイがしよんぼりぶらさがつてゐた。だがその目は何となく人の心を暗くする一種の深い悲哀を物語つてゐた。その悲哀も生々しいものでない丈に、何十年かの間じつと胸一つに織はれてゐて、積り積つて目の底に冬の夜の北斗星の樣に寒々と光り出たものであつた。
老人が行つて了ふと、二人は又ゆつくり步き出した。
—僕ね、此の際何も彼も云つて了つた方がいゝと思ふんです。
—えゝ。
洋子は心細さうに小さな聲で答へた。
—と云ふのは、世の中には打算的な戀愛從つて打算的な—勿論比較的な問題ですが、結婚の條件なくされる階級と、さうでない階級とがあると思ふのです。僕あ人の事はよく知りません、だから貴女がその何れに屬するかは知りませんけど、僕自身は明かに前者に屬してゐる事を、此處數年來はつきり意識してゐます。僕の家は別に今日明日に食ふに困りはしない、だが、一生呑氣ぢや勿論居られない、それに僕が自分の一生の仕事として選んだのは御存知の樣に至つて金錢的には酬いられない、然も一生大變な努力を續けねばならぬ學問なんです。僕が自分の仕事に就て眞劍になればなる丈、僕の私的生活にとつて、だから又僕の仕事にとつても多少とも決定的な役割を演ずる結婚に就ては、其處等の條件にも適はしい、多少打算的なものさならざるを得ないのです。
—だから洋子ぢや駄目だと仰言るのね？
—……よくは知らないけど、貴女の生活の一部を覗き、又貴女が自分で仰言る家庭での生活ぶりなど考へる時……
—御尤もだわ。でも私が貴方に魅着を感じるのも結局、妾、自分の今の生活、自分達階級の澁屈な無爲から逃げ度い氣持からよ。

兇暴な囚人四名　突如破獄脫走す
ゆうべ新京總領事館刑務所
八時間經過後判る

【新京電話】新京總領事館刑務所では十二日午後九時頃より十時の間に強力犯四名が破獄逃走した、この大膽極まる破獄犯人は元四平街警察署巡査金成鼎(二)三原政夫(二)山崎幸吉(二)武藤平人(二)の四名であるが金は本年二月五日四平街警察署に勤務中

新京 で滿人質屋を襲つた拳銃強盗犯、武藤は八月十日飛行場で作業中同僚と喧嘩してこれを刺殺した傷害致死犯人、三原は詐欺横領の前科二犯、山崎は新京滿人兩替商を四回に亘つて四名組で襲つた邦人拳銃強盗の一味で(當時新京署に於て三名逮捕收監中だが逃走したのは山崎一名)ある

新京總領事館警察署ではこれが犯人逃走後八時間乃至九時間を經過した十三日午前六時四十分頃になつて知つたといふ迂滯振りで、各方面ではその間抜けさには

啞然 としてゐる、なほ破獄現場は東向きの窓で一吋大の鐵棒四本がはめられてあるのを中央二本のボートを兩側に折り曲げそこより同監房の四名が窓下に飛降り逃走したものである、勿論鐵ボートのはめこみが不完全もあるが責任監督者が總領事館警察署內の官舍に居住せず新京署の官舍に居住してゐるため、その監督不行屆の點も十分に窺はれ

殊に 逃走後八、九時間後に至り發見したなどは正に重大なる過失であらうとされてゐる

五回目の破獄

【新京電話】新京總領事館刑務所の破獄事件は本年中これが五回目で各方面から囂々たる非難の聲を浴せられてゐるが、今回の如く犯人逃走後八九時間經過するまで闘知しなかつた當局の不注意は言語道斷沙汰の限りであるとされ、十三日午前六時四十分頃この事件を漸く感知した同署では狼狽して犯人捜査に飛出したが時間の經過から見て犯人は相當距離に逃げた模樣である、因に右刑務所は目下大々的に修繕工事中である

優れた健康美の持主
光榮の乳人

【東京特信】選ばれた光榮の乳人進藤、野口兩女は共に優れた健康美の持主で來る二十日頃から宮城內紅葉山の乳人官舍に皇子樣の御誕生をお待ち申上げて奉仕のはずである、兩女の履歷は左の如し(寫眞上は野口善子女、下は進藤はな女)

乳人　埼玉縣知事推薦　野口善子

大正元年十一月廿五日生れ(二十二歲)平民本籍埼玉縣北葛飾郡幸手町大字幸手六、三八五現住所右同吳服商野口節妻

茨城縣知事推薦　進藤はな

明治四十三年三月十五日生れ(廿四歲)平民本籍兵庫縣宍粟郡安師村狹戶六〇九現住所茨城縣久慈郡太田町二、一〇九茨城縣立女子師範學校教諭進藤俊男妻

日支人詐欺團の全貌
黑礁屯の土地を繞つての醜行
利權漁りに大痛棒

(既報)印鑑を僞造して一儲けせんとした事件の中心人物たる元介こと友川一太(二)は十三日午前九時より柏首警部補が係りとなつて取調べを行つてゐる、探聞するに

事件 の內容は市外黑礁屯三一番地四の一萬三千圓からの價格を有する土地を繞つての問題である

卽ち滿洲事變前張家の權力華やかなりし頃該黑礁屯の土地は曾て張作相の財政部廳長を務めたこともある闞澤博、李太鈞、陳達理の三人名義の所有地となつてゐたものであるが、昭和六年秋滿洲事變勃發して身の危險を感じたゝめ三名は連れ立つて天津に逃亡し今日まで經過してゐたところ、山口縣に生れその後人生の大半を支那または滿洲に過して滿洲浪人となり今は天津日本租界石街に合資會社弘榮洋行を創立して商賣を營み相當の

地盤 と信用を持つやうになつた本事件の中心人物友川一太と闞澤博の息子闞文華とは最近商賣上のことより相識るやうになつた、然し當時闞文華の父澤博は滿洲を逃亡後天津において沓として姿をくらまし今日至るまでその消息なく、一說には死亡說さへ傳へられてゐるが、行方不明の狀態になつてゐるため闞の一家は日に生活に追はれるやうになつた、その時不圖父と他二名の所有地たる大連の土地に考へついてこれを賣るべく決心しその仲介を友川に依賴したので、兩人は連れ立つて天津より一日來連して遼東ホテルに投宿、早速土地賣買の交涉をなしたが、土地が三名の名義になつてゐるため李、陳兩名の印鑑も必要なところより

遂に 二人共謀の上李、陳兩名の印鑑を僞造し私文書僞造行使を爲し某富豪に折衝中を大連警察署の知るところとなり檢擧を見たものである

友川はこの土地の外種々な土地問題に關係してゐるところより高等においても密かに調査をなしつゝあつたのを司法係では土地が登記されてゐる上土地の賣買終つた後前記二名の所有者が現れた時は買つた者が莫大な損害を蒙ることになるので一大英斷を以て檢擧に着手したものであり

利權 を廻る不穩分子に對する一大痛棒として斯くまで追及の決心を有してゐるもの、如く大いに期待されてゐる

旅順の健康週間報告會

第三回健康週間に對する旅順の報告會は十二日午後五時から敦賀町德興樓で開催米岡市長を始め關東廳より大場豫防會長代理、吉井部長、瀨下課長代理、旅順醫院各部長、市中病院長、各齒科醫院長等三十餘名本社側より社長代理として本村營業局長、高橋事業部長、下茂委員、中井支局長等出席本村社長代理より詳細なる報告及び一場の謝辭を述べこれに對し米岡市長の答辭あり乾盃の後相互次回開催に對する希望意見を開陳八時過ぎ散會した

超特急停車驛はたゞ奉天のみ
大連新京間のスピードアップ
九年の時刻改正五案

滿鐵々道部の昭和九年旅客列車時刻改正案はさきに四案の作成を見て鐵道部各課で審議中であつたがその後重役方面の意向として更に第五案を作成することゝなり輸送課で立案中のところこの程原案の完成を見た

第五案の內容は從來の第四案と大差なく特別な改正點は超特急の停車驛を極度に制限し最大限度のスピードアップに備へてゐる點で卽ち大連新京間の停車驛は奉天一驛に止め他は全部通過滿鐵本線旅客の大半を止める新京奉天、大連乘降旅客の利便に目標を置いてゐる

而して鐵道部ではこゝに改正案全部が出揃つたので來週日曜日に部內全體會議を開催し鐵道部案を決定のうへ更に重役會の審議にかけることゝなつたが最後に決定を見た第五案は社幹部の意向によつたものであるだけに實現の可能性は最も大とされてゐる

歐亞連絡の改正運賃を實施
二十日から滿鐵で

さきにソウエート鐵道ではスエズ經由歐亞連絡旅客吸收策として去る十一月一日以來歐亞連絡蘇聯鐵道の旅客運賃を五割引して對抗をつゞけ日本側としてもソ聯側から正式運賃表が送達されるのを待つて歐亞連絡運賃をそれに伴つて値下げすることゝなつてゐたがこの程正式送達があつたのでいよいよ改正運賃を決定、滿鐵でも來る二十日から同改正運賃を實施することゝなつた、而してソ聯では鐵道料金の値下げも行つてゐるがこれは區間料金不明のため現狀のまゝとし一般旅客は結局滿洲里から更めて鐵道申込を行ふ手數をかけることゝなつたがこれまた近く正式改正を見る豫定である、新京驛發歐亞連絡旅客改正運賃のうち主要驛間の料金左の如し(單位金弗)

發驛	經由地	着驛	大人一等料金
新京	ポクラ	ハバロフスク	二七・九二
同	チタ	滿洲里	三〇・八〇
同	オムスク	同	六〇・五四
同	モスクワ	同	八七・二七
同	ワルソー	同	八九・三一
同	プラーグ	同	一〇三・三六
同	ウイーン	同	一〇三・六六
同	ベルリン	同	九八・四〇
同	ロンドン	同	一二七・九九
同	ローマ	ワルソー ウイーン	一三二・七八
同	ローマ	ワルソー ベルリン	一三二・四〇

運賃金弗制を協議

現在歐亞連絡運賃は金弗によつて規定されてゐるが現在の如く金弗の變動の甚だしい時は非常な不便不利を伴ふため各國ともこれが改正を協議することゝなり來る十五日からドイツのケーニヒスベルクで各國代表者間の改正協議會議が開かれることゝなつたが日本側は時日の關係上代表を派遣せず意見書だけを送附した、而して各國の意向は大體各國別々に自國貨幣を標準にして規定するものとなる模樣であるが實施までにはなほ相當の日子を要する見込である

蘇聯側では寢臺五割引　ソウエート側では明年一月十日から歐亞連絡寢臺の申込金を五割引する豫定である

滿鐵の現狀と吾等の覺悟
林總裁講演要旨(一)

林滿鐵總裁は十三日午前十一時五分から三十五分間に亘り大連放送局で「滿鐵の現狀と吾等の覺悟」の題下に放送を行つたがこの講演は日本全國の各放送局に中繼放送された、左はその講演要旨である

私が只今御紹介に與りました滿鐵總裁の林で御座います、今日の「マイク」を通じまして親しく內地の皆樣に御呼びかけ申すことは私の深く欣快とするところであります

遠く日淸、日露の戰爭この方此の滿洲の地は皆樣御自身又は父兄、御兄弟、御子息或は知人の方々の血と汗と尊い犧牲によつて今日の隆昌を育まれたものでありまして日本內地とは全く文字通り血緣の間柄であります、更に突進んで申しますなら滿洲と日本とは同じ血が通つてゐる、同じ神經が通じてゐる、一方が或刺戟を受ければ一方も直ちにこれを感受する、一方が喜び一方が悲しむといふことは出來ない、喜怒哀樂自から一つに斯くあるべきであり、斯くあらしめねばならぬと信ずるのでありまず、固より滿洲國は儼然たる獨立國でありますが、この血緣の關係がかく叫ばしめるのであります

今回の放送を私が特に欣快と致します所以も亦茲に存するのでありまして、今日は一つ寬いで皆樣と爐邊を圍みながら語るといふ氣持で御話し申上げることに致します

◇……◇

「國防の第一線」と言ひ「日滿經濟ブロック」と言ひそれが吾々にピッタリと來るといふのは畢竟根本においてこの見えざる血の叫びがあり此の叫び聲に合致するからであると思ふのであります

す、尙此の機會に、吾々をして今日斯くの境地を惠まれた幾多先人の偉功に對し深い敬意を献げたいと思ひます、扨て、私の演題は「滿鐵の現狀と吾等の覺悟」となつてゐますが滿鐵の現狀に就て申しますに先立ち、一言致しますが前に申上げました如く、滿洲は八千萬皆樣の血緣の地であるその大動脈たる滿鐵はこれ亦最も深き日本國民全體の血緣關係にあるところの會社であると言ふことが出來ませう、これ故にこそ彼の滿洲事變以來皆樣の待望せられまする「ニュース」と申せば、華々しき出征將士の武勳に次いでは恐らくその時々の滿鐵の活動――滿鐵の現狀は如何であるかと言ふことでありまして、殊に最近滿鐵改組問題が一度傳へられまするや滿鐵の將來はどうなるかといふ懸念から一大センセーションを捲起し各新聞紙は競つてこれが報道に努めつゝあることは皆樣の滿鐵に對する關心が如何に熾烈であるかを示すものとして、吾々その衝にあるものは深く責任の重且大であることを痛感致してゐる次第であります

◇……◇

この講演に於きましては、演題の如く滿鐵の現狀を申し述べるに止め將來に亙ることを差控へますが、現狀を述べて吾等の覺悟を披瀝致しまするならば、將來の見通しに就きましても、何程かの御參考にならうかと存じます、そこで私は御話を進める便宜上、滿鐵の現狀を人の方面と事業の方面の二つに分けて申上げてみたいと思ひます、元來人と事業とは切離すことは困難でありますが、私が特に人に就いて、卽ち滿鐵に働く人々に就いて力說したいと云ふ眞意は由來滿鐵社員は拔け駈けの功名をしない、功績を擧げても名を現はさうとしない、三萬社員は何れも無名の社員たるに甘んじ默々としてその職分に全力を傾注し、それが渾然一體となつて滿鐵の使命遂行に當つて來たのであります、最近社員會の發表されたもので、これは恐らく會社始まつて以來のことでありませう、滿鐵今日の隆盛を見るに至りましたのは、歷代總裁を始め、重役諸氏の識見、手腕、駐滿軍人各位の御守護、それから皆樣の同情、御支援に依ることは申すまでもありませんが私は茲にその功を語らざる社員のために少しく辯じたいのであります、總裁の私がこれを語るのは聊か我田引水の嫌ひはありますが社員を最もよく知るものは私であると信じ、敢て申上げる次第であります(寫眞は放送中の林總裁)

またも發かれる國際大萬引團
上海、日本、大連を股にかけた
水上署に凱歌揚る

水上署司法係では過般來奉天丸より一支那人を引致、極秘裡に嚴重取調を續行しつゝあり、事件の內容はなほ嚴秘に附されてゐるが、探聞するところによれば右支那人は上海を根據地とし東京、大阪、京都等日本六大都市並に

大連 に支部を有する國際大萬引團の一員の如くである

卽ち同人は上海生れ吳服行商人林聖春(二二)と自稱し同人所持の柳行李、トランクには、結城、西陣織、錦紗等の高級反物がぎつしりつめられてをり、右反物は市內福星街二七四新吉事林孝龍(三〇)より「借金の抵當として取つた物だ」と自供してゐるが林孝龍は奉天丸に同人を見送つて來てをり同人が引致さるゝを目擊逃走(現在不明)せし事實あり

且つ家宅搜査の結果、贓品、差出人不明の內地よりの手紙、暗號電報等を發見、同家使用人が日夜十數名の支那人が盛んに出入し反物

衣類 等を櫃中より取り出してゐたと供述してゐるさのことであり、その後刑事達の現認によつて何等かの有力な確證を摑んだらしく右萬引團搜査方を全國に依賴した模樣である

またも巡査に天然痘の犧牲者
野口大連署衛生係

一時下火になつた如く思はれた天然痘は依然猛威を逞ひつゝあつて日に二、三名の天然痘患者の發生を見つゝあるが襲に警備にあつて豫防に從事中大連署より一名の犧牲者を出し目下治療中のところ遂に豫防の本陣衛生係よりまた一名の犧牲者を出した、譚家屯の警官宿舍に住む大連署衛生係勤務の野口五郎巡査(ヨシ)は豫防に當つてゐたところ發熱したので診斷の結果假痘と確定療病院で手當中である

ダンサーへ桃色訓示

時代の寵兒ダンス淨化に對し曩に舞蹈場組合の決議もあつたので大連署保安係では大連で初ての試みたるダンサーを集めて訓示を行ふことになり十三日午後同署講堂にダンサーの招集を行つたダンサー百五十名に各ダンス教師、各經營者一名を集め零時半先づ寺田署長が挨拶を兼ねて訓示をなし次で奉天一燈園主三上知志氏の講演を行ひ終つて岩井保安主任よりダンサー取締要項の指示をなしたが曾て女氣のない講堂に絢爛な渦を巻き一異風景を描いた(寫眞は大連署にて)

凱旋部隊の着發日時

十四日より十九日までの凱旋部隊の着發日時左の如し

▲十四日午前九時半凱旋部隊大連驛着△同十時同上

▲十五日午前六時二十分同上△同七時同上△同九時半同上△午後三時同上準頭發△同四時傷病兵準頭發△同四時四十分凱旋部隊大連驛着

▲十六日午前六時二十分同上△同九時半同上△午後三時同上準頭發

▲十七日午前七時凱旋部隊大連驛着△同九時半同上△午後三時同上準頭發

▲十八日午前七時凱旋部隊大連驛着△同九時半同上△午後三時同上準頭發

▲十九日午前七時戰死遺骨六十餘體大連驛着△同八時半埠頭にて慰靈祭執行△同十時戰死者遺骨準頭發△午後三時凱旋部隊同上

列車顛覆犯人を逮捕

【ハルビン特電十三日發】去る十日西部線小嵩子驛において怪露人を逮捕したのに端緒を得て同人の所持せる名簿により露人一名、滿人二名を逮捕取調中のところ露人二名は北鐵從業員、滿人二名は青山好一味で過般の列車顛覆の有力なる犯人なることを自白した

新京の火事
國都建設局文敎部廳舍

【新京十三日發國通】十三日午前一時五十分國都建設局文敎部廳舍より發火したが機敏な滿洲國消防隊の活動で午前二時廿分鎭火、原因はペチカからしく損害僅少

白衣の勇士

奧地の衛戍病院に療養中であつた白衣の勇士安藤中尉以下四十八名は二等看護官小館美實氏以下數名の看護兵に守られて十三日午前六時二十分大連驛に凱旋直に自動車に分乘して大江町の衛戍病院に入つたが同午後三時五十分旅順より凱旋した十名と共に十五日午後四時出帆內地へ歸還する豫定である

大連神社月次祭

十五日の大連神社月次祭には氏子代參當番町聖德街區の氏子役員參列の上午前十時より月次祭典執行終つて祓神樂を奉仕する、尙當日は一般參拜者のため早朝より祓神樂を奉仕、神酒、御供物の頒與ありさ

靑訓の夕べ

十八日午後六時半より協和會館において催される靑年訓練の夕の順序左の如し

▲國歌齊唱▲挨拶(御影池民政署長)▲奏樂(鐵道ブラスバンド)▲生徒の感想▲講演「最近における蘇聯邦の狀況」(關東軍參謀末藤中佐)▲靑訓歌▲映畫▲閉會の辭(滿鐵學務課長)

凱旋兵歡迎映畫會

十二月十四、十五兩日午後六時より滿鐵會社では協和會館で凱旋兵〇〇〇名を招待し歡迎映畫會を開催、弘報係撮影「守れ熱河」「灤江越えて」「新興滿洲國」オールトーキー「護れ大空」等を映寫するの外餘興として天才舞踊家尾上房子孃の舞踊を觀覽に供する、尙會場には滿鐵社員公婦人部の人々が出張して茶菓の接待をする

貧困者へ

十三日勝間なる匿名の氏より貧困者救濟のため金三十圓小崗子署へ寄附▲十三日五房店深草商店より貧困者救濟のため金三圓小崗子署へ寄附

天氣予報

北西の風晴一時曇　十四日

各地溫度
(十三日午前十一時)

大連	零下一	奉天	零下九
旅順	二	新京	零下一一
營口	零下七	新義州	零度

今日の小洋相場(十一時半)

金百圓につき　[illegible]

善鬼惡鬼 (287)

平山蘆江作　刈谷深隍繪

大晦日 (五)

「何ですえ」
「大抵、人を馬鹿にさつしやい」
五郎兵衛は、胸先にこみ上げる怒りを押へ切れなかつた。
「馬鹿にしては居りません。魚心あれば水心とやら、お前の方で辛くあたれば……」
「何とでもいふが好い。拙者はもう歸かぬ」
おはまをおしのけて立つた。
併し、例のねつとりした調子で
おはまはつきまとつた。
右によけ、左に追はれ、ところ嘉の座敷をや、しばらくさまよつてゐる。途端に
「車澤、車澤」と、よぶ聲が、相模屋の廊下に響いた。
「拙者、こゝに居る。何ぞ用か」
窓際から顔を出した途端
「車澤」と又一聲。
向ふの窓から二、三人の顔が現れた。
「妙なところに居るの」
松原源八であつた。
「うむ、仔細あつて――」
「秋岡も一緒か」
松原が又云つた。
「拙者一人です」
「秋岡が突然ゐなくなつた」
「秋岡長十郎なら、部屋へ入つた筈だ」
「ところが居らぬ。相方の女も、存ぜぬと申して居る。兎に角戻つてくれ」
「心得た」
五郎は窓枠へ手をかけて、踏欠一つ、飛び越す氣だつたが、少し離れすぎてゐる。
「はなせ」
お濱は五郎の腰にしつかりつきまとつた。
「はなしませぬ」
「おぬし一人、振りはなすくらゐ何でもない」
「子供の行くへを、聞きたうはないのかえ」
「是非に及ばぬ」
「ほほほ、それも口ばかり。その證據には、それ〳〵、その樣に出しぶつておいで[illegible]」

一ひねり腰をひねると、おはまは[illegible]たふれた。
「五郎さん」
うしろもふりむかず、洩散に下座敷へ行かうとしたのを追ひかけて
「五郎さん。今こゝで私と別れたら、お前の血を分けた子供はどこへ隱れても見つかりませぬぞえ」
落付きはらつて云はれるほど、五郎兵衛にとつては、辛かつた。
つか〳〵と戻つて、ぴつたり兩手をついて、
「おはまどの、どうぞ教へて下さい。拙者の一粒種、どこにどうして居ります。恩にきる」
苦しげに頼んだ。
「教へてあげたいは山々だが」
「どうぞお教へ下さい」
「教へてあげますから、私のいふことも聞いて下さいといつてゐるではないか」
「どうあつても云はぬな」
「云ひたくてたまらないのだが、お前がいはしてくれないのでれ」
「もう構はぬ。草を分け、木の根を掘つても、なアに一心の力で探して見せます」
五郎は到頭、あきらめた。
思ひ切りよく行つて了ひさうなので、今度はおはまが慌てはじめた。
併し、五郎はふりむきもしなかつた。つきまとふお濱を、おしのけ、つきのけ、梯子をどん〳〵下りた。
梯子の際で、五郎の袖をつかんだおはまは、ふりはなされたはずみに、足を踏みすべらして下座敷へ、ドドドツところげ落ちた。
「車澤、車澤」
廊下のさがみやでは、頻りによぶ聲がする。
「おはまどの、氣をたしかに」
五郎は駈けもどつて、一旦、おはまを抱いた。氣を失つたと見えたおはまがさうではなくて、につこり笑ひながら、五郎の手をしつかり取つた。
「エイ、勝手にさつしやい」
云ひ捨てゝ、五郎ははだしの儘で[illegible]

日本案を承認せば日印の希望を肯諾
十五日頃回訓を發せん

【東京十三日發國通】日印會商對策につき外務商工の兩省が協議してゐるが、印度側が爲替條項と睨綿布割當の我要求を承認せば、他の點は印度案を承認し英印の希望通りクリスマス迄に基礎協定に達する事に異存なしと意見一致を見昨日廣田外相より澤田代表に對し訓電を發し九月二日、十六日第一次會商後の協定全部の報告を命じこれを基礎として最後案を作成、十五日閣議に附議決定し澤田代表に正式回訓を發する筈で、こゝ一兩日の私的會商が重大視されてゐる

私的會見で大綱を決定

【デリー十二日發國通】一兩日中に澤田、ボア兩氏の私的會見が豫想されるが、全面的解決點に到達が期待される、尚ほ本會議は回訓未着で未定だが、結局は私的會見で大綱決定し形式的に此の結果を附議する事になる模樣である

赴日の目的充分達成した
唯感激あるのみと
十三日歸滿の榮厚總裁語る

滿洲中央銀行總裁榮厚氏は新興滿洲國第二段の經濟工作である產業開發及び經濟機構の擴大計畫に着手するに當り、日本の實業家、銀行家方面の援助を求め豫て同行設立以來の日本朝野の助力に對して謝意を表するため去る十月二十七日出帆のうすりい丸にて上京、東京、大阪、京都等の各地を歷訪し要務を終へた後日滿文化會の一員として各地の舊蹟を視察中であつたが、この程約二ケ月に亘る旅程を終へて夫人及び同行監事閻潮洗氏、同秘書長久富治氏帶同十三日入港のうらる丸で歸連船中朗らかに語る

中央銀行設立以來日本朝野各方面の援助により順調に行務を進展することが出來たのでお禮を言ひに行つて來た、銀行の基礎的要件である通貨の安定、幣制の統一及銀行內部機構の整備は既に相當な成績を收め、どうにか基礎も定つたので第二段の工作として滿洲における經濟機構の發展と產業開發の緒につくに當り、日本の關係各方面の抽象的援助を求めるため東京大阪の銀行家、實業家を歷訪して誠意を披瀝したところ、その結果先方からも非常な歡迎をうけ、諒解を得ることが出來たのは私個人としてのみならず、銀行として又滿洲國として大變滿足と思つてゐる

× × ×

更に光榮に感じたことは、十一月二十四日今上陛下に拜謁を賜はつたことで非常に優渥なるお言葉を賜つたが、私は今もつてその御仁慈に對して感激してゐる、この有難さは一生忘れることは出來ないと思ふ

× × ×

二十六日後は日滿文化會の一員として東京及京都に於ける各文化機關の他高野山、奈良、日光等で寺院、圖書館、博物館等の文化施設を見學して來た、中でも奈良の正倉院、法隆寺等には非常に啓發された、これ等古代の文化機關に藏されてゐる古書古物は日本に於て珍らしいのみならず東洋における精華だと自分は思ふ

× × ×

旅行中各地において盛んな歡迎を受け各方面から好意をもつて迎へられ、又副產物ではあるが隨處に日本の精神を看取し得て大いに啓發されるところがあつたのは皆樣のお力添へと感謝してゐる、今後とも滿洲國のため日本のため老骨を粉にして働らかうといふ樣な決心をもつて上陸しやうとしてゐる、このことを貴紙を通じて日滿の人々にお傳へ下さい(寫眞は榮總裁)

場外取引に嚴重警告
十二日民政署當局から

大連中央卸賣市場仲買人の場外取引は依然として橫行してゐるので、民政署では十二日午後日本人仲買人全部を招集して嚴重警告を發した

滿洲中銀强硬
結局鎭平銀廢止か

【新京電話】滿洲國の幣制統一により營口の過爐銀及び安東の鎭平銀廢止は當然の歸結とされてゐるが、安東商務會では既に表面運動を開始し、商民中にはこれにより致命的損失を蒙る者あるを以て二年乃至五年の廢止延期を請願するに至つたが、滿洲中央銀行では廢止促進を企圖し特に長谷川滙兌科長を安東へ派遣し廢止に就ての事情を說明せしめて居る

土地商租意見交換會
十四日總領事館において

【奉天電話】滿洲國の商租權問題は商租權條例及び施行細則の實施に伴ひいよ〳〵土地の商租を爲すことが認められたが、十四日午前十一時から總領事館において蜂谷總領事は日滿官民關係者を招待、商租土地に對する今後の地方的事務取扱その他に關し意見の交換を行ひ、午餐を共にするが、滿洲國側は奉天省公署稅務監督署稅捐局長、日本側からは商業會議所立川署長、桝井司法領事その他商租に關係ある代表で商租權の確定とともに今後は商租土地に對する、滿洲國側の課稅警察行政權に進まねばならぬから商租に對する取扱方法を出來るだけ完全にして事務の簡捷を計られるやう一般は希望してゐる

低資補償問題
鮮銀の態度緩和を希望
滿鐵では氣乘り薄

輸入組合の低資問題につき輸入組合聯合會では過般來運用方法につき萬全を期し一日も早く組合員への貸付を開始すべく種々考究の結果既報の如く組合對組合員間に借入申込額に對して根抵當契約を設定その返濟を確保し、之に對し滿鐵において十割の損失補償を要望してゐるが、これに就て滿鐵側では當初直接關係なきにも拘らず大藏省の方針並に輸入組合員の利益のため二割の損失補償而も鮮銀に率先して優先的に二割の損失補償を爲し來つてをり、政府の方針に何等悖るところはない、而して優先二割の損失補償は實質上十割の補償を意味することとてこれ以上滿鐵が積極的補償を爲す必要を認めず、鮮銀側に於いて輸入組合に對する認識を深くすれば自ら解決する問題なりとして十割補償に就ては極めて氣乘薄で、鮮銀側の態度緩和を期待してゐる

一縣一局主義で國稅徵收を統一
官制は法制局で審議中

【奉天電話】滿洲國財政部では國稅徵收の統一を期するため各省稅務監督署管下において稅捐局を原則として一縣一局主義をもつて官制の起草を了り、法制局及び參議府の諮詢を待ち公布する豫定であるが、縣によつては一局を設くる必要のない縣もあるが、大體において一縣一局を根本として官制の實施を見るものと見られてゐる、なほ縣を四區に徵稅事務を區分し一區に一名の事務官を任じ、國民に納稅の精神と義務を知悉せしむる方針で國內稅の確立につき研究を重ねつゝあり

十三日限鎭平銀受渡

【安東發】安東取引所に於ける十三日鎭平銀の受渡高は三十萬二千兩で標準值段は一圓五十一錢四厘此の金額四十五萬七千二百二十八圓であるが、前限に比し九萬八千六百十八圓の增加を示した

渡方 原田十萬三千、儲蓄二萬、丸福一萬五千、天利一萬一千、恒順隆八萬八千、長聚隆二萬五千、其他二萬

受方 原田八萬六千、丸福二十一萬一千、其他五千

對滿洲國事業投資會社激增
本年のみで百二十六社

【新京電話】滿洲國の經濟基礎確立に伴ひ日本資本家の積極的進出と共に歐米諸國の對滿認識は漸く深まり、外國資本家の滿洲投資希望も漸次增加しつゝあるが、滿洲國における事業を目的とせる日本の會社設立數は本年度のみにて百二十六社、資本金額一億八千八百五十萬圓に上り前年度の會社數百廿社に比し非常な激增ぶりである

大連主要工業九月中成績
前年對比四割四分增

大連民政署調査九月中に於ける管內主要工業生產高は四百三十九萬一千五百三十圓に達し、前年同月の三百四萬五千六十三圓に比し實に四割四分强、百三十四萬六千四百六十七圓の著增を示した、これが主因は逐月不振を喞ちつゝあつた化學工業就中油房業が前年同月極度の不振裡にあつたに對し、本年は內地方面の需要擡頭に珍しくも前年より五十七萬六千餘圓の黑字を示したのをはじめ、滿洲國建設工作進展に伴ひ重工業の飛躍的發展即ち機械器具工業の十五割增、金屬工業の十二割增、窯業製品の十割增等に基くもので從來素晴らしい躍進を示しつゝあつた混合飼料製造は同月は端境期にあつたゝめ振はず減少したのみであつた、今主要工業別に九月中の生產高及び前年同月との比較を示せば左の通り(單位圓△印減)

	九月中	前年同月比較
紡績工業	[illegible]	[illegible]
金屬工業	[illegible]	[illegible]
機械器具工業	[illegible]	[illegible]
窯業	[illegible]	[illegible]
化學工業	二、〇四、八〇〇	[illegible]
製材木製品工業	[illegible]	[illegible]
食料品工業	[illegible]	[illegible]
雜工業	[illegible]	[illegible]

なほ前記各工業生產品中主要なるもの十五品を摘記すれば左の如くで十五品生產額總計は二百八十九萬九千六百四十七圓を示し總生產額の約六割六分を占めてゐる、右十五品合計を前年同月のそれに對比すれば七十四萬七千七百四十一圓の增にあたつてゐる、尤も左記品目中綿糸、板硝子、塗顏料は數量は減少してゐるが單位の値上りに價格は增、骨粉、麻袋、家畜飼料は數量金額共に減少を示してゐる(單位圓△印減)

	九月中	前年同月比較
綿糸	[illegible]	[illegible]
麻袋	[illegible]	[illegible]
特殊鋼	[illegible]	[illegible]
板硝子	[illegible]	[illegible]
耐火煉瓦	[illegible]	[illegible]
ポートランドセメント	[illegible]	[illegible]
其他洋灰	[illegible]	[illegible]
硫化染料	[illegible]	[illegible]
塗料顏料	[illegible]	[illegible]
大豆油	[illegible]	[illegible]
大豆粕	[illegible]	[illegible]
硬化油	[illegible]	[illegible]
骨粉	[illegible]	[illegible]
調味精粉	[illegible]	[illegible]
家畜飼料	[illegible]	[illegible]

附加稅に發端
英佛新通商條約開始
關稅鬪爭一時沙汰止み

【ロンドン十二日發國通】フランスの對英一割五分附加稅設定に端を發して英佛間に新通商條約交涉開始に決定し兩國の關稅鬪爭は沙汰止みとなる模樣である

內地反落を映じ十一月物價低落
沿線各地共騰勢挫ぐ

關東廳調査＝十月大連一分一厘高を筆頭に一齊騰貴を示した、滿洲主要三都の卸賣物價は十一月に入り內地の反落を映して騰勢全く挫け輕微ながら一齊反落した、即ち最高の安東の四厘低落をはじめ大連三厘、奉天は二厘の低落を示してゐる、而してこれを前年同月に比すれば奉天の九分二厘高を最高として安東七分高、大連二分三厘高を示し尚ほ昨年より高値にあるが、この騰貴率は逐月縮小しつゝあるは注目に値する、尙ほこれを指數基準昭和五年一月に比すれば奉天は一〇九・八と九分八厘高、安東は一〇六・二と六分二厘高を示してゐるが、大連は指數九八・七と依然下廻つてゐる、各地別指數を示せば左の通り

	前月基準指數	前年同月同上	五年一月同上
大連	九九・七	一〇二・三	九八・七
奉天	九九・八	一〇九・二	一〇九・八
安東	九九・六	一〇四・〇	一〇六・二

尙ほ金再禁止直前の昭和六年十一月に比すれば最高安東の四割四厘高をはじめ奉天四割一分七厘高、大連は三割七分三厘高を示してゐる、今各地別詳細內容を示せば左の通り

大連 雜品が三分三厘方、調味料が一分方騰貴したのみで飲料及嗜好品は保合、建築材料は四厘、食料品は七厘、衣料品は一分二厘、燃料は實に四分二厘の反落を示し總平均に於て三厘の下落となつた▲調査品目七十二種中前月比較騰落の主なるものを示せば、騰貴＝澤庵(內地物、滿洲物)玉葱、挽角(紅松、白松)氷砂糖、麻袋、麥粉等十九種、低落は＝石油(美孚印)豚肉、洋釘、サイダー、綿ネル、亞鉛引浪板等十三種、保合は四十種

奉天 燃料一分五厘、建築材料六厘、調味料一厘を夫々騰貴、衣料品並に雜品は保合、飲料嗜好品七厘、食料品は二分六厘の低落、總平均において二厘の低落▲騰落品目、調査品目五十六種中騰貴は澤庵(滿洲物)セメント、瓦、疊表、石油(亞細亞印)等七種、低落は煉瓦(手抽き)白米(檢査一等、無檢査一等)清酒(白鶴)豚肉等七種、保合四十二種

安東 建築材料が僅か二厘方騰貴したのみで飲料嗜好品、燃料雜品は各保合、調味料は七厘、衣料品は九厘、食料品は一分三厘の低落、總平均において四厘の低落▲騰落品目、調査品目五十二種中騰貴は玉葱、鷄卵、鹽鮭、鰹節(土佐本節)麥粉等十種、下落は澤庵(滿洲物)生鷄卵、氷砂糖、白米(檢査一等、無檢査一等)麥酒、白砂糖等九種、保合三十五種

尙ほ前年同月との比較を示せば前記の如く大連は僅か二分三厘の騰貴、奉天九分二厘、安東七分の各騰貴となつてゐるが、類別大要を表示すれば左の通り(指數は前年同月を百とす)

	大連	奉天	安東
食料品	[illegible]	[illegible]	[illegible]
調味料	[illegible]	[illegible]	[illegible]
飲料嗜好品	[illegible]	[illegible]	[illegible]
衣料品	[illegible]	[illegible]	[illegible]
燃料	[illegible]	[illegible]	[illegible]
建築材料	[illegible]	[illegible]	[illegible]
雜品	[illegible]	[illegible]	[illegible]
總平均	[illegible]	[illegible]	[illegible]

大連商議役員會

大連商工會議所では本十三日午後三時半より役員會を開催し過般催された民團懇談會の經過を報告すると共に過般來滿洲國當局、關東廳と折衝中であつた滿洲國商標登錄辦法を報告承認を求むる筈である

大同セメント近く登記
同社兒玉氏來連

新興滿洲國工業界のトップを切つて吉林哈達灣に設立される事となつた大同セメント會社の登記手續その他の用件を帶び同社兒玉國雄氏は十三日入港うらる丸で來滿したが、船中語る

會社は殆ど出來上つたがまだ登記手續が濟んでゐないので折角出來上つた子供を私生子にしたくなく、旁その手續に來ました、御承知の如く大同セメントは國幣三百萬圓拂込濟の日滿合辦事業で、日本におけるセメント業者の合同したものと滿洲國側が一緒になつて作つたもの、既に諸機械の註文も濟んだし工場敷地十萬坪、雪解けを待つて工事に取掛る事となるでせう

同氏は十三日午後十時列車で吉林に向ふ

十三日限大連錢鈔受渡

大連取引所錢鈔市場の十三日限受渡高は二百二十萬五千圓にして標準值段は百十一圓十錢此の總金額二百四十四萬九千七百五十五圓之れを前限に比すれば七十二萬、金額七十八萬六千五百五十五圓の增加を示してゐる

渡方 三井三十八萬、福順三十二萬、裕昌元廿二萬、益泰祥十七萬、東茂泰十三萬、外十八店九十八萬五千

受方 儲蓄四十四萬、裕昌元三十萬、三菱十九萬、義成信十九萬、德泰十八萬、外十五店九十萬五千

戊興一年回顧
B……證券界(上)
對外材料蝟集
波瀾重疊に終始
本年上半期の株式市場

昭和八年は證券市場にとりては可なり波瀾性を發揮した歲であつた即ち低金利の背景や爲替安、前途のインフレ見越等好材料輻湊して早くも年初劈頭において諸株大騰進を演じ、場面頗る殷盛を呈したのであつたが、折柄熱河問題の惡化を傳へ漸く行き悶への振合となり、間もなく大人風に見舞はれ、新東株の如き、高値より一氣に二十六圓方の反落を演じ、東株市場における二月限大取組の壓迫や、其他國際政情案じなどで不透明な商狀に轉化するに至つた、二月央に至るや國際聯盟との和協全く絕望の報を入れ、株式市場は投物續出し、逐日加速度的に崩落商狀を辿り、遂に新東は百三十四圓と一月の高値より約九十五圓方の安値に陷り、之れに連れ諸株共軒並に慘落し、市場は混亂狀態を現出したが、跡東株市場における一部解合の報至るや一日の內に二十圓方引返し、漸く市場安定を見たのであるが暫くは依然として前途の不安去らず小市往來を持續してゐた

……◇……

東株における二月限大受渡終了後の市場は、漸く氣分的に明るくなつてゐた機先、突如として米國金融界の恐慌を傳へ、事態の重大化に諸株大暴落を演じ、情勢險惡とみられたので三月六七日の兩日は內地市場に追隨して、大連市場も立會を休止し、人氣の安定を待ちて蓋明けをしたが、案外落着き模樣を呈し、其後惡材料出盡しの振合から買氣加はり、好歩調を示してゐたが、たま〳〵政變案じ其他は內地に比し二圓方の下鞘を附し不自然なる市況を示現[illegible]

黃塵

◇…輸入組合の低資貸出問題で滿鐵の十割補償要求には星野商工課長等も內心甚だ平ならぬものがあるらしく、むしろ鮮銀の態度緩和こそ望ましいといつてる。

◇…畢竟鮮銀では貸出相手の資格を云々してる結果なのだが、もし滿鐵が補償擴大の要求に應じないとすれば折角の低資は何時までも融通されないわけ、これをこそ寶の山で手を拱いて居るものといふべきだらう。

◇…榮滿洲中銀總裁、滿腹の感激を抱いて歸つて來た、取分け陛下に拜謁して優渥な御諚を賜はつたことには限りなき感激にふるへて居る。

◇…謝には謝外交總長が赴日して同じ感激を擁して歸り、今又財界の要人が均しく天恩を拜謝して歸滿した、渾然たる日滿の親睦のためには何よりのことである。

市況(十三日)

特產
仕手見送りに大豆軟調

今朝の定期は大豆は仕手見送りに軟調を辿り、豆粕は商內薄で保合を示し、豆油は氣乘薄に軟調を辿り、高粱は人氣引立たず保合を呈した

市場電報(十三日)
銀塊及爲替
神戶日米
棉花
豆
銀
株
錢鈔
海外材料冴えず鈔票弱保合
株式
東新引軟弱當市も不冴
前場
滿鐵株(保合)
商品
綿糸期近安 麻袋ボンヤリ
上海爲替情報
爲替相場
鮮銀
上海標金
奧地相場
錢鈔
特產
大阪株式
東京株式
大阪期米
神戶期米
東京期米
大阪綿糸
大阪棉花
橫濱生糸
印度麻袋

家庭

年賀郵便はなるべく早く出せ
遅くも二十七日頃までに……
特別取扱の御注意

恒例の年賀郵便特別取扱は本年も来る二十日から二十九日まで實施されることになりました。この期間にちやんと一まとめにして大きい封筒に入れるなり紐で十文字に結はへるなりして表に年賀郵便と明記してお出しになれば、昭和九年一月一日のスタンプを押して

元旦 の最先便で先方へ配達されることになつてゐます。この特別取扱は第一種（封書と無封書状）と第二種（官製及私製はがき）と第四種（年賀の名刺など）の郵便物に限られ、しかも料金完納のものだけといふことになつてゐて若し郵税が不足したり切手が貼つてなかつたりすると差出人に返送されますから、多數の年賀狀をお出しになるやうな場合には切手の貼り落しや不足がないやうによく氣をつけて頂きたいのです。

毎年 よくあることですが、一見して年賀狀とわかるからと考へてかくゝりもしないでバラバラにして投函する方がありますが、これでは普通の郵便物と混同して折角の年賀郵便に十二月のスタンプが押され、轉てご鄕の師走氣分の中へ配達されたりしますから必ず一通でも二通でもくゝるか何かして年賀郵便と明記する必要があります。かうして頂きますと樺太から南は臺灣からマーシヤル、カロリン群島方面まで、およそ外國郵便でない所は何處でもこの

特別 の取扱を受けることが出來ますが、遠い所ではいくら期間内に出したとて必ず元日の朝に配達されるといふわけには行きません。大連から出すとして南洋（マーシヤル、カロリン）方面ですとどうしても二週間位はかゝりますし、臺灣、北海道方面は六七日は要しますし、内地でも東京以北や邊鄙な田舍などになると四日も五日もかゝりますから相當の餘裕を見て内地方面行でもなるべく二十五日頃まで、おそくも二十七日までには出して頂きたいものです。若しこの二十九日の期限を外してしまひますとあとはその日その日の

消印 を押すことになり年賀郵便が變なものになりますし年があらたまつてから差出すとすれば遠い所など松の内もすぎておくれ正月氣分の失せたころに届くことゝなり折角の賀狀も値打をおとしてしまひませう（大連中央郵便局通常郵便課長小西輝雄氏談）

饑餓線上に温い人の情け！
——けふから歳末同情週間——

ボーナス、師走來の聲にサラリーマンの家庭も商店街もすつかり浮立つてゐるこのごろ、近づくお正月の樂しみも持たずこの寒空にあたゝかい煖爐はもちろん身を包む着物や日々のパンにさへ飢ゑてゐる氣の毒なわが同胞が大連市内だけでも千數百人もゐるのです。この不幸な邦人貧困者のためによし十錢、二十錢の小さな金額でも全市民が擧つて同情金を寄附したら相當なお金が集まり、これらの人等にせめてお正月だけでも幾分人間らしく祝はせたいといふので、旣報の通り滿洲社會事業協會の主催でこれに大連市役所、滿鐵地方部、大連新聞社、泰東日報社、滿洲報社、關東報社、滿洲日報社、大連婦人團體聯合會、愛國婦人會大連支部、滿日婦人團が後援して本十四日から二十日まで歳末同情週間を擧行することになりましたこの寄附金は一應方面委員中央事務所に集まり、歳末救助金として悲慘な境遇にある人達に分配されるのです。寄附金額には制限ありませんがこの期間内にお宅の近くにいらつしやる方面委員のお宅或は前記の主催若くは後援の各所へお届け頂きたいのです。

村全體が入獄を歎願

カルメンの國スペインはセヴイリヤの近くにオリヴアレスといふ村があります。不景氣風はこのロマンチックな響きを持つスペインの平和な村にも訪れ、二百人ばかりしかない男といふ男は悉く失業してその日の糧にも事を缺くといふ有樣なので到頭セヴイリヤに出掛けて市長を訪問し

「私達を監獄へ入れて欲しい、その方がいくらかでも飯にありつける」

と歎願しました。しかし市長はこれを拒絶しました。その代り四十人分ばかりの救濟費を私財から投じましたが、それでもオリヴアレス村の人達が市長の許を去らないので終ひには警官が退去を命じたといふことです。

Xマスツリーとスマートな門松
相場は昨年と大差ない

以 前は全く宗教的なお祝ひであつたクリスマスも、この頃では全く一般化されて商店やカフエーは勿論、基督教徒でない一般の家庭にも年々美しいクリスマスツリーを見るやうになりました。金や銀の星やモールや數々の玩具をさげて、可愛い豆電燈をつけて、枝々に綿の雪を積らせたあのきれいなクリスマスツリーは正式にすれば樅の木ですが、樅は滿洲にはあまりなく從つて高價なので松を代用する向も多いやうです。ツリーとしては

傘 幹が眞直で幹の中ほどからのやうに枝が擴がりその枝や葉が平均に密に茂つて上の方に圓錐形に狹長くなつてゐるのが最も上等です。家庭用としては樅で四尺位（二圓五十錢前後）から一間位（五、六圓）のが一番多く迎へられ教會や大商店などで使ふのは大抵一丈以上（十圓前後）のものです。樅は大抵内地方面から來るのですが松は大連附近の山のものが多く値段も一圓五十錢から一丈以上のものでも四圓ぐらゐまりです。

ク リスマス頃からボツボツ門松立てもはじまるでせう。そぎ竹に若松と梅をあしらひ注連をめぐらしたあのスマートな門松は七寸位の竹を三本つかつた中型で八圓、大邸宅向の九寸竹を五本使つた大型が十三圓他に小型で六圓と四圓のがありますが郊外の小住宅などこの位のでもよろしいでせう、會社、銀行などの門前に飾るに周一尺以上の大竹をつかつた特別型で三十圓、二十圓といふところで昨年と大差ありません。（高谷園藝商會調べ）

テンピの選び方
高い銅製より鐵製が家庭向

家庭 で美味しい洋食やお菓子を作るには是非共テンピが必要です、テンピに色々の種類があるのは御承知のことですが熱の傳導の早いことと錆びないことでは銅製のものが優るのですが高價ですから使用後の手入さへ充分にすれば比較的長く使用出來る鐵板製のものが御家庭向きでせう

新に テンピを求める場合には必ず增熱板といつて穴の幾つも開いた鐵板に石綿を浴かして一面にかけた板の有無を確め有るものを選ばねばなりません、これは肉類や骨つきの鳥などを焼くとき大變早く焼くに役立つのです

それ からテンピは中が見える樣に扉に硝子の嵌つてゐるものがよく更に中に入れる天板は繼目なしの丸く打ち抜いたものがよろしいのです、角形の天板ですと繼目から汁が洩れますし又洗ふときにも隅が充分洗へないのでいけません、以上の點に注意されゝば良いテンピをお選びになることが出來ます

耳の痛みから鼻汁が淡紅い

【問】十九歳の娘、二、三日前より右の耳が大變痛くてよく聞えなくなりました、今では痛みは大抵されましたがものを云ふと右の耳にガンガンひびいて大變不愉快です、人の話も大分きこえるやうになりました、しかし鼻まで惡くなつて鼻汁をかむとインキをうすめたやうな淡紅いのが出ます、どうしたのでせうか？ほうつておいてよいでせうか（沙河口惱む少女）

鼻の慢性疾患を早く治しなさい

【答】輕い中耳炎にかゝつて自然になほりかけてゐるのでせう鼻が惡いと中耳炎にかゝり易いのです、鼻から血が出たり鼻に異常があつたりするのでは何か慢性の鼻の疾患があるのでせう耳の方はそのまゝおいてよいかも知れませんが早く鼻の病氣をなほさないと又度々中耳炎なくり返すでせう（森本辨之助）

肉と野菜の温い料理（一）
美味しい鍋物

寒さがきびしくなつて來ました、身體中あたゝめますにはどうしても温かいお料理を台上るのがよろしうございます、御家族が揃つて鍋をつゝき合ひますのは大抵夕飯の時に現れてゐます、今日申上げるお料理は肉と野菜の味を生かし美味しい汁を台上るので簡單に出來ますしお客樣に差上げてもはづかしくない家庭料理でございます

△スチユウ仕立のすゐさん

材料（三人前）牛肉三十五匁、人參二個、玉葱二個、馬鈴薯二個、靑豆大匙二三杯、粉大匙二杯、鹽茶匙一杯半、胡椒少々、水コップ三杯（以上スチユウ用）粉コップ一杯、スクラシ粉茶匙二杯、卵一個、鹽茶匙半分、味の素少量、胡椒少量、水又は牛乳大匙三杯程（以上團子用）

作り方＝先づお湯を沸かしておきまして野菜類の皮をむき小さく切つて用意しておきます、肉は親指大に切りまして脂肪でいためその後で玉葱の切つたものをいためておきます、肉を深鍋に入れまして熱湯をコップ三杯に加へ、人參を入れ牛分煮えました頃馬鈴薯と玉葱を入れ煮ながら分量の調味料で味つけ致します、その間に粉とベーキングパウダー、鹽、味の素、胡椒等乾いたものをまぜ合せて卵でときかたい時に水又は牛乳で適當にゆるめ、普通するゐさんと同樣に團子にして煮立つた鍋に入れ蓋をし煮上げます、それから大匙二杯の粉を水ときして流し込みスチユウの樣に致します、斯樣にしていたゞきますと御飯代りにもなりますしあたゝまり美味しく頂かれます

卓上日誌

▲歳末同情週間　十四日から二十日まで
▲新年用食器陳列　十五日から三十一日まで三越で開催

ラヂオ
大連 JQAK　十二月十四日

▲午前六時卅分　ラヂオ體操第二
▲午前七時　ラヂオ體操第一
▲午前十一時　相場（錢鈔、特産株式、各地相場、公設市場値段）
▲正午　時報
▲午後零時五分　相場（錢鈔、特産、株式、各地相場）ニユース
▲午後三時三十分　相場（錢鈔、特産、株式、各地相場）ニユース
▲午後六時　ニユース
▲職業紹介事項
▲午後六時三十分　支那語講座テキスト第三十九課滿鐵學務課秩父固太郎
▲午後七時　合唱と管絃樂（東京日比谷公會堂より中繼）東京音樂學校演奏會、鎭魂曲、作品四五（ブラームス作曲）第四樂章第五（ソプラノ獨唱付）第六（バリトン獨唱付）合唱東京音樂學校生徒、ソプラノ獨唱長坂好子バリトン獨唱澤崎定之、管絃樂東京音樂學校管絃樂團、指揮クラウスプリングス・ハイム
▲午後七時四十分（東京より）舞臺劇忠臣藏一討入一（忠臣藏十日目）場景（一）牧山宅の場（二）清水宅の場、解説並に放送指揮岡鬼太郎（配役）淸水一角（澤田之助）牧山丈左衛門（坂東簑助）門弟新見眼八（大谷紫若）同横田軍藏（坂東嶽斗藏）同森田大六（澤村千島）同荒川瀬平（坂東彌三郎）女中（坂東羽之助）小林の小姓芳丸（澤村菊蔵）仲間（澤村百々左衛門）一角弟與一郎（大谷廣太郎）一角姉おまき（市川紅若）竹本連中太夫竹本琴路太夫、三味線鶴澤琴糸囃子連中杵屋榮藏社中
▲午後八時三十分　時報（東京より）
▲午後八時三十一分　ニユース
▲氣象通報
▲午後九時（奉天より）長唄「松竹梅」振付（杵屋喜歌代）立方大名（金八君香）同男（杵の家小三）同女（菊の家小太郎）唄（杵の家勝富）同（滿月萬蝶）同（同彌滿同）同（同一榮）同（金八菊代）三味線（滿月小六）同（杵の家一千代）同（金八清香）鳴物小鼓（杵の家やす子）同（滿月若照）同（菊の家蔦丸）大鼓（杵の家富美）太鼓（滿月小秀）同（杵の家喜代香）ジヤズソング「奉天音頭」小濱あらた作詞、齋藤佐和作曲、ソプラノ獨唱福地淑子、伴奏ブロードウエイタンゴバンド、舞踊「奉天音頭」杵屋喜歌代振付、奉天柳町連、ダンサー連、伴奏ブロードウエイ管絃樂團、指揮齋藤佐和

本社特選　新棋戰（其十）

平手　先六段△山北孫三郎　六段▲石井秀吉

【圖は三五同玉迄の局面】山北氏持駒飛金銀桂歩九

▲同　玉
△二四　銀　▲三五　玉
△二三　飛　▲四六　玉
△二六　金
△五五　銀

迄百四十三手にて山北氏の勝

土居八段總評

双方序盤に於て相懸り模樣で對抗し居たが此の時山北君は横歩取りの戰法を用ひ、挑戰的の方針を採つたが、石井君は相手にせずに穩かに駒組みを整へたので、山北君もやむなく自營の駒組みを整へることゝなつた、中盤の形勢を窺ふに山北君は歩德の形なるも、手損を招いた爲に先手であるにも拘らず、後手の狀態を生じ、攻勢を採るに難く二枚銀を繰り出して敵の仕掛けを待つこことゝなつた、其の時石井君は十分準備を整へた後、攻勢を採らば有利の局面となるに相違なかつたのを、三一角引以下七筋よりの仕掛けが早計のため、敵に五筋から攻められ、位の惡い局面を招いた、以下双方活氣ある戰ひを現出し山北君が二二歩打の輕手を用ひ巧に敵陣を亂さうとしたとき、石井君はそのまゝ捨てておいて六筋より肉薄したのは面る地の理あしく以下苦鬪の甲斐なく攻擊力に不足を生じ、山北君の善戰に敵し難く衞策盡きて敗軍した次第であるが、然し本局は勝敗に拘らず頗る力の入つた好局である。

萩原七段解説

山北氏の二四銀は輕手で、石井氏の同玉で四六玉なら五五銀、同玉、五三飛六四玉、五四角成以下即詰となる山北氏の五五銀で同玉なら五三飛成、六四玉、五七金で詰となる、又同玉で四五玉なら四三飛成、五五玉、五四龍、六四玉、五七金で詰みである

大手合戰譜（第七局）

日本棋院秋季　先相先先番　三段島村利博　二段田中不二男

——【7】——

所要時間累計（白四時五分　黑六時五十九分）

對局者のことば（持時間各七時間）

黑 百九十五を怠つて白にこゝをツケられてはたまりません次に白二百十二が大きくなるからです、この點、百七十五と白らダメをツメた不當がはつきりあらはれてゐます

白 百九十七のアテを白から早く打たなかつた理由は後にも一部分明らかでせう、併しこゝだけとして言へば白百九十七黑（ソ十三）と交換したのみでは不十分なのでつゞいて白（ソ十四）のオサへをも打たなければ滿足できないとなると後手です

白 黑百九十九以下と白百九十八この大きさはどんなものでしたか——

黑 二百四を黑から打つのも小さくなかつたと思ひます、何しろ時間が全然ありませんので——二百十まで中央に白地ができたことは大へんなものです

戰の跡

◇黑百八十一以降互に順當のヨセを運んでゐると見る外ないしかし百九十七の手を下してから一分より持時間のない黑にして見れば辛い限りだつたであらう、あまず所一分といふことはどの手でも一分以上考へると、換言すれば七時間の制限を超えると同時に黑の敗が宣告されるのである、それは局勢の如何に關しない、これが時間制限の辛いところである

營口・遼河工程局 滿洲國に委讓
外國商工代表・決議案を提出 十二日の會議で可決

【營口】遼河工程局委讓問題は國際的關係を有するデリケートなる問題と國內的環視の的となつた內外關係を有する頗る難問題でこれも圓滑に解決を與ふるには

相當 の手腕を要するはいふ迄もなく、この會議を開催するまで相當苦心を拂ひたるもの〻如く十二日午前十時より遼河工程局委讓會議も營口稅關樓上において開催された

出席者太田營口領事、ノールエー領事、外國商工代表バネス、日本商工代表朝比奈正金、馬監督滿洲國商工代表高遼河上游下流技師長、營口稅關長、外滿語通譯、稅關長秘書等十一名にして會議に入り先づ遼河工程局の財政狀態に就ても技師長に財政狀態の現狀を報告し更に財政狀態を調査するに負債三百萬圓以上あり、現金七萬圓を有するばかりで其の他總て工事に注入し更に計畫通り

作業 するには差當り一千九百二十九年迄の狀態に返る程度にても下流百萬圓上流百萬圓を消費せざるべからず、この費用根據たる附加稅が一ケ年二十萬圓乃至二十五萬圓の收入にては到底持ち切れず、然らば他に金融の途に付て研究したるも擔保なしには融通つかず唯この儘に捨置かば最初より注ぎ込みたる一千萬圓は水泡に歸す、而已ならず營口港灣潰滅に近づく依つて更に適切なる方法を考慮する旨に松原稅關長はこの問題に就て其筋より依囑され居る旨を發表し、次いで營口貿易は數年此方減收により財政上の困難に逢着した件しこの儘打捨て置くときは營口港灣の潰滅を座して待つのみ、近來滿洲國は產業の開發特に水運港灣に非常に注意を拂ひ

特に 國家事業として更に根本的方策を樹立し必要あらば資金を投じて事業繼續に熱心と誠實あらば敢て吝かならずと總會の上宣言して差支へなしとの意味を言明す

茲において外國商工代表は決議案を出した、政府が斯かる用意を以て居るなればこれを滿洲國に引渡す、この爲めに稅關長を必要なる手段に一任する、若し淸算人として稅關で爲すなれば希望を附す卽ち附加稅半減希望を取次がれたい倘提案として營口港の盛衰は稅關長が關心を持つて居るからこの事業の一員に稅關長を加へて貰ひたいとし、この案に日本商工代表贊成の意を

表し 再決議全會一致通過した、而して缺席は英米獨佛でこれ等も外國商工代表の提議に異議なきもの〻如く結局滿洲國接收して國家一大事業のエキジステンスとなる譯である

開原縣に童子團 入團宣誓式
十二日教育局で擧行

【開原】開原縣教育局並に教育會では久しき以前より童子團組織に盡力してゐたが、いよ〳〵開原縣城內において師中學校より一班二十四名、各小學校より二班四十八名、小孫家臺小學校より一班二十六名の入團者を得たのでこの四班九十六名を訓練し十二日午前十一時開原縣教育局前廣庭において左の順序により嚴肅なる入團式並びに宣誓式を擧行した、當日は常縣長遠井守備隊長代理秋山特務、縣參事官、江口領事館派出所主任、協和會開原主事、各局科長並に各學校職員、官紳數百名の參會者あり、潑剌たる健兒は朱團長、霍副團長指揮の下に監督人、證誓人の前に起立し熱誠ある宣誓を行つた

健兒着席、議員着席、團長着席、來賓着席、主席報告、揭揚國旗（一同唱國歌）、捧讀執政教書（朗讀）、健兒向本團長官及來賓に敬禮、縣長訓辭、宣誓、默想、監察人訓辭縣長、證察人訓辭總務科長、來賓祝辭、健兒答辭、國旗降納、擲榮三唱、閉會、記念撮影

初年兵出發

【鞍山】當地〇〇〇新部隊三廻部中佐以下〇〇〇名は市中分宿十日間初年兵の訓練もそこ〳〵にして十一日午後零時五十五分臨時列車にて〇〇駐剳地に向つて出發した、前の行德部隊出發當日同樣出發に當つて驛前廣場で鞍山〇隊を初め在鞍官民の送別挨拶が行はれ萬歲聲裡に一同乘車渡滿後最初の宿營地鞍山に別れを惜みつゝもホームを埋めて見送る盛んなる市民の萬歲に日の丸の小旗を打ち振りつゝ勇躍出動した

協和會昌圖縣に分會

【開原】新興滿洲國の王道宣布と民族協和の徹底の爲め眞摯力行せる滿洲國協和會開原辦事處は昌圖縣官民の熱意に依り十二月三日正午縣立中學校講堂において康縣長大河內上野兩指導官各局科長森領事館派出所主任及官紳並會員二百餘名參列し昌圖縣分會發會式を擧行し康縣長を分會長に佐藤參事官劉教育局長を常務員に指導官各局長並市中有力者を評議員に推薦し午後三時盛大裡に閉會した【寫眞は發會式後の記念撮影】

四平街地委協議會

【四平街】十一日午後一時より當地方事務所會議室に地方委員並に區長を招集、左記議題につき討議せり

一、新於來住者戶數割賦課查定の件

二、町名改正の件可決

三、新年互禮は宮中喪のため本年取罷めの件可決

四、新駐在軍隊の歡迎會開催の件可決

五、地方委員聯合會臨時總會決議に依る報告

六、警察署長更迭に關する意見書に對し議長の說明

歲末同情週間
各婦人團體が主に 安東で同情袋募る

【安東】安東地方事務所社會係は十二日午後一時から會議室に各婦人團體代表者と警察署係官等の參集を求めて歲末同情週間の打合せ協議を行つたが年末救濟を要する氣の毒な人は內地人十家族四十名鮮人三十七家族百七十名に上るので各婦人團體が主となつて同情袋を一般家庭に配布し同情金の寄附を仰ぎこれによつて貧しき人々に年越しの金や品物を寄贈する筈である

石田侍從武官

【安東】石田侍從武官は二十一日午後三時十分着列車で來安、直に守備隊、衛戍病院において聖旨、令旨を傳達される筈である

東邊道縱貫鐵道 促成運動前進
期成委員會の常務委員決定し 安東・死物狂ひの對策

【安東】將に行詰らんとする安東の更生繁榮策として東邊道縱貫鐵道の促成を叫んで起つた安東全市民的運動機關である東邊道縱貫鐵道期成委員會は具體的運動に着手するため常務委員を詮衡中であつたが左の如く決定した

▲總務委員　大津峻、瀨之口藤太郞

▲顧問　岡本一策、關屋悌藏

▲涉外部委員　近藤松五郞、燕平泰一、伊藤勘三、金井佐次、川俣篤

▲計畫部委員　中島三代彥、飯野伯重郞、阿部卓爾

▲庶務部委員　原田市松、山縣寅吉、中川憲義、望月福太郞、史買堂、金虎贊

なほ目的達成には相當の時日を要する見込みなので相當の運動資金を調達すべく目下その方法について研究中の模樣である

一足お先に 錦州に水產市場
丸玉組で設置を出願

【錦州】錦州市場會社は既に株の割當を濟まし順調にスタートを切つて着々進捗中であつたが滿鐵會社に割當た八百株が會社創立委員と滿鐵會社との間に得べき諒解が完全に徹底して居なかつた爲め曖昧模糊となりその間株主の中には會社の創立に疑惑を抱き

折角 拂込んだ拂込金の拂戾を請求する向きなど出て今なほ實現せず生みの惱みを續けてゐる

がこの矢先朝鮮の漁業家丸玉組ではお先きに失敬とばかり葫蘆島に水產市場を設置すべく當地領事館に願書を提出した、既に渤海を中心とした海流、水深、魚群の游動狀態・販路まで調査を濟まし朝鮮の漁業者達を糾合して發動機船なども續々集中しつゝあり、錦州大馬路に假事務所を設置し來春三月ころまでには實現さすべく目下準備を進めてゐるが、之れに對し領事館にも或る程度までの援助を惜まざる模樣である、當地魚業市場が營利か更生か生死の

岐路 に曝されてゐる時この朝鮮漁業家の進出は暗夜の警鐘として一大ショックを與へてゐる

へた方が紛糾に喘いでゐるよりは案外早く纏まりはしないかと思ふ朝鮮の丸玉組から葫蘆島に水產市場を設けたいからと出願して來たのは事實だ、僕は今のところ許可する心算でゐるが、それにしても當地市場會社が纏まるものなら早く纏めて然る後許可してやりたいと思つてゐる、だから創立委員長とも會つて

更生 の途を開かしめ設立促進方を注意したいと思つてゐるが若し出來なければ一方も急いでゐる事だからこの際錦州市場會社が設立された曉にはこれと合併するといふ條件を附して許可する心算でゐる

日語熱熾烈

【開原】開原西豐昌圖共に靑少年の間に日本語習得の希望熾烈なるに鑑み協和會開原辦事處は十一月一日開原に十二月十日西豐に協和會語學院を開設したが入營者多數にして開學後は何れも熱心に通學し西豐の如きは公務員に對する教授をも開始する筈である、なほ昌圖縣にも近く同語學院を開設すべく準備中であると

鐵道小荷物增加
稅關嚴重の關係からか 奉天驛扱所を擴大

【奉天】事變後奉天驛の貨物、小荷物の取扱數が著るしく增加し、本年四月頃からは今まで比較的ルーズであつた郵便小包に對する滿洲國の稅關が嚴重となつた關係から鐵道扱ひの小荷物數が特に增加したる爲に現在の小荷物扱所では手狹であり、又受付と引渡所が分れてゐる不便もあるので取扱所を右側の一箇所とし場所も擴大して三等待合室を左側にし現在よりも狹くするべく具體的決定を見、愈々來る一月六日より着工することゝなつた、又三等待合室は現在の棟にては暗く待合室には不適當であり、又不潔な感じもするから明年一杯位にて三等待合室は本屋の方に移轉しては附屬增築をなし現在の棟は全部荷物取扱所とせんとする意向であるといふ

溫い太陽の情け
安全農村の人々へ 營口婦人團の同情

【營口】營口安全農村に收容された鮮農達の大部分は匪賊の災害に遭ひ着のみ着のままにて避難せし人々を收容されたので農村と雖も本年は植付けをするまでに至らず漸く土工の手傳して賃金を得て口を糊して來たが衣類の蓄へがないのでこの寒空に單衣一枚でふるへてゐる氣の毒な人が澤山あるので營口婦人團聯合會は十一日午後一時より滿鐵社員俱樂部に會合して役員會を開き、これ等の人々の境遇に同情して差迫つた年末に揃はず篤志家から古着の一枚づゝでも貰つて廻與することに決定し來る十四、十五日の兩日各家庭を訪問して事情を告げ寄贈を仰ぎ之れを氣の毒な人達に贈ることにした

營口署の年末警戒

【營口】營口警察署にては十一日より三十一日まで不眠不休を以て年末警戒を行ふ事となつた、警戒事項は遊動班、潜伏警戒班と分ち尙刑事係、高等係は協力し臨時別働隊として密行警邏に當る筈而して銀行郵便局、驛其他金錢を多く扱ふ箇所には特に聯絡をとり警戒を嚴重にすることとなり河面は一層取締を嚴になし河北より潜入を防ぎて探照により發見に努むべしと

原料大豆の運賃減率
安東油業公會から請願

【安東】安東油業公會は滿鐵本社に對し原料大豆の安奉線運賃を本線同樣に減率改正方を請願したがその理由は

安東における豆粕原料大豆の需要は每年五萬噸以上であるが瀋海線の開通以來奉天省內產大豆の大部分は他地に供給され昨年度の如きは安東に移入されたもの僅かに二萬七千九百噸に過ぎず殊に冬季結氷中は着荷皆無で十分のストックなき時は油房の生死問題となる、今後安東、沙河鎭兩驛で每年二十萬噸を必要とするを以て最小範圍にても本溪湖以北、撫順線各驛よりの到着大豆の一車扱ひに對して本線同樣の率で料金を採用し換算の上施行され度い

といふに在る、なほ本年は北滿の大豆豐作で安東の豆粕の單價も下落し一枚の平均值一圓二十四、五錢で近年硫安に押され勝ちの對鮮輸出が最近頗る有利となつたがこれは一時的の原料安の場合における現象であつて平常は運賃關係上大連に對抗出來ないので斯く安東日滿油房業者が共同して安奉線の運賃引下げを要望するに至つたものである

"不可能"は抹殺だ 鼻高々の鞍山
製鋼所設置・公費收入激增し 施設はお望み次第

【鞍山】當地の公費は昭和製鋼所の設置以來同所に對する賦課額二萬圓其他戶口增加による自然增收約一萬圓、合計本年度において約三萬圓の公費收入增を見ることゝなりここもと地方事務所もホクホクの體である、而して製鋼所の分二萬圓は既に道路鋪裝其他に支出してしまつたが、殘る約一萬圓は明春早々開校の豫定である大宮小學校の備品購入に充當することゝし目下豫案中である、かくて從來公費收入七萬圓が一躍十萬圓となりこれで世帶元も餘程緩和され種々の社會施設も漸次實現し得ることゝなつた

吉林小學校學藝大會

【吉林】吉林日本小學校の增築落成記念學藝大會は兒童や父兄達の待望久しきものであつたが愈々八日九日の兩日に亘つて盛大に催された兩日共午後五時半から一般人の觀覽を希望したが何れも押すな〳〵の大入滿員で愛し我が子の妙技にすべてを忘れて見入る父兄達の兩手には熱い汗さへ握られ童心をときめかす音樂學藝大會は晴れの講堂に歡樂の如き豪華版を呈した

繁忙の郵便局 臨時雇を募集

【奉天】歲末年始非常な繁忙を極める郵便局では事務の敏活と完璧を期するため臨時事務員を一般から十五、六名と中等學校、公學堂春日小學校の生徒三十名を各學校の手を經て募集し、このほか通信夫を二十五、六名募集中でこれも略決定を見、生徒は本月二十六日より一月五日まで、一般の者は本月二十日から七日までそれ〴〵の仕事にかゝることゝなつてゐる

釣錢詐欺漢の裏に女

【奉天】既報每日の如く市內のカフェー飲食店等を利用して釣錢を詐取してゐた稀代の詐欺漢、長崎市生れ奉天稻葉町十四番地居住竹林崑一（三〇）に關しては奉天署に於て嚴重取調中であるが、彼が十間房朝鮮料理店に初めて足を入れたのが萬成館で同館の酌婦京子（一九）の一身上に同情してスッカリ共鳴し末は夫婦と約束までしたが竹林は無一文であるため落籍も出來ず金が出來るまでは共に働かうと決心し竹林はハルビンへ向ふことゝなつた、そこで京子は竹林の旅費のために自分の金指環、銘仙の丹前の外現金三十圓を與へて分れたもので二人はからだこそ別れるが心はどんなことがあつても別れるやうなことはしないと堅い契をかはしてゐた仲であると

日支茶の進出競爭

【奉天】浙江、江蘇、福建各省より產出する支那茶の滿洲輸入は營口を通じ治安の回復と共に活況を呈しつゝあり、本年は例年より多く現に五萬箱に上つてゐるが營口過爐銀の整理により四兩、國幣一元といふ公定換算率の制定により支那茶輸入高は非常な損害を蒙つてゐる、この隙に乘じ三井、三菱の日本茶が目覺しく進出し滿洲市場を目差し日支茶貿易は今後ますます熾烈とならう

吉林教導隊 長期討匪

【吉林】吉林全省に亘り大討匪行に廣瀨部隊の麾下に合流し全軍の士氣益々旺盛に各所に於て赫々の武勳を樹てたる吉林第二教導隊石黑教官長以下〇〇名は今回引續いて各所に殘存する胡匪の再興を防止し徹底的根據破壞を計畫實施する事となり冬期より明春解氷期迄永續長期間討匪工作を開始した

ボーナスでうなる鞍山

【鞍山】ボーナスの走りは地方事務所だ同所では十一日夕雇員傭員日滿人各五十名に對し夫々ボーナスを交附した總額四千三百圓一人當り四十三圓といふところだが勿論日本人はそれより大分率がいゝわけ社員は少し遲れて十五、六日頃にでもなるだらう、昭和製鋼所もその頃には一齊に支給さるべく滿鐵並といふから例年通りのボーナス景氣が出るわけだ、商店側では早くも十一日から加盟店四十九軒一齊に店頭を飾り立て、歲末大賣出しを開始し顧客を呼んでゐる

各地片々

◇鞍山　鞍山署では十一日巡查部長筆記試驗を施行したが受驗者十一名であつた

◇鞍山　當市の衞生掃除は年額二千四百圓で張萬祥氏が引受けこれに當つてゐるが、昨今は苦力賃が日當五十錢で今春の落札當時よりは十五、六錢方の上昂を見てゐるためこれでは到底年末まで請負へぬといふので請負者張はこの程地方事務所に增額方を歎願した

◇鞍山　鐵嶺會では二十一日社員會に於て第二回例會を兼ね忘年宴會を開催、邯鄲、巴、千手、花僊、山姥を謠ひ仕舞熊野等がある

◇鞍山　附屬地內の天然痘はその後發患者もなく小康を保つてゐるが、今度は管外大孤山部落に蔓延患者十六名中既に六名死亡といふ猖獗振りで村長其他目下鞍山署へ援助を求めてゐるが何しろ同地は昭和製鋼所の大孤山採鑛所々在地とて油斷ならず同所では十一日日滿全從業員に對し種痘を施し防疫につとめた

◇營口　營口地方事務所勤務社會主事岩淵藤一郞氏は社命により鐵嶺地方事務所社會主事に轉任することになつた氏は社會主事として相當事績を擧げ一般の氣受け良く今回の轉任を非常に惜しまれてゐる

◇營口　營口滿鐵醫院內科醫長靑木外副氏は今回四平街醫院醫長に轉任することゝなつた

◇錦州　錦縣電氣股份有限公司では財政確立の前提として全社員の總動員を行ひ十三日から市中各戶を歷訪せしめ家屋內に裝置せる內線模樣につき詳密調査を行ひ一面盜電を防止する事になつた

滿人側から種々の希望が聞きたい

鐵路總局の貨物運送につき滿人との協力を切望

【奉天】鐵路總局貨物科では鐵道營業の最大の意義を持つ貨物運送については鋭意完全を期して居るが其の規定も既に成案を得監督官廳へ回附して居り來年四月一日より實施の運びに至る豫定である、然し鐵道機能のより良き發展のために從來の滿鐵線と事情を幾分異にする國線に於ては其の經營上及沿線開發上滿洲人の多大の協力を必要とする事に鑑み滿人との間に於ける貨物運送に關する特約の大いに結ばれる事を豫想して居る、それについてはどし〳〵滿人側より總局に對する種々な希望申出あるべしと期待して居るにかゝはらず今に至るも何等希望建議もなく總局としては却て意外として居る

これについて總局側觀測としては特に沿線開發上滿人の力によらねば出來ない事も多々ある事と思ふのであるがそれについて特殊な事業會社を起すとか貨物運送の特約を持つとかその他今迄採算のとれないものを採算のとれる樣に特約するとか開發上總局の協力を要する樣なものについてはどし〳〵建議してほしいものだ、かうしたものについていろ〳〵希望計畫などあるのだらうがそれを出せばすぐ日本人に獨占される樣な事になるのではないかといふ危惧を持つて默つて居るのではなからうか、滿人より總局に對する希望を大いに聞きたいものだといふのである、蓋し國線の發展には滿人の絶大な協力を期待されて居る

…山附近に隊員を配置し遊動立番潜伏敵背寒氣を衝いて匪輪の防止に涙ぐましい働きをしてゐるが、廣い地域に少數の隊員で却々至難である

材木を喰ふ

【新京】新京城內西四馬路居住大工職曾根崎末吉(四〇)は附屬地祝町東亞土木合資會社の下請として吉敦線黄松甸驛ほか二ケ所の驛ホーム新設工事中吉林で材木購入の際知合となつた吉林東門外材木商北海公司佐々木榮吉と共謀價格二千百圓の材木を三千百圓の價格に誤魔化しその差額一千圓を右兩名で分配詐取したこと判明、新京署では曾根崎の所在につき搜査中のところ五日吉林より歸來したのを岩田、成松兩刑事に逮捕され取調べの結果犯罪全部を自白したので十日一件書類と共に身柄を總領事館に送つた

棉花指導員講習開始

【奉天】滿洲棉花協會では將來各縣に派遣すべく棉花指導員高農卒業者日滿人十五名を採用したが十二月より來春三月まで實業廳內において滿洲語の外滿洲一般事情農業事情一般棉花紡織に關し講習をすることになつた

拾つた通帳で溫い愛の巢

流轉女給の淡い夢

【奉天】カフエーの女給として流轉の旅をつゞけてゐた住所不定杉本みき子(二三)が拾つた消費組合の通帳によつて青葉町消費組合から鏡臺を購入せんとして露見、奉天署に留置され嚴重取調べを受けてゐたが、取調べの進むに從つて彼女は恐るべき犯罪を行つてゐることが判明した

彼女が市內某カフエーで女給として働いてゐるうち青木茂といふ青年が訪れ色々話しをしてゐるうちに彼女は身の上の事を一切物語りその時姙娠してゐることも話したので青木もこれを聞いて大いに同情しそれでは自分は現在ルンペンしてゐるが職を見つけて養つてあげるからといひ出したので賴る處もない彼女はスッカリ青木に信賴し市內彌生町の安達某方に間借りしてゐた

その時には彼女は滿鐵の安達の名前入り消費組合の通帳を拾得してゐたがこの通帳の名前通りの別の安達の家に間借したのも彼等の計畫的と云はれ間借りした彼女はその通帳を以て立派な座蒲團、トランク、鏡臺等世帶道具數十點價格五百圓を買ひ出し安達方では人の羨む愛の巢を營んでゐたもので通帳一冊を全部使用し更に第二回目の通帳を求めてゐたさいふ圖々しさには何れも呆れてゐる、尙みさ子は目下姙娠八ケ月である

巧妙を極める密輸

【瓦房店】國境の密輸團は嚴重なる取締官憲の眼を巧に晦まし手を替へ品を替へ方法に腐心してゐるが、最近の新戰術は夜になるのを待つて普蘭店驛貨物列車停車中驛の西側から停車中の無蓋貨車に密輸品を投げ込み已れも無蓋車に乘つて北行、拉子山附近の上り急勾配で速度の運い處で豫て示し合した懷中電氣を照らして合圖するとた密輸品を投げ降ろす、是れを聞き込んだ國境警察隊では宇野隊長甦生副隊長黒田警佐自ら出馬し拉子

いつもながら不良品の山

奉天の飲食物臨檢

【奉天】奉天署衞生係では年末に際し管內飲食物製造販賣店の不良品を一掃するため去る九、十の兩日飲食物製造販賣店の一齊臨檢を行つたがその結果意外にも不良品多數を發見沒收した

卽ち臨檢戸數五百十八戸、そのうち不良品所持者百二十四戸、不良品總數八百六十九個、衞生試驗所分析試驗に附したるもの(硫酸銅含有の疑ひで)十個、始末書處分にされたもの四戸、返還八十五個でそのうち日本人商店が四分の三を占めてゐるのには驚かされる

不良品の主なるものはビール、罐詰、コーヒーメドック、洋酒(ウイスキー、ペパーミント)正宗等で甚だしいのは不良品にレッテルだけ新しいものを貼りかへ新品の如く見せかけてゐたものがあつた奉天署では今後隨時臨檢を行ひ不良品所持者は取締規則により嚴重處分する方針であると

家族を搜出して徵發費用を支拂

皇軍を信頼する住民

【錦州】熱河聖戰に際し錦縣公署では現在承德の第〇〇團に對し運搬用荷馬車四百五十六臺を斡旋したがこの費用二十五萬三千圓の中十七萬二千七百餘圓は當時支拂ひを受けしも逃走、死亡その他の事故により殘額八萬百十一圓は未拂のまゝ昨今まで殘つてゐた、そこで滿縣長、上杉參事官は過般承德に赴き軍部と折衝の結果殘額八萬百十一圓も全部受領したので早速家族の者を呼び出し十三日まで全額の支拂を經つた、他縣では當時軍部と出動の馬夫直接の取引とした爲め其の都度戰地現場に於いて馬夫は滯はりなく支拂ひを受けしもその支拂金を雇主に支拂はず或ひは馬車の持主等に分與せず獨り猫婆をキメ込んで逃走した者などあつた結果軍部よりは完全な支拂ひを受けて居ながら馬夫の雇主や馬車の持主或ひは馬の持主などに少しも潤はず家族は路頭に迷ふなど隨分錯誤を來してゐるが獨り錦縣のみは縣公署に於て支拂金の一部は馬夫、一部は雇主、持主又は家族と云ふ風に悉く公署の手を通じて支拂つた爲め落ちなく全部に行き渡り日本軍隊に對する信賴の意を深め王道工作に絶大の感謝を捧げてゐると

鞍山乘馬會で守備隊馬保管

【鞍山】鞍山乘馬會では今度守備隊の馬匹九頭を保管することゝなつたので南滿機械製氷會社工場裏に假厩舍を設け乘馬同好者の乘用に供することゝしたが會員は月額一圓會員外三圓の會費を要すると

旅順放送

▲旅順民政署では來る二十一日より二日間警察署講堂で管內會長會議を開催する事となつた、協議事項は一聽取事項として

(イ)會內現況に鑑み施設を要すると認むる事あらばこれが具體的方策

(ロ)既設の事業にして廢止縮小又は改善を要する事項あらばこれが具體的方策

(ハ)現在の施設にして民度に適せずと認むる事項

の他諮問事項として專任會計員の設置、天足會に對する命名改稱名に關する事が議案されてゐる

▲衞戍病院入院中の傷病兵十名は十三日午後二時二十分發列車で內地へ歸還

▲伏見町六山本良雄氏方では三日二女信子孃が出生

▲陸軍省より派遣の軍隊慰問一龍齋貞丈、蝶花樓馬樂の二君は到る處舌一枚で將士を歡ばし十二日來旅滿日支社を訪問の後各戰跡を見學した上五時から衞戍病院で傷病兵一同に對し慰問講演を行つた

▲又在滿第十五驅逐隊では二十日出雲町戰利品陳列館附近において發火演習を行ふ

▲千歲町二三後藤有一氏方では三日長女倫子孃が出生

▲大迫町一八ノ三淵江龜平氏方では三十日三男順三郎君同上

▲乃木町二ノ二九太田禳氏方では二十七日長女噴子さんが同上

遼陽片々

▼警務局石井監察官は十三日午前九時着列車で寺尾警部帶同來遼した

▼時局委員會から公務の爲め負傷入院中の孫巡捕に金三十圓を見舞として贈與したと

▼遼陽縣治安維持委員會は十三日午前十時から驛樓上で開催された

▼警察署員に對するボーナスは十一日牧田署長から辭令交付十二日現金を交付したが總金額二萬五千餘圓と云ふ事である

▼大連商工會議所に於て十五日商工會議所令施行に關し全滿商議聯合會が開催されるので遼陽實業會では本問題に付猿渡副會長が關東廳訪問の豫定を繰上げ當日同事務協議會にも列席すと

歲末らしい怪事件

銀行から銀行への間に金百圓也が紛失

【奉天】正隆銀行から引出した三千圓の金を滿洲銀行に預金する迄に百圓紛失し銀行と預金者とが責任のなすり合ひと云ふ奇怪な事件市內富士町六番地濱速自動車商會主の妻花澤しづ子さんが十一日午前十一時頃取引先銀行である正隆銀行に赴き預金から現金四千圓を受取りその中三千圓を滿洲銀行に預金のため預金係に三千圓の束を渡し自分は忙しいから一寸歸つて來ると言つたまゝ出て行つた、そこで預金係ではその三千圓を點定して見ると百圓不足すると言ふ事で電話を受けたしづ子さんは早速滿洲銀行に行つて點定して見ると矢張り百圓不足してゐる、しづ子さんは正隆銀行を出る時四千圓の束を點定もしないで持ち行きそのまゝ三千圓だけ滿銀に預けたのであるが正隆銀行側では全額渡したと云ひ滿銀では二千九百圓しか受取らぬといふのでこゝに責任のなすり合ひのゴタ〳〵となつた、結果してどこで百圓紛失したか奇怪な事件として色々取沙汰されて居る

小使の惡事

大金を誤魔化す

【奉天】ヤマトホテル內理髪業者館野太一氏方では金票二百六圓、大洋百二十七元を何ものにか窃取されたとの屆出でにより奉天署から係官が現場に赴き取調べた處、窓硝子が破壞され犯人は外部より侵入したやうに裝うてあつたが內部のものと睨み同店の小使西増居住陳貴臣(二七)につき取調べの結果彼の仕業であることが判明した、卽ち陳は十二日朝六時頃理髪店に來たが錠が卸されてしまつてあるので館野氏の住宅まで鍵をとりに行き引返して同店をあけ金庫にあつた前記三百餘圓の現金を盜み出しこれを天井の箱と廊下のビール箱の中に隱匿してゐたもので彼は同店のボーイ李慶豐(二七)も現金を持ち去つた事を自白してゐたが係官の詰問に包みきれず陳一人の所爲と判り引續き取調中である

ガソリンを詐取

元雇はれ先の名を用ひこれも歲末らしい風景

【奉天】去る九日自分は滿洲國通信社の運轉手であるが、ガソリン四罐を後拂で願ひたいと註文したものあり此の註文を受けた大隆公司ではその本人を知つてゐるので彼の言を信じ四罐を渡した處十一日となつて又同日午後五時頃ガソリン六罐を千代田タクシーまで屆けて貰ひたいと電話で註文して來たので同公司でも前回の代金がそのまゝとなつてゐるため早速その本人と共に滿洲國通信社に赴き代金の支拂方を繩んだ

しかる處彼は以前新京滿洲國通信社の運轉手として働いてゐたことはあるが、現在は解雇されて何等同社と關係のないことが判り化の皮がはがれ奉天署に突き出された彼は勝木正雄外朴時憲

三人組窃盜團

【奉天】十一日午後十一時半頃鎭警宮近刑事が北市場を巡行中擧動不審の三人連れの滿人あるを發見し直に引致取調べの結果右は山東省生れ住所不定高學?(二三)李明山(二九)李長林(一九)の三名にて何れも滿鐵附屬地の邦人宅を荒し廻つてゐた窃盜團なる事判明し引續き取調べ中である

妻子を殘して藝妓と駈落

【奉天】工業區一馬路日本料理店日の出館事石井作太郎方同居藝妓鹿兒島縣生れ瀧井キク(二〇)は同じく同居中の大阪生れ洋酒釀造出願中の木村鎭之助(三?)と共に十一日新京方面に逃走したが木村は妻子ありキクを誘拐の目的で伴れ出したものと觀奉天署に搜査を願出た

(二〇)と稱する鮮人で新京で他に雇はれてゐる際寫眞機その他を賣り飛ばしその金で遊里に出入し藝妓と奉天まで駈落して來た程のしたゝかものであると

日鮮を股にかけた 萬引露人捕はる
贓品に堂々税金を拂つて運搬 刑事の六感・見事圖星

京都、名古屋、京城と日本內地はおろか朝鮮を股にかけ、萬引或は窃盗した贓品を一所に集め安東の税關を經て涼しい顏をして税金を拂ひ、更に大連を經由して天津に運んだ上、賣捌いて仕事をしてゐた國際的外人大窃盗團が、圖らずも鋭い刑事の第六感によつて檢擧された――

最近東京、名古屋或ひは京城より富士絹の反物または衣類を多數に朝鮮、大連を經て天津に送附しつゝあるを探知した大連署岩田刑事は、斯くの如く多數の絹物を日本から仕入れて多額の税金を拂つてまで天津に持行き商賣するよりは大連の商人と取引する方が遙かに有利な點に不審を抱き密かに內偵を續けつゝあつたところ、この取引のため日本、滿洲、天津間を往復する外人があつて、而も該外人はヤマトホテルに荷物の發送を依賴し置きながら一度も宿泊したことなく、市內西公園町常盤ホテルに度々宿泊してゐた事を發見したが、時既に遲く該外人は天津に去つた後なので再び來るのを待つてゐた處、幸ひに先般の荷物を大連驛で汚損したため損害賠償の件がそのまゝになつてゐたので、丁度外人が二、三日前天津より來連し常盤ホテルに投宿したのを待受け有無もいはさず岩田刑事は該外人と同宿中の一婦人を逮捕し十二日早朝より取調べを開始した

男はルーマニア生れのロシア人北平哈德門一七五アニシム・ジーヴイン(三二)とロシア人エカテリナ・ハルラモワ(二七)といひ、取調べに對し女は船の中で知合ひになつたと申立てジーヴインは頑強に犯行を否認し續けてゐるが、兩人は既に度々大連において常盤ホテルに投宿してゐる關係よりハルラモワはジーヴインの情婦らしく取調べに連れて內地及び天津における連累者が多數發見されるものと思はれる

惡疫の徹底驅除に 日滿防疫委員會
農安と通遼に調査班

ペスト發生と共に組織された日滿ペスト防疫聯合委員會は、ペスト終熄に近づいたので十二日新京において防疫善後始末打合せ會議を行つたが、既報の如く委員會はペスト終熄と共に解散することゝし是に代つて常置的な日滿の防疫聯合委員會を設置することゝなつた十二日會議席上直に創立に決定、當日を第一回委員會として委員會事業大綱に就いて協議されたが、日滿防疫聯合委員會の構成は關東軍々醫部、滿洲國、關東廳、滿鐵の四機關でペストのみならずコレラ、發疹チフス、腸チフスの特別傳染病に就いて防疫及び治療の任に當るものである

ペスト對策としては委員會の事業として來年度より農安、通遼の二ケ所に常置調査班を設けてペスト流行の情報を早期に探知し防疫に努めると共に、ペスト病傳染の媒介體に就いて調査を進めることゝなつた、即ち從來ペストはハタリスが媒介をなすものと斷定されてゐたが、本年のペスト流行に當つては野鼠も多數死んで居り、病菌媒介物に疑問を生じたので是が原因に就いて調査研究を進め、滿洲から惡疫を驅逐する方針である

凍つた凍つた――彌生ケ池で

"赤""白"の鑑定を 檢察局へお願ひ
稚氣滿々の露人の爭

赤系だ、いや白系だとの爭ひから遂に名譽毀損の告訴を提起したと云ふ亡命露人ならでは見られぬ訴訟沙汰がある、市內老虎灘居住白系露人セミヨン・ミヘビッチ・トルフアーノフ(五七)は去る十月中旬大連白系露人協會々長に宛て書面を以て、市內尾ケ浦黑礁屯居住ヤールタ・ホテル主人イワン・ダシツキー(三九)は白系露人と稱して協會に加入し大連に居住してゐるが實は曾て浦鹽に於て赤軍に投じカミンサルの々職についてゐたもので明らかに赤系分子であるとの報告を送つたので俄然協會の問題となりイワンを詰問した處、イワンは確に一度は赤軍に投じたが今はソ聯に愛想をつかして元の白系露人として大連に亡命して來たもので、現在の自分は明らかに白系であると主張した結果、遂にイワンは白系である自分を赤系と稱するは自分の名譽を傷けるも甚だしいものであると憤慨して大連檢察局に名譽毀損の告訴を提起、高井檢察官はセミヨンを起訴して十二日午後一時より第一回公判が開かれたが、川畑裁判長は異鄕に亡命した同胞が今更相爭ふこともあるまいから示談したなればとすゝめた處、イワンはセミヨンが裁判長の前で自分を白系であると明言するなれば告訴を取下げやうと言ひ、又セミヨンは飽く迄赤系だと原告被告共に自說を守つて讓らず、遂に證人を呼び出すことゝなつて第一回公判を閉ぢることゝなつた

天界の珍現象 星の鬼ごつこ

【東京特電十二日發】天界の非常時、地球上の一九三三年が暮れやうとするとき、天界に何千年に一回といふ奇異な現象が起らうとしてゐる、來る二十日の夕、折柄の三日月樣と土星と金星が鬼ごつこをするといふ、この鬼ごつこは金星が先づ午後四時四十分お月樣の後ろに隱れ五時十六分に出てくる、次ぎに六時三分今度は土星がお月樣の陰に入つてしまひ、七時十分月の後ろから再び顏を出すといふのである、これは肉眼でも見られると東京科學博物館で云つてゐる

軍國風景を彩る 至純の紅三點
朝な夕なの非常時埠頭に咲く 弱くて強いミス愛國

凱旋兵、入營兵、そして傷病兵と滿洲事變以來埠頭に驛頭にカーキ色の軍國模樣が咲き亂れ、歡呼萬歲の嵐が爆發し續けミリタリズムが謳歌されてゐるがさうした雰圍氣に包まれまるで軍國日本のマスコットのやうに雨の日も風の日も兵隊さんの送迎には必ず姿を現はし、或時は歡喜の微笑みを投げかけ或時は惜別の哀愁に瞳を濕ませてゐる若い美しい三人のお孃さんが人々の噂にのぼつてゐるが、このミス愛國さん達は去年神明高女を卒業し現在播磨町家庭研究所に通學してゐる蜂須賀喜美子さん、太田晴子さん、樋口英子さんで、いづれも芳紀正に十九歲

私達のことを決して書いて下さいますな、心ない人に賣名行爲だとか若いくせに變だなんて色々非難されますの、殘念でたまらないのです……

さういつて三人共云ひ合せた樣に涙ぐんでゐた

でも私達御國の爲に一生懸命働らいて下さる兵隊さんのことを思へば、何とかして出來るだけのことをしてあげたいと思つてゐますの……

聞けば此お孃さん達は必ず何時も衞戍病院を訪れて殺風景な病院を美しい草花で飾つたり、手紙の代筆をしたり、其他何くれとなく傷いた兵隊さん達を慰めてゐるとのことで、大連を通る兵隊さん達はいづれもその都度このお孃さん達の親切に感激の涙を浮べて居ると(寫眞は三人のお孃さん達)

一番貧しい家へ 入營兵の厚い情
名も言はずに贈金す

これは新入營の一兵士が奧地への出發間際驛頭に殘して行つた一つの佳話――十一日午後七時折から出發軍隊を大連驛に見送つた市內楠町中村謙介氏夫人は一兵士から一つの狀袋を渡され

婦人會の方と思つてお願ひしますこれはホンの僅かの金ですが大連で一番貧乏の人にやつて下さい

と囁かれたので中村夫人も兵士の美しい心に感じて引受け、姓名を聞いたが單に飛行隊のものだとばかり打明けず、その儘萬歲聲裡に出發した、そこで中村夫人は十三日右の金子入りの袋を本社に持參して然るべく取計らつて貰ひたいとのこと、よつて本社では夫人立會の上開封、封入の金一圓はこれを折柄の同情週間寄附金に入れてこの美しい兵士の希望に副ふことゝした

洮索鐵道復舊

【チチハル十二日發國通】滿洲事變以來不通となつてゐた洮索鐵道葛根廟、懷遠鎭間は二年三月振りで本十二日より開通した

出迎へませう 遺骨と傷病兵

滿洲事變に熱河聖戰に或は戰後の北滿治安維持、沿線警備に武勳を輝かせた駐滿部隊の滿期除隊兵交替兵は過般來新入營の勇士達を迎へて續々故鄕へ凱旋を續けてゐるが、その後續部隊は昨夕刊所報通りの豫定で十四日より十九日まで每日[illegible]を通過して內地へ歸還することになつたが、尙同じ喜びに參加して負傷した白衣の勇士及不幸敵彈に斃れた英雄の遺骨も十五日と十九日大連通過歸還の豫定である、最近市民の凱旋兵送迎熱が云々されて[illegible]るが事實寒さの增すに連れて見送りの人が減つて行く傾向がある、併し誰でも日本國民であることを誇りとし、感謝するものは一人殘らず吾等の勇士を見送りませう

新京の大火で 料亭全燒す
新築間もなく漏電で

【新京電話】歲末を控へた新京では每日續く火災に不安を加へつゝあるが、十二日午後五時五十分頃新京梅ケ枝町一ノ六料亭一家事金井アイ方より又復出火、急報により日滿兩消防隊は直に出動鎭火に力めたが、附近は新開地のこととて道路も完成されず、消火水に不便なため消防隊も活動意の如くならず、同家を全燒七時半鎭火した、損害は十數萬圓に上る見込だが、同家は數日前に落成した新京一流の料亭で一兩日前より開業祝ひとして各方面の招待を續け同夜も最後の招待宴を張つてゐたゝめ一時は大混亂を呈した原因は同家がガス、スチーム設備の關係上火の氣一切なく抱へ藝妓の發見したところによると二階便所裏より出火したもので、結氷期に入つてから電燈設備をしたのでその不完全から漏電したものと見られてゐる新京署では關係者を取調中だが、同家の新築工事費八萬圓で、未だ保險に加入し居らざる模樣だと、因に燒け出された家族藝妓十數名その他使用人も全部數日前別府より來京したもので、零下二十四度の酷寒に慄へながら三笠町梅屋旅館に避難した

沈む筈の平安丸 ギヤングが掠奪
"拾得"主と稱する男も現はれ ウルサイ問題となる

沈沒せる船が乘り手のないのに四十哩も流れ流れて坐礁したといふ奇怪な海難事故を生んだ州內船籍船平安丸に關しては、その事件の怪奇さと安田船長等乘組員のとつた處置に關し種々疑問の點あり、海務局ではこれを審判に附して當時の事情を公けにすることに準備が進められてゐるが、十五日笠原領事より海務局宛の入電によると本船は十一月七日遭難、八日乘組員一同かなだ丸に救助されたが當時本船が數時間後沈沒すると確認したので、船體を放棄したものであるが當時貴局に提出の海難報告にある通りである、しかるに沈沒せるものと思惟した平安丸は圖らずもルソン島北西岸に漂着、ギヤング團に船體備品を殆ど強奪されたが、會社では東サル那須丸を現場に向け急行せしめたところ、既に同船は船底を大破せる模樣で數臺のポンプによる排水も意の如くなく加ふるに作業は全然見込みなき坐礁船にして、サルベージ船は去る六日歸國したが、會社としても放棄するのやむない次第であると詳細報告あつた、しかるに一說によると放棄された同船に對しては既に「俺が拾得した」と公稱する人物が現はれるなぞ、主なき平安丸を廻つて數々の問題が起されようとしてゐる

機關銃事件
使用出來ぬ物を摑まされた

【奉天電話】輕機關銃を隱匿してゐた犯人は檢擧と共に既報の如く一件書類により領事館に護送したが主犯は岡山縣岡崎村生れ奉天稻葉町十一番地松村勝太郎方古物商瀨戶隆義(二八)東京生れ奉天橋立町大工職渡邊淸吉(三八)島根縣生れ橋立町十七番地機械鐵工職木村弘(四〇)で瀨戶は昨年十月面識のある某から機關銃入手方の相談を受け、これを渡邊と相談した結果自動車で十月中旬午後四時頃鐵西鐵道ガード下において運搬中の輕機關銃二挺及び彈丸一箱を車上より引卸し草の中に隱匿、一ケ月經つた後瀨戶にこれを手渡し金三百圓を受取つたもので、瀨戶は渡邊より引取つた輕機を檢査したところ部分品の不足を知り本年四月一日內地に一應歸還し再び六月來奉、瀨戶は金を渡邊に返せと迫つたが渡邊は木村に對し不足部分品の作製方を懇請した、渡邊はこの輕機に白金が含有されてゐるから分析してくれと賴んだが、木村はこれに應ぜず引取方を再三懇談しても、肯んぜず、その儘木村方に放置されてゐる

學良の姉 召使女虐殺で 公判に附さる

【天津十三日發國通】天津英租界居住張學良の姉鮑張氏が召使女を虐待遂に自殺せしめ、出入商人に自動車でその死體を遺棄せしめた事件は昨日午後一時より地方法院刑事廷で開廷審理されたが、鮑張氏は病と稱して出廷せず商人並に辯護人出廷本人の希望で自動車で病院に送る途中死亡したものであると主張、病院側の檢定を求むる事になり閉廷した

軍警慰問に 伊藤幹事長出發

十三日の常任幹事會では年末に際し曩に決定した軍警慰問の實行をする事になり伊藤幹事長は十五日頃沿線に赴き獨立守備隊に感謝狀慰問金を贈呈する筈で一方旅順に大場警務局長を訪問同樣感謝狀慰問金を贈呈謝意を表する事となつた、更に伊藤幹事長は十八日頃新京に菱刈軍司令官を訪問餅代の一部に代る謝金を贈呈する筈

川口慧海師 一切藏經を買つて歸國

【東京特電十三日發】蒙古、西藏地方に幾度か赴いたわが佛教界の長老川口慧海師は、六十八歲の高齡をもつて去る十月以來內蒙綏遠察哈爾に入り蒙古王族と會見し、更にバツタハラに蒙古第二法王班禪喇嘛を訪れ古版論部、一切藏經二百二十三箱五千五百卷を買受けて十二日大阪に歸つた、この一切藏經の古版は多年わが國にて垂涎したもので、これを手に入れたことはわが佛教界の宿望をも達したのである、なほ氏は蒙古地方は獨立の氣運漲り日本崇拜の熱が熾さなるとともに、外蒙にしみ込んだ共產主義に脅威を抱き日本の力によらずば蒙古は救はれないと確信をもつてゐることを見受けたと語つた

五・一五公判

【東京十二日發國通】五・一五事件民間側公判第四回公判は十二日午前十時開廷、龜山、柏木兩辯護人の辯論あり午後三時半閉廷した

安樂椅子

先月本社主催の下に行はれた第三回全滿健康週間は本年初めての試みとして血清檢査を行つたが檢査人員二百九十三名のうち病毒のある陽性反應者は六十六名で二二・五パーセントであつた。

◇……ところが旅順ではどうしたことか檢査人員三十四名中二十八名が陽性反應を示し八十二パーセントといふ恐ろしい結果を現した、これを豐田旅順醫院長の說明に聽くと

◇……元來狹い旅順では醫師看護婦の爲めに家庭の內情まで知り盡してゐることになる、是が爲め恥しい病氣を診て貰ふことは誰も躊躇するのだが、今回は健康診斷に來た者のうち醫師の怪しいとみた者は皆血清檢査をしたので八十二パーセントの陽性反應をみたので、他と事情が異り敢て旅順人の血が斯くの如く穢れてゐるわけではないから御安心、とある

稅關吏の無能が 旅客小荷物を增す
四ケ月後に査定不足額を通告し 小包郵便は五分の一に激減す

【奉天電話】大連安東の兩稅關が小包便の課稅に餘り非常識を發揮したので、一般商人は早くも小包便による品物の遞送を見合はすに至つた、お蔭で年末には小包便の洪水を見るものと準備してゐた郵便局は、昨年一日に約一萬餘個の到着を見てゐたものが殆ど五分の一に激減し閑散で弱つてゐる併し小包便に代つて今度は旅客小荷物扱ひを以つて安東を通過する品物が激增し、平常安東を通過する旅客小荷物扱品は千六百個を限度としてゐたものが最近約數千個に達するといふ奇現象を呈してゐる、これには安東稅關も啞然としてゐるらしいが奉天驛ではこの旅客小荷物扱ひのためてんてこ舞をしてゐる

なほ大連稅關では八月末に通關せしめた貨物の稅金徵收査定を誤つたから、金十六圓餘を追徵するとて四ケ月餘を經過して追徵の通告をして來るといふ始末で各方面に稅關吏の無能ぶりに痛憤せぬ者はない、又荷物の如きも日本を發送してから二ケ月を經過せぬと奉天に到着せぬといふものもあり、官公署に納入する商店としては非常に迷惑を感じてゐるといふ有樣で、延いては日滿通商を阻害するものは稅關なりとさへいはれてゐるがこれらの稅關忌避が旅客貨物の激增となつて現れたといふ譯である

青空ホテル (67)

近江帆三
吉邨二郎畫

新舊二面相(二)

「おい、旗島君。君のところへ何か情報でも入らなかつたかい」
と、小泉が訊ねた。
「ボーナスのか」
「うむ」
「情報なんか入る處がないよ」
「だつて、逸見氏の妹婿なら、何んとかありさうなものだ」
「聞かんね」
と旗島にはボーナスなどは問題ぢやない。明けても暮ても信子孃のことゝ、新居の段取りばかりで頭が飽和してゐるのである。この間、信子孃と二人で郊外を一日歩いて、大體、場所だけは決めて來た。またこんどの日曜には出かける筈である。
「一度、それとなく訊ねてみてくれよ」
「いやだなあ、そんなこと訊ねるの……」
と旗島は顔をしかめた。
那賀が、
「僕は駄目だと思つてる」
「どうして」
「逸見さんに睨まれてゐる。緣談を斷つてからどうもぴつたりしない。第一、斷り方が惡かつたよ。へんなダンサーと婚約中だといつたりして、たしかに心證を害したよ。あれから、相當、精勵恪勤ぶりを見せてゐるが、一向認めてくれさうもない」
三輪も、
「僕も何だか變だよ。昨日も課長が僕の顔をじろ〳〵眺めながら、どうだ、近頃勉强してゐるかねといつたよ。いつか語學の勉强をしてゐると嘘をついたのをまだおぼえてゐるらしい」
「ぢや、君もせい〴〵二ケ月組だな」
「さうかも知れん」
誰でもいろ〳〵な理窟をつけて最低額を吹聽しておく。萬一、その額しか貰へなかつた場合の豫防線である。しかし、腹の中ではそれよりも三四割方の高値をふんでゐる。少くとも三ケ月、ひよつとしたら、四ケ月くらゐは貰へるかも知れぬといふ腹である。
すると、ある日逸見さんが、
「旗島君、今日は忙しいかね」
と、歸り際に聲をかけた。
「別に用事はありませんが」
「いや、ちよつと附合つてくれないかね」
「はあ」
「大して手間は取らせないが―」
といふと逸見さんは、あたふたと机の上を片づけて出て來た。襟に毛皮のついた外套を着て、もう手袋をはめてゐる。
圓タクを拾つて、どこともなく走り出した。
「大分、ボーナスの話が出てゐるやうだね」
「はあ」
「去年よりは幾らかいゝよ」
「さうですか」
「勿論、中には去年なみのものもあるがね」
「はあ」
「君には特に奮發した」
「困りますな、それぢや―」
「ちつとも困る必要はない。努力の結晶だよ。それに昇給もする筈になつてゐる」
「僕だけですか」
「いや、君だけぢやないが―」
「那賀君や三輪君はどうです?」
「昇給はしないが、ボーナスは高率だ」
「はあ、それア結構です」
「高率にしておかないと、僕が痛くもない腹をさぐられる」
と逸見さんはやはり苦勞人だけある。
「喜ぶでせう」
と、旗島も何だかホッと肩の荷がおりたやうな氣がした。
自動車は飛鳥山の下を廻つてぐん〳〵走つていつた。
「どこへゆくんですか」
と旗島は少し不安になつた。

新刊紹介

國際知識(十二月號)特殊國と國際法規及國際條約の適用(立作太郎)米國のソウエートロシア承認(茂森唯士)米ソ經濟關係の分析(小島精一)海洋の自由と日米關係(松下正樹)等(四〇錢、東京丸ノ内日本國際協會)

音樂世界(十二月號)現今樂壇の趨勢を觀る(伊庭孝)樂壇卑俗化の現勢(中井駿二)伯林提琴界に現はれた新らしき奏法(松田三郎)等(四〇錢、東京銀座日吉ビル其社)

電氣之友(十二月號)現在に於ける無線研究の諸問題(楠瀨雄次郎)火花間隙の衝擊放電特性に就て(山下英男)最近の舞臺照明の動向(遠山靜雄)等(三五錢、東京銀座八丁目其社)